

みなとみらい21 エリアマネジメント活動助成事業 10年総括報告書

目次

はじめに	1
みなとみらい21 エリアマネジメント活動助成事業 10年に寄せて	2
1 エリアマネジメント活動助成事業の目的	5
2 みなとみらい21 エリアマネジメント活動助成事業の実施状況	6
2-1 助成事業実施の背景	
2-2 助成事業の概要	
2-3 年度別実施状況	
2-4 助成実施状況（まとめ）	
3 助成団体及び会員企業へのアンケート調査	44
3-1 活動助成団体へのアンケート調査	
3-2 会員企業へのアンケート調査	
4 助成団体および会員企業へのヒアリング	53
4-1 助成団体からの意見	
4-2 会員企業へのヒアリング	
5 エリアマネジメント活動助成事業の成果と課題	61
5-1 助成事業の成果	
5-2 助成事業の課題	
5-3 助成事業の仕組み・運営についての課題	
6 みなとみらい21地区のエリアマネジメント活動の将来に向けて	67
資料編	69
(1) エリアマネジメント活動助成事業関連資料	
(2) 公益信託みなとみらい21まちづくりトラスト概要	
(3) 活動団体へのアンケート調査結果	
(4) 活動状況プロット図	
(5) 助成対象活動の概要	
(6) 選考委員一覧	

はじめに

エリアマネジメント活動は、エリアの住民、事業主、地権者等が主体となり、エリアの環境や価値の維持・向上、来訪者増加等を目的とする活動として全国各地で展開されています。その活動は良好な街並み景観の形成から地域コミュニティづくり、経済の活性化（地域プロモーション）等に至るまで幅広く、エリアの課題解決につながる成果を上げています。

みなとみらい21地区では、2009年、エリアマネジメント活動を行う法人として「一般社団法人横浜みなとみらい21」（以下、当社団という）を設立しました。当社団では、同年に主催事業として「みなとみらい21エリアマネジメント活動助成事業」（以下、本事業という）を立ち上げ、地区で街づくり活動をしてみたいという団体・グループを募集し、資金の支援を始めました。本事業の資金源となったのは、当社団の会員企業、つまり地区の土地・建物所有者や事業主の皆様から集められた会費でした。それから10年にわたり本事業を実施し、延べ99団体の活動を支援することができました。

本報告書では、10年にわたる本事業の実施状況を中心に、助成団体及び会員企業へのアンケートやヒアリングの結果を報告します。また、本事業は終了しましたが、2018年以降、「公益信託みなとみらい21まちづくりトラスト」に引き継がれるかたちで助成は実施されています。この新助成制度への移行を見据えつつ、本事業の成果と課題、みなとみらい21地区におけるエリアマネジメント活動の将来についても触れていきます。

最後になりましたが、本事業の実施にあたり、ご指導いただきました選考委員の皆様、ご協力をいただきました会員企業、地区関係者の皆様に心から感謝を申し上げます。そして、みなとみらい21地区で街づくり活動を展開いただいた助成団体の皆様のますますのご活躍をご期待申し上げます。

一般社団法人 横浜みなとみらい21
代表理事 坂和 伸賢

みなとみらい21 エリアマネジメント活動助成事業 10年に寄せて

「エリアマネジメント活動助成」とは、まだ馴染みの薄い用語ではないだろうか？ 横浜みなとみらい21地区では、それまでのまちづくりを担う組織であったまちづくり株式会社が一般社団法人に改組になった2009年を契機にスタートした事業であるが、日本全国にはまだそれほど普及はしていない。

横浜みなとみらい21地区でこの助成事業を提案したのは、横浜市から一般社団法人に出向していた故肥山達也君である。彼は、横浜市において「ヨコハマ市民まち普請事業」を提案し、すでに軌道に乗っていたその経験をみなとみらい21地区にも生かそうと考えた。私は「ヨコハマ市民まち普請事業」をお手伝いした縁で、再度肥山君から依頼されて「横浜みなとみらい21 エリアマネジメント活動助成」もお手伝いすることになった。

さて、限定された地域で、地域の企業が出資する会費で、地域の賑わいとコミュニティを活性化しようとするこの助成事業は、それまでの行政の税金をベースにした市民活動助成と似てはいるが、根本的に異なる。その違いは、公共性あるいは公益性に関するものである。行政は、基本的に市域全体の公平性や平等性を前提に判断するが、みなとみらい21の活動助成は、より狭い範囲の「地域的公共性」、あるいは限られた市民による「市民的公共性」をむしろ重要と考えている。行政だけが担う「古い公共」ではなく、資金は民間、活動は市民という「民間と市民が担うニューパブリック」の登場ということができる。

本事業は、10年間で延べ99団体に総額約3,070万円の助成をしてきた。平均すると1団体約31万円である。今では誰もが知っている横濱キャンドルカフェや横浜サンタプロジェクト等の有名なイベントから、あまり知られていない、夢ワカメ・ワークショップやみなとみらいごはん部、チョークアート等のユニークなプロジェクトまで、活動の幅は極めて広い。また、延べ99団体のうち、団体の所在地がみなとみらい21地区内にあるのはわずか38団体(38.4%)、横浜市内に広げると87団体(87.9%)、横浜市以外も12団体(12.1%)と、様々な活動団体をみなとみらい21地区に引き寄せる求心力をこの仕組みは有している。このような形で多種多様な事業に助成してきたことは、世界を見ても珍しいのではないかと思う。今後は、公益信託みなとみらい21まちづくりトラストにより助成金の枠も大きく広がり、また活動の条件も緩やかになったので、ますますの発展を期待したい。

みなとみらい21 エリアマネジメント活動助成事業選考委員会
委員長 卯月 盛夫

選考委員コメント

選考委員一覧は資料編参照
()内は選考委員を務めた年度

川崎 利雄 氏 (H21 年度・事業創設時)

2009 年当時、私が在職した一般社団法人横浜みなとみらい 21 では、株式会社から社団法人への転換に際し、エリアマネジメントのあり方を熱心に議論し、各地の実例にも学んでいました。こうして完成した新たな事業計画には、数多くの取組がありましたが、これまでに培った地域企業・団体の皆さんとの信頼こそが大きな基盤となっていました。エリマネ活動助成事業も、街を活性化する取組を会員全体で推進する画期的な試みであり、事務局として企画段階から腐心していた同僚の姿を思い返すと感慨深いものがあります。時は経ちましたが、今後とも MM21 地区の街づくりが、全国の範となり益々発展することを心からお祈りいたします。

清水 あつ子 氏 (H22 年度 1 次～H30 年度)

申請された活動をされている方々、分野が多岐にわたっておられることに驚きました。高校生、大学生、企業人、退職者、主婦がそれぞれの立場でみなとみらい地域の活性化あるいは地域の課題解決のために行動を起こしていることは、これからの社会を動かしていく力だと感じました。また審査後の交流の場を通じて団体同士の繋がりが生まれ、それぞれの得意分野を生かした活動の輪が広がり、新たな価値が生まれたことが一つの成果であったと感じています。

斉藤 良展 氏 (H24 年度 2 次～H29 年度)

平成 24 年度から 5 年間、(一社)横浜みなとみらい 21 の専務の立場で、助成事業の審査に携わりました。本来なら応募いただいた団体すべてに助成したいのですが、限られた予算の中でしたので、審査をしなければならないのは心苦しいところでした。一方、活動団体同士で協力し合ったり、または企業の支援を受けるなどでさらに活動の輪が広まる事例などがあり、審査員としてやりがいもありました。

朝比奈 ゆり 氏 (H25 年度 1 次～H30 年度)

この事業は数々のユニークな活動を生み出してきましたが、その原動力は参加者の顔ぶれの豊かさにあります。

住民や学校に通う人、働く人、加えて買物客やイベント参加者まで、世代はこどもからシニアまで、実に様々な人が事業に応募し活動を実現しました。このまちが好きならば、誰でもまちづくりに参加できることを実践してみせたのです。それはとても素敵なことです。今後も今以上に誰にでもひらかれたまちであって欲しいと思います。ありがとうございました。

青木 晋 氏 (H28 年度・H29 年度)

私が参加したのは平成 28 年度から 29 年度途中の短い間。応募団体の真剣な提案と、それに応えようと熱い議論を繰り広げた選考委員のみなさん。私は、圧倒されてばかりで、積極的な発言もできず悔しい思いをしたのを覚えています。

選ばれた団体も、ポニーと触れ合ったり、広島の花火流しを再現したり、ご飯作りでオフィスワーカーと住民、老若が交流したり…。「都心部のみなとみらい地区でこんなことができるんだ」と驚かされ、たくさんの刺激をいただきました。ありがとうございました。

藤田 格 (H30 年度)

エリアマネジメント活動助成事業がこの街で活動する人、企業、団体が自ら街づくりに取組む機運を高めるとともに、単に個々の活動を行うだけではなく、それぞれが連携して、新しい活動を生み出すという好循環も生みながら展開できたことは、応募していただいた皆様のご理解と熱心な活動の賜物だと思います。

当地区の街づくりは建設のステージから、この街で活動する人々が街の魅力を高め、賑わいを創造するステージへと転換する節目を迎え、エリアマネジメント活動の重要性は高まっています。

これからも、皆様とともに魅力ある街を育てていきたいと思っております。

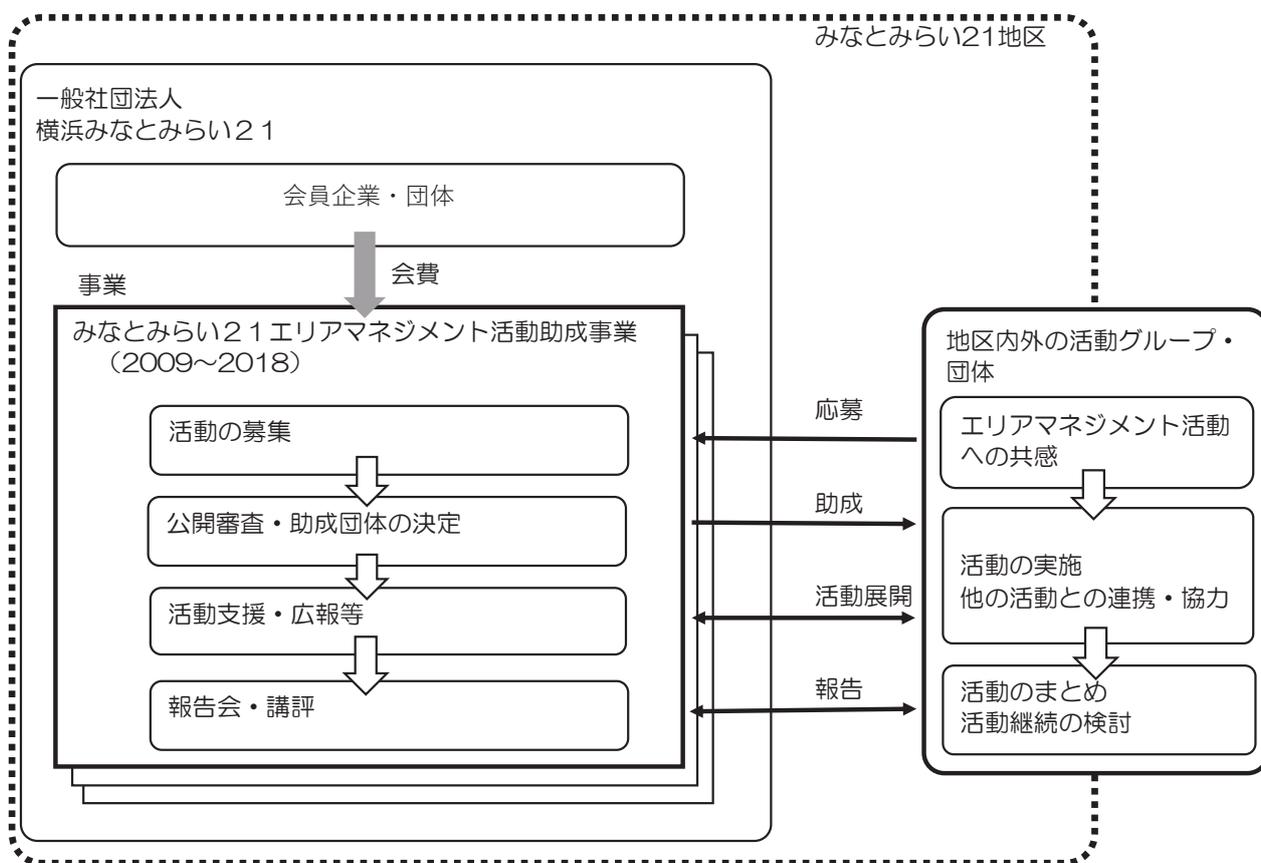


平成 30 年度公開選考会の様子

1. エリアマネジメント活動助成事業の目的

一般社団法人横浜みなとみらい21では、同法人が設立された2009（平成21）年から、みなとみらい21地区におけるエリアマネジメントに資する活動を募集し、選考委員会による公開選考を経て、採択された提案グループに対してその活動資金を提供する「みなとみらい21エリアマネジメント活動助成事業」を行ってきた。これは、みなとみらい21地区の環境や地域の価値の維持・向上を目的としたもので、一般社団法人横浜みなとみらい21の会員企業・団体（2020（令和2）年3月1日現在142社）の会費によって支えられてきた。

図1-1 「みなとみらい21エリアマネジメント活動助成事業」の仕組み



2. みなとみらい21 エリアマネジメント活動助成事業の実施状況

2-1 助成事業実施の背景

一般社団法人横浜みなとみらい21（以下、YMM）は、みなとみらい21地区のエリアマネジメントの実践をめざして、2009（平成21）年に事業を開始した。

みなとみらい21地区は、交通・都市基盤・都市環境の整備などハード整備による街づくりが先行して進められてきた街である。YMMが推進するエリアマネジメント推進事業は、ハード先行の中で街づくりのソフト部分を引き上げる事業である。

「エリアマネジメント活動助成事業」は、エリアマネジメント推進事業の中で「街づくりの誘導・調整、情報発信」の一つとして実施されてきた。（図2-1参照）

一般に、エリアマネジメントの主体は住民・事業者・地権者等を指すことが多いが、本事業では活動の主体を、地区内に立地する企業や居住者だけでなく、広く地域内外の市民活動団体や学生グループ等の提案を呼びかけ「みなとみらい21地区を魅力的な街にするためのまちづくり活動に参加していただける皆さん」（「提案の手引き」より）としている。

図2-1 一般社団法人横浜みなとみらい21の事業

(1)エリアマネジメント推進事業
ア 街づくり調整事業
○安全・安心な街づくり
○来街者の利便性・快適性向上に向けた街づくり
○街づくりの誘導・調整、情報発信
◇みなとみらい21街づくり基本協定の運営【中央地区】
◇「みなとみらい21インフォメーション」等の改訂
◇エリアマネジメント活動助成事業
◇街づくり調整委員会(部会)の開催
◇全国エリアマネジメントネットワークへの参画
○みなとみらい21地区の土地の公募業務
イ 環境対策事業
○スマートなまちづくりの実現に向けた取組
○環境意識の啓発に向けた取組
ウ 文化・プロモーション事業
○まちの魅力発信
○賑わいの創出
エ その他事業(会員交流事業)
(2)横浜都心電波対策事業
(3)広告・イベントスペース等運用事業

*一般社団法人横浜みなとみらい21の2018年度事業報告より

2-2 助成事業の概要

(1) 概要

助成事業の概要は次の通りである。

- 活動助成期間：1年間
- 対象エリア：みなとみらい21地区全域（中央地区、新港地区、横浜駅東口地区）
- 提案資格：みなとみらい21地区の魅力的な街づくりをテーマに、継続して活動している、または継続して活動しようとしている3人以上のグループ。横浜市在住・在勤・在学や国籍は問わない。
- 助成コース
 - ・みなとコース：上限5万円（1グループ1回のみ）
 - ・みらいコース：上限50万円（活動経費の4/5以内、3回まで。みなとコースの助成回数を除く）
- 選考方法・体制
 - ・みなとコース：書類審査
 - ・みらいコース：書類審査及び公開選考会
- 募集回数：平成27年度までは年2回募集（初年度は下期のみ）。平成28年以降は年1回実施。

なお、本事業の財源は、YMMの会員企業の会費から拠出されている。当初、助成の種類は1種類であったが、平成25年度から手軽に活動を始めたいグループなどを対象にした「みなとコース」を設け、それまでの助成を「みらいコース」として2種類にわけた。

助成事業や活動については、以下のような方法で広報をおこなっている。

表 2-1 助成事業や活動の広報の方法

媒体	対象	備考
eメール	YMM会員企業 行政 大学関係者 過去の申請者 過去の助成団体	
YMM公式サイト エリアマネジメントサイト (街づくりサイト)	一般	助成事業概要紹介および各年度の提案書及び報告書公開
パンフレット	市内18区役所 市民活動関係機関(市民活動支援センター、市民情報センター等)	H30年度募集時は市内約1500のNPO法人に郵送
リリース	横浜市政記者クラブ 横浜市経済記者クラブ	
広報誌『mirea』	一般	平成23年11月号にて助成事業の概要や情勢活動を紹介。隔月発行。2019年現在、15万部発行。首都圏中心に交通事業者約2000箇所にて無料で配布

(2) 特徴

本事業の特徴として以下のような点が挙げられる。

- ① みなとみらい21地区内（中央地区、新港地区、横浜駅東口地区）で実施する活動を対象とする。
- ② 提案グループの参加資格を地区内の住民や立地企業に限定せず地区内外から活動を募集。
- ③ 公開選考会で審査
公開選考会での審査員との質疑やアドバイス、会員企業・他の提案団体との交流で活動の展開や連携、活動の支援などがある。
- ④ 助成団体は事業終了後の実績報告会への参加が必須
他団体や企業との連携・マッチングの機会にもなり、活動の展開を支援している。
- ⑤ YMM会員が審査に参加
公共の財源ではなく、YMM会員企業の会費を財源としている。そのため、会員企業からも審査員を選任し、会費負担者の視点から提案の評価を行なっている。

2-3 年度別実施状況

(1) 平成 21 年度の助成団体と活動内容

初年度の平成 21 年度の助成は下期のみで、9 団体が申請し、うち 7 団体が助成対象となった。

ア. 事業実施スケジュール

- ・提案募集期間 平成 21 年 9 月 9 日～平成 21 年 10 月 8 日
- ・公開選考会 平成 21 年 10 月 20 日
- ・活動期間 平成 21 年 10 月 20 日～平成 22 年 3 月 31 日
- ・実績報告会 平成 22 年 6 月 17 日

イ. 助成団体

グループ名	提案名	申請額	決定額	助成金額 (確定)	主な活動場所
NPO法人 海辺つくり研究会	夢ワカメ・ワークショップ	365,000	325,600	325,600	臨港パーク周辺 海辺
(株)全日警横浜支店「自主防犯パトロール隊」	みなとみらい地区における自主防犯パトロールの実施	270,400	270,400	223,803	MMタワーズマンション
帆船日本丸記念財団・JT B共同企業体	「横浜の帆船日本丸」募集写真展	500,000	500,000	500,000	みなと博物館
みなとみらいハロウィンin新高島実行委員会	HAPPY HALLOWEEN in みなとみらい21しんたかしま	500,000	500,000	500,000	高島中央公園 ほか
NPOスクエア連絡会	探してみようバリアフリー(車椅子編) in 「横浜みなとみらい21」	372,000	372,000	297,600	ワールドポーターズ
みなとみらい21朝の健康スポーツ実行委員会	みなとみらい21朝の健康スポーツ促進	250,000	250,000	250,000	グランモール公園・美術の広場
Ferris Mobile Concierge	エリアマネジメント活動	36,000	36,000	36,000	大さん橋など

ウ. 活動写真



NPO法人 海辺つくり研究会



(株)全日警横浜支店「自主防犯パトロール隊」



帆船日本丸記念財団・JT B共同企業体



みなとみらいハロウィン in 新高島実行委員会



NPO スクエア連絡会



みなとみらい21朝の健康スポーツ実行委員会



Ferris Mobile Concierge

(2) 平成 22 年度の助成団体と活動内容

平成 22 年度は、1 次は申請 13 団体に対し 11 団体が助成、2 次は申請 6 団体に対し 5 団体が助成で、計 16 団体が助成対象となった。

ア. 事業実施スケジュール

[1 次]

- ・提案募集期間 平成 22 年 1 月 21 日～平成 22 年 2 月 25 日
- ・公開選考会 平成 22 年 3 月 26 日
- ・活動期間 平成 22 年 4 月 1 日～平成 23 年 3 月 31 日

[2 次]

- ・提案募集期間 平成 22 年 8 月 11 日～平成 22 年 9 月 8 日
- ・公開選考会 平成 22 年 9 月 30 日
- ・活動期間 平成 22 年 10 月 1 日～平成 23 年 3 月 31 日
- ・実績報告会 平成 23 年 6 月 10 日

イ. 助成団体

グループ名	提案名	申請額	決定額	助成金額 (確定)	主な活動場所
(1次)					
横浜三銃士	みなとみらい ジョイント クリーンアップ	360,000	100,000	100,000	さくら通り周辺
パシフィコ横浜(株)横浜国際平和会議場)	みなとみらい大盆踊り	500,000	500,000	500,000	臨港パーク
帆船日本丸記念財団・JT B共同事業体	帆船日本丸吹奏楽演奏会 2010	500,000	300,000	300,000	日本丸前アリーナ
「みなとみらい21さくらフェスタ2010」実行委員会	みなとみらい21さくらフェスタ2010	500,000	300,000	300,000	さくら通り全域(全長500m)
NPOかながわユースボランティアりんぐファクトリー	花時計プロジェクト2010	475,160	299,160	143,576	運河パークの花時計ほか
クリーン大作戦学生部隊	みなとみらいクリーン大作戦～みなとみらいをきれいで愛着のある街に！	400,000	300,000	300,000	臨港パーク
山下居留地遺跡の価値を考える会+YYJK	みなとみらい21地区を中心とした近代遺跡の活用・研究・PR活動	500,000	100,000	100,000	象の鼻パーク、赤レンガ倉庫ほか

㈱全日警横浜支社「自主防犯パトロール隊」	みなとみらい地区における自主防犯パトロールの実施	500,000	300,000	300,000	MMタワーズマンション
みなとみらいハロウィンin新高島実行委員会準備会	HAPPY HALLOWEEN in みなとみらい21しんたかしま	500,000	300,000	300,000	高島中央公園、TSUTAYAみなとみらい店ほか
Ferris Mobile Concierge	エリアマネジメント活動	135,000	100,000	39,937	クイーンズスクエア横浜
『みなとみらい21 朝の健康スポーツ』実行委員会	みなとみらい21朝の健康スポーツ促進	500,000	100,000	100,000	高島中央公園
(2次)					
'10年度クイーンズスクエア横浜クリスマス委員会	横浜市内、中高等学校吹奏楽部による演奏会	500,000	300,000	300,000	クイーンズスクエア横浜
ハマっ子☆サンタ記念日	ヨコハマ最大のゴミ拾いイベント ハマっ子☆サンタ記念日	168,000	168,000	168,000	パシフィコ横浜 円形広場ほか
NPO法人 海辺つくり研究会	夢ワカメ・ワークショップ	371,200	278,400	278,400	臨港パーク周辺 海辺
NPOスクエア連絡会	探してみよう市民活動 in 横浜MM21	500,000	250,000	250,000	ワールドポーターズ
帆船日本丸記念財団・JTB 共同事業体	第2回 「横浜の帆船日本丸」募集写真展	500,000	300,000	300,000	みなと博物館

ウ. 活動写真



横浜三銃士



パシフィコ横浜(㈱横浜国際平和会議場)



帆船日本丸記念財団・JTB共同事業体



「みなとみらい21さくらフェスタ2010」実行委員会



NPOかながわユースボランティアリングファクトリー



クリーン大作戦学生部



山下居留地遺跡の価値を考える会+Y
YJK



株全日警横浜支社「自主防犯パトロー
ル隊」



みなとみらいハロウィン in 新高島実
行委員会準備会



Ferris Mobile Concierge



『みなとみらい21 朝の健康スポーツ』実
行委員会



'10年度クイーンズスクエア横浜クリ
スマス委員会



ハマっ子☆サンタ記念日



NPO 法人 海辺つくり研究会



NPO スクエア連絡会



帆船日本丸記念財団・JTB 共同事業体

(3) 平成 23 年度の助成団体と活動内容

平成 23 年度は、1 次は申請 9 団体に対し 8 団体が助成、2 次は申請 14 団体(うち 1 団体は取り下げ)に対し 6 団体が助成で、計 14 団体が助成対象となった。

ア. 事業実施スケジュール

[1 次]

- ・提案募集期間 平成 23 年 1 月 11 日～平成 23 年 2 月 28 日
- ・公開選考会 平成 23 年 3 月 29 日
- ・活動期間 平成 23 年 4 月 1 日～平成 24 年 3 月 31 日

[2 次]

- ・提案募集期間 平成 23 年 7 月 5 日～平成 23 年 8 月 24 日
- ・公開選考会 平成 23 年 9 月 26 日
- ・活動期間 平成 23 年 10 月 1 日～平成 24 年 3 月 31 日
- ・実績報告会 平成 24 年 6 月 8 日

イ. 助成団体

グループ名	提案名	申請額	決定額	助成金額 (確定)	主な活動場所
(1 次)					
PC-ITV	みなとみらい 21 の再発見 (みなとみらい 21 放送局)	500,000	250,000	250,000	ベイバイク運営事務所、万葉倶楽部ほか
日本芸術文化国際センター 邦楽プロジェクト	みなとみらい国際邦楽フェスティバル (伝統と和楽器の紹介)	500,000	450,000	450,000	県民共済みらいホール
象の鼻元気プロジェクト	エンターテイメント型の野外YOGA	500,000	250,000	250,000	象の鼻
C A P (Challenge Acappella Project)	絆歌～アカペラとみなとみらいがつなぐ人々の輪～	207,040	100,000	100,000	グランモール公園・円形広場
特定非営利法人 日本ステップ協会	みなとみらい 21 健康タウン作り	500,000	150,000	150,000	高島中央公園
NPOかながわユースボランティアりんぐファクトリー	花時計プロジェクト2011	278,360	270,000	270,000	運河パークの花時計ほか
帆船日本丸記念財団・JTB共同事業体	帆船日本丸吹奏楽演奏会 2011	500,000	450,000	450,000	日本丸前アリーナ
みなとみらい大盆踊り実行委員会	第四回みなとみらい大盆踊り	500,000	400,000	400,000	臨港パーク
(2 次)					
NPO法人悟空研究所	子ども達が「横浜はじめて物語」を本で感じる体験遊び	500,000	300,000	300,000	臨港パーク、汽船道、市民活動支援センターほか
横濱キャンドルカフェサポーターズクラブ	横濱キャンドルカフェ 2011～紡ぐ想い 灯す願い～	500,000	350,000	350,000	運河パーク、ナビオス横浜
'11年度クイーンズスクエア横浜クリスマス委員会	クイーンズスクエア横浜シンギングツリーの制作・展示	500,000	250,000	250,000	クイーンズスクエア横浜
横浜サンタプロジェクト実行委員会	サンタが街にやってきました！～広場サンタ活動	500,000	250,000	250,000	パシフィコ横浜円形広場

NPO法人海辺つくり研究会	夢ワカメ・ワークショップ	468,000	250,000	250,000	臨港パーク周辺海辺
NPOスクエア連絡会	みなとみらい・バリアフリーガイド	500,000	400,000	400,000	ワールドポーターズ

ウ. 活動写真



PC-ITV



日本芸術文化国際センター 邦楽プロジェクト



象の鼻元気プロジェクト



CAP (Challenge Acappella Project)



特定非営利法人日本ステップング協会



NPO かながわユースボランティアリングファクトリー



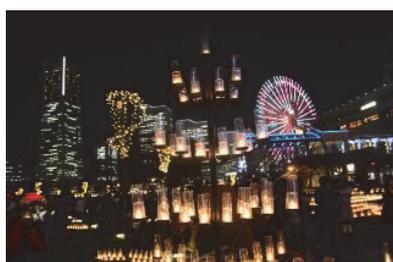
帆船日本丸記念財団・JTB 共同事業体



みなとみらい大盆踊り実行委員会



NPO 法人悟空研究所



横浜キャンドルカフェサポーターズクラブ



'11年度クイーンズスクエア横浜クリスマス委員会



横浜サンプラザプロジェクト実行委員会



NPO 法人海辺つくり研究会



NPO スクエア連絡会

(4) 平成24年度の助成団体と活動内容

平成24年度は、1次は申請8団体に対し5団体が助成、2次は申請6団体に対し5団体が助成で、計10団体が助成対象となった。

ア. 事業実施スケジュール

[1次]

- ・提案募集期間 平成23年12月20日～平成24年2月8日
- ・一次選考会 平成24年2月23日
- ・公開選考会 平成24年3月7日
- ・活動期間 平成24年4月1日～平成25年3月31日

[2次]

- ・提案募集期間 平成24年7月2日～平成24年8月16日
- ・一次選考会 平成24年8月30日
- ・公開選考会 平成24年10月5日
- ・活動期間 平成24年10月6日～平成25年3月31日

- ・実績報告会 平成24年5月17日

イ. 助成団体

グループ名	提案名	申請額	決定額	助成金額 (確定)	主な活動場所
(1次)					
NPO法人セントフットサッカークラブ	ファミリーキッズサッカーフェスタ2012	500,000	300,000	300,000	みなとみらいスポーツパーク
バリアフリーフェア2012実行委員会	五感よ、ひらけ。感じよう世界を・バリアフリーマーケット	500,000	300,000	300,000	ワールドポーターズ
特定非営利法人PC-ITV	みなとみらい21の再発見(みなとみらい21放送局)	500,000	400,000	400,000	開港祭花火(臨港パーク)、JICA横浜ほか
特定非営利活動法人日本芸術文化国際センター	2013みなとみらい国際邦楽フェスティバル“Composer Project”	500,000	300,000	300,000	みなとみらいホール
NPO法人悟空研究所	みなとみらい21体感クイズラリー	500,000	400,000	400,000	臨港パーク、市民活動支援センターほか
(2次)					
都市型干潟の楽しい使い方研究チーム	高島水際線公園における生物生息状況把握調査	250,000	250,000	250,000	高島水際線公園
公益財団法人横浜市体育協会	ジョギングまつり2012 ランウォーク スポーツクリニック	500,000	400,000	400,000	マリノスタウン
東京藝術大学大学院映像研究科 メディア映像専攻	山下残 コトバ身体ワークショップ	367,200	367,200	367,200	東京藝術大学横浜キャンパス
横濱キャンドルカフェサポーターズクラブ	横濱キャンドルカフェ2012～つ・づ・く・つ・な・が・る～	500,000	500,000	500,000	運河パーク・ナビオス横浜
横浜サンタプロジェクト実行委員会	サンタが街にやってきた！横浜サンタプロジェクト	200,000	200,000	200,000	パシフィコ横浜 円形広場ほか

ウ. 活動写真



NPO 法人セントフットサッカークラブ



バリアフリーフェア 2012 実行委員会



特定非営利法人 PC-ITV



特定非営利活動法人日本芸術文化国際センター



NPO 法人悟空研究所



都市型干潟の楽しい使い方研究チーム



公益財団法人横浜市体育協会



東京藝術大学大学院映像研究科 メディア映像専攻



横浜キャンドルカフェサポーターズクラブ



横浜サンタプロジェクト実行委員会

(5)平成 25 年度の助成団体と活動内容

平成 25 年度は、1 次は申請 12 団体に対し 7 団体が助成、2 次は申請 11 団体に対し 7 団体が助成で、計 14 団体が助成対象となった。

平成 25 年度から手軽に活動を始めたいグループなどを対象にした「みなとコース」を設け、それまでの助成を「みらいコース」として 2 種類にわけた。

ア. 事業実施スケジュール

[1 次]

- ・提案募集期間 平成 24 年 12 月 21 日～平成 25 年 2 月 8 日
- ・一次選考会 平成 25 年 2 月 27 日
- ・公開選考会 平成 25 年 3 月 5 日
- ・活動期間 平成 25 年 4 月 1 日～平成 26 年 3 月 31 日

[2 次]

- ・提案募集期間 平成 25 年 6 月 17 日～平成 25 年 8 月 16 日
- ・一次選考会 平成 25 年 8 月 29 日
- ・公開選考会 平成 25 年 9 月 30 日
- ・活動期間 平成 25 年 10 月 1 日～平成 26 年 3 月 31 日
- ・実績報告会 平成 26 年 5 月 30 日

イ. 助成団体

グループ名 (☆:みなとコース)	提案名	申請額	決定額	助成金額 (確定)	主な活動場所
(1次)					
横浜国立大学アカペラサークル Stairways (☆)	4大学合同アカペラライブ	25,000	25,000	24,000	グランモール公園 円形広場
connect (☆)	みなとみらいにシカケル！！	50,000	50,000	50,000	象の鼻、JICA横浜ほか
高校生アフリカ昔話・横浜昔話実行委員会	「アフリカ昔話」「横浜昔話」の朗読ショー	500,000	500,000	500,000	クイーンズサークル
視覚障害者とつくる美術鑑賞ワークショップ	視覚障害者とつくる美術鑑賞ワークショップ in みなとみらい	297,600	297,600	297,600	横浜美術館
ハマの海を想う会	みなとみらい21“船上カメラマン”プロジェクト	497,200	497,200	497,200	象の鼻テラスほか
バリアフリーフェア2013実行委員会	バリアフリーフェア2013	170,000	170,000	170,000	ワールドポーターズ
都市型干潟の楽しい使い方研究チーム	高島水際線公園の生物調査とその楽しい使い方の研究	462,400	462,400	451,070	高島水際線公園
(2次)					
NPO法人マメポニ (☆)	みなとみらいでポニーと親子で遊ぼう！	50,000	50,000	50,000	赤レンガ倉庫周辺草地
路上芸術祭実行委員会 (☆)	チョークアート@みなとみらい21	50,000	50,000	50,000	三菱重工業ビル横、MMテラス
Y's Lab (☆)	横浜夜景美術館	50,000	50,000	50,000	象の鼻パーク
NPO法人アクションポート横浜	みなとみらいサロン～社会貢献活動交流会の実施	300,000	300,000	300,000	みなとみらい21 会議室
リレーフォーライフジャパン みなとみらい実行委員会	リレーフォーライフジャパン 2013みなとみらい	500,000	500,000	500,000	臨港パーク

Digital Docks Laboratory - MM	第2回U35 CREATORS JAPAN EXHIBITION	500,000	500,000	500,000	みなとみらいギ ャラリー
横濱キャンドルカフェサポ ーターズクラブ	横濱キャンドルカフェ2013 「Cinderella Christmas」	500,000	500,000	500,000	運河パーク、ナ ビオス横浜

ウ. 活動写真



横浜国立大学アカペラサークル
Stairways



connect



高校生アフリカ昔話・横浜昔話実行委
員会



視覚障害者とつくる美術鑑賞ワークショ
ップ



ハマの海を想う会



バリアフリーフェア 2013 実行委員会



都市型干潟の楽しい使い方研究チーム



NPO 法人マメポニ



路上芸術祭実行委員会



Y's Lab



NPO 法人アクションポート横浜



リレーフォーライフジャパンみなとみら
い実行委員会



Digital Docks Laboratory - MM



横濱キャンドルカフェサポーターズクラブ

(6) 平成 26 年度の助成団体と活動内容

平成 26 年度は、1 次は申請 10 団体に対し 6 団体が助成、2 次は申請 10 団体に対し 5 団体が助成で、計 11 団体が助成対象となった。

ア. 事業実施スケジュール

[1 次]

- ・提案募集期間 平成 25 年 11 月 1 日～平成 26 年 2 月 7 日
- ・一次選考会 平成 26 年 2 月 24 日
- ・公開選考会 平成 26 年 3 月 7 日
- ・活動期間 平成 26 年 4 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日

[2 次]

- ・提案募集期間 平成 26 年 6 月 16 日～平成 26 年 8 月 15 日
- ・一次選考会 平成 26 年 9 月 2 日
- ・公開選考会 平成 26 年 9 月 26 日
- ・活動期間 平成 26 年 10 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日
- ・実績報告会 平成 27 年 5 月 29 日

イ. 助成団体

グループ名 (☆:みなとコース)	提案名	申請額	決定額	助成金額 (確定)	主な活動場所
(1次)					
大道芸ボランティアの会 (☆)	桜木町駅前 どこいき隊	50,000	50,000	50,000	桜木町駅前広場
baybike (☆)	baybike ゴミ拾い	49,380	49,380	49,380	日本丸メモリアルパークほか
特定非営利活動法人日本芸術文化国際センター	サラリーマンのためのランチタイム邦楽コンサート	500,000	500,000	500,000	パンパシフィックホテル、ランドマークプラザほか
横浜トリエンナーレサポーターおもてなしプロジェクト	「おもてなしマップ」をつくろう!	424,000	424,000	424,000	横浜美術館
特定非営利活動法人マメポニ	みなとみらい 親子でポニーと友達の「わ」を作ろう!	205,700	205,700	205,700	カップヌードルミュージアムパーク
路上芸術祭実行委員会	チョークアート@MM21 ～路上に画を描こう～	263,200	263,200	159,608	リーフみなとみらい横
(2次)					
大道芸ボランティアの会	桜木町駅前 どこいき隊	244,000	244,000	240,390	桜木町駅前広場
非営利一般社団法人日本動物虐待防止協会	第一回ペット環境美化イベント	500,000	500,000	500,000	グランドセントラルタワーグリーンシアター
高木学園女子高等学校 ハッピートイズプロジェクト	“世界の子どもに笑顔を届ける!クリスマスツリー”	500,000	500,000	500,000	クイーンズスクエア横浜
一般財団法人横浜市母子寡婦福祉会	子どもたちからのサプライズプレゼント	280,000	280,000	177,906	臨港パーク
リレーフォーライフジャパン みなとみらい実行委員会	リレーフォーライフジャパン 2014みなとみらい	500,000	500,000	500,000	臨港パーク

ウ. 活動写真



大道芸ボランティアの会



baybike



特定非営利活動法人日本芸術文化国際センター



横浜トリエンナーレサポーターおもてなしプロジェクト



特定非営利活動法人ママポニ



路上芸術祭実行委員会



大道芸ボランティアの会



非営利一般社団法人日本動物虐待防止協会



高木学園女子高等学校ハッピートイズプロジェクト



一般財団法人横浜市母子寡婦福祉会



リレーフォーライフジャパンみなとみらい実行委員会

(7) 平成 27 年度の助成団体と活動内容

平成 27 年度は、1 次は申請 4 団体に対し 4 団体が助成、2 次は申請 8 団体に対し 6 団体が助成で、計 10 団体が助成対象となった。

ア. 事業実施スケジュール

[1 次]

- ・提案募集期間 平成 26 年 11 月 13 日～平成 27 年 2 月 6 日
- ・一次選考会 平成 27 年 2 月 25 日
- ・公開選考会 平成 27 年 3 月 5 日
- ・活動期間 平成 27 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日

[2 次]

- ・提案募集期間 平成 27 年 6 月 15 日～平成 27 年 8 月 14 日
- ・一次選考会 平成 27 年 9 月 9 日
- ・公開選考会 平成 27 年 9 月 24 日
- ・活動期間 平成 27 年 10 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日

- ・実績報告会 平成 28 年 5 月 27 日

イ. 助成団体

グループ名 (☆:みなとコース)	提案名	申請額	決定額	助成金額 (確定)	主な活動場所
(1次)					
一般社団法人国際平和映像祭	国際平和映像祭(UFPFF) 2015	500,000	500,000	500,000	JICA横浜
横浜ムンバイ姉妹都市50周年を祝う市民の会	ポリこいダンスで繋がる みなとみらいふるさとまちづくり	500,000	500,000	362,016	クイーンズモール
大道芸ボランティアの会	桜木町駅前 どこいき隊	500,000	500,000	500,000	桜木町駅前広場
特定非営利活動法人マメポニ	今年も遊ぼう！みなとみらい「ポニーとみんなて友達になろう！！」	338,400	338,400	338,400	臨港パーク、カップヌードルミュージアムパーク
(2次)					
みなとみらい秋まつり実行委員会 (☆)	第6回みなとみらい秋まつり	50,000	50,000	50,000	高島中央公園
NPO法人ハマのトウダイ	ハマのパークキャラバン IN 高島中央公園2015	480,800	480,800	480,800	高島水際線公園、高島中央公園
よこはま国際協力・国際交流プラットフォーム運営委員会	「よこはま国際フェスタ2015」世界のフード体験企画	500,000	400,000	400,000	象の鼻パーク
みなとみらい ごはん部	みなとみらいの食と人をつなぐ部活動	500,000	400,000	400,000	BUKATSUDO
高木学園女子高等学校ハッピートイズプロジェクト	“世界の子どもに笑顔を届ける！ぬいぐるみ”	440,000	220,000	220,000	クイーンズスクエア横浜、JICA横浜
リレーフォーライフジャパンみなとみらい実行委員会	リレーフォーライフジャパン2015みなとみらい	500,000	500,000	500,000	臨港パーク

ウ. 活動写真



一般社団法人国際平和映像祭



横浜ムンバイ姉妹都市 50 周年を祝う市民の会



大道芸ボランティアの会



特定非営利活動法人マメポニ



みなとみらい秋まつり実行委員会



NPO 法人ハマのトウダイ



よこはま国際協力・国際交流プラットフォーム運営委員会



みなとみらい ごはん部



高木学園女子高等学校ハッピートイズプロジェクト



リレーフォーライフジャパンみなとみらい実行委員会

(8) 平成 28 年度の助成団体と活動内容

平成 28 年度から、助成を年 1 回とした。申請 9 団体に対し 5 団体が助成対象となった。みなとコースの申請はなかった。

ア. 事業実施スケジュール

- ・提案募集期間 平成 27 年 11 月 12 日～平成 28 年 2 月 5 日
- ・一次選考会 平成 28 年 2 月 24 日
- ・公開選考会 平成 28 年 3 月 7 日
- ・活動期間 平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日
- ・実績報告会 平成 29 年 5 月 25 日

イ. 助成団体

グループ名	提案名	申請額	決定額	助成金額 (確定)	主な活動場所
高島中央公園愛護会	住民主体によるポニーイベントの開催	320,000	320,000	320,000	高島中央公園
ヒロシマ「」継ぐ展実行委員会	第三世代が考えるヒロシマ「」継ぐ展2016	500,000	500,000	500,000	みなとみらいギャラリーほか
ヨコハマ・フットボール映画祭実行委員会	ヨコハマ・フットボール映画祭2017	500,000	400,000	400,000	スポーツパーク、ブリリアショートショートシアター
路上芸術祭実行委員会	チョークで街に絵を描こう@みなとみらい	361,600	361,600	231,959	横浜三井ビル、ナビオス横浜、グランドセントラルタワー
みなとみらい ごはん部	みなとみらいの食と人をつなぐプロジェクト2016	500,000	450,000	450,000	BUKATSUDO、高島中央公園、グランドセントラルタワー

ウ. 活動写真



高島中央公園愛護会



ヒロシマ「」継ぐ展実行委員会



ヨコハマ・フットボール映画祭実行委員会



路上芸術祭実行委員会



みなとみらい ごはん部

(9) 平成 29 年度の助成団体と活動内容

平成 29 年度は、申請9団体(うち 1 団体は取り下げ)に対し6団体が助成対象となった。みなとコースの申請はなかった。

ア. 事業実施スケジュール

- ・提案募集期間 平成 28 年 12 月 1 日～平成 29 年 1 月 20 日
- ・一次選考会 平成 29 年 2 月 17 日
- ・公開選考会 平成 29 年 3 月 2 日
- ・活動期間 平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日
- ・実績報告会 平成 30 年 6 月 7 日

イ. 助成団体

グループ名	提案名	申請額	決定額	助成金額 (確定)	主な活動場所
高木学園女子高等学校ハッピートイズプロジェクト	“世界の子どもに笑顔をお届ける！ぬいぐるみ”	500,000	500,000	500,000	クイーンズスクエア横浜、JICA横浜
大道芸ボランティアの会	桜木町駅前 どこいき隊	252,000	252,000	252,000	桜木町駅前広場
路上芸術祭実行委員会	チョークで街に絵を描こう@みなとみらい	369,600	369,600	369,600	クロスパティオ、ナビオス横浜ほか
みなとみらい ごはん部	MM21エリア住民参加促進プロジェクト	500,000	500,000	500,000	BUKATSUDO、高島中央公園
NPO法人ハマのトウダイ	ハマのパークキャラバン 2017 みなとみらい	500,000	500,000	500,000	臨港パーク、横浜美術館前
みなとみらいでポニーと遊ぼう！実行委員会	みなとみらいでポニーと遊ぼう！	240,000	240,000	240,000	高島中央公園、高島水際線公園ほか

ウ. 活動写真



高木学園女子高等学校ハッピートイズプロジェクト



大道芸ボランティアの会



路上芸術祭実行委員会



みなとみらい ごはん部



NPO 法人ハマのトウダイ



みなとみらいでポニーと遊ぼう！実行委員会

(10) 平成 30 年度の助成団体と活動内容

平成 30 年度は、申請 9 団体に対し 7 団体が助成対象となった。1 団体が辞退し、6 団体が活動を行なった。みなとコースの申請はなかった。

ア. 事業実施スケジュール

- ・提案募集期間 平成 29 年 12 月 1 日～平成 30 年 1 月 15 日
- ・一次選考会 平成 30 年 2 月 21 日
- ・公開選考会 平成 30 年 3 月 9 日
- ・活動期間 平成 30 年 4 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日
- ・実績報告会 令和元年 7 月 25 日

イ. 助成団体

グループ名	提案名	申請額	決定額	助成金額 (確定)	主な活動場所
みなとみらいでポニーと遊ぼう！実行委員会	みなとみらいでポニーと遊ぼう！	240,000	240,000	240,000	高島中央公園、高島水際線公園ほか
NPO法人ハマのトウダイ	ハマのパークキャラバン2018 みなとみらい	500,000	500,000	404,784	臨港パーク
つながるハマベビプロジェクト実行委員会	つながるハマベビ 駅前レンタルベビーカー事業	500,000	500,000	211,848	パシフィコ横浜、ニューオータニイン横浜プレミアムほか
NPO法人 ミニシティ・プラス	MM21ジュニア編集局	500,000	500,000	500,000	みなとみらい本町小学校
まちが人をそだてるプロジェクト実行委員会	まちが人をそだてるプロジェクト	209,600	209,600	145,514	ぴおシティ
NPO法人 全日本育児普及協会	紙芝居 × 防災	500,000	500,000	480,000	MMテラス

ウ. 活動写真



みなとみらいでポニーと遊ぼう！実行委員会



NPO 法人ハマのトウダイ



つながるハマベビプロジェクト実行委員会



NPO 法人 ミニシティ・プラス



まちが人をそだてるプロジェクト実行委員会



NPO 法人 全日本育児普及協会

2-4 助成の実施状況(まとめ)

(1) 10年間の助成の実施状況

10年間に実施した助成は、提案数 146 団体に対し助成数延べ 99 団体、助成額の総計は 30,693,891 円である。

表 2-2 助成の実施状況

年度 助成 状況	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	計
提案数	9	19	22	14	23	21	12	9	8	9	146
助成数 (みなとコ ース)	7	16	14	10	14 (5)	11 (2)	10 (1)	5	6	6	99 (8)
助成額 合計 (単位円)	2,133,003	3,779,913	4,120,000	3,417,200	3,939,870	3,306,984	3,751,216	1,901,959	2,361,600	1,982,146	30,693,891
予算 (千円)	3,800	4,500	4,350	4,350	4,350	4,450	5,000	2,500	3,500	3,406	

*平成 27 年度までは上期・下期の合計 助成数の () はみなとコース(内数)

10年にわたる実施の間に、制度の変更など以下のような実施状況の変化があった。

① 募集回数は年 2 回から年 1 回へ

- ・訪日外国人旅行者数の増加や 2020 年の東京オリンピック・パラリンピック開催を踏まえ、みなとみらい地区でも外国人来街者への対応が課題となった。そのために新規事業を実施することになり、平成 28 年度に本助成事業の予算が減額された。これにより、平成 27 年度まで年 2 回募集を行っていたが、平成 28 年度からは募集回数 1 回とした。

② 「みなとコース」の創設と利用状況

- ・手軽に地域活動を始めたいグループや活動がまだ定着していないグループ、学生の街づくり活動を支援するなどの理由から、平成 25 年度から小額コース「みなとコース」を増設した。初年度から 3 年間は応募があったものの、その後の利用は伸びなかった。
- ・「みらいコース」より手続等は簡略化され、書類審査のみで助成は決定されるが、事務作業の手間がかかることや、公開選考会や実績報告会への出席を求めていることなどから、申請が敬遠された可能性がある。
- ・広報力不足により、実際に活動を始めたいと考える人たちに情報が届かなかったことも考えられる。

③ 平成 27 年度以降の提案数の減少

- ・本助成事業では、公開選考会でのプレゼンテーション及び質疑応答により、団体の気づきや活動内容のブラッシュアップが期待されていた。そのため公開選考会と活動後の報告会への出席が必須とされていたが、これらの日程が平日の日中の設定であったため、就業者が中心となる団体の場合、申請を躊躇する一因となった可能性がある。
- ・申請書類(申請書、提案書、収支予算書)の作成が煩雑であった。

- ・同じ内容の活動への助成回数は3回までとしていたため、3回に達した団体はみなとみらい21地区で継続して活動しても応募することができない。
- ・広報が十分でなかった。
- ・本事業への申請以前に、みなとみらい21地区内での活動場所の確保が容易ではない（使用許可等を各自でとる、許可のハードルが高い等）為に活動自体が増えていない可能性が考えられる。
- ・活動場所がみなとみらい21地区と限定されていることや、既往事例の実施内容等から、自分たちの活動は助成対象に該当しないと考え申請をしない団体があったのではないかと推察される。

(2) エリアマネジメント活動で利用された場所

エリアマネジメント活動は、みなとみらい21地区内の以下のような場所で展開された。

図 2-2 活動の分布と利用された場所



*背景の地形と建物形状は「都市計画基本図データ(平成 25 年)」横浜市による
 *【横浜市地形図複製承認番号 令元建都計第 9118 号】

(3) 主な活動場所 (空間資源)

*場所①～⑭の位置は図 2-2 参照

① 高島中央公園



② 高島水際線公園



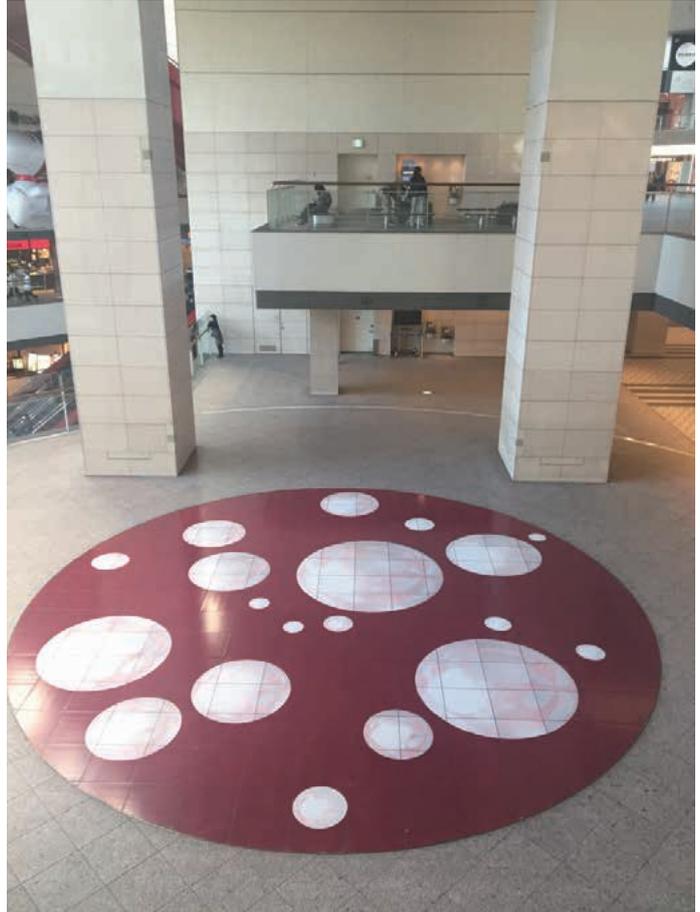
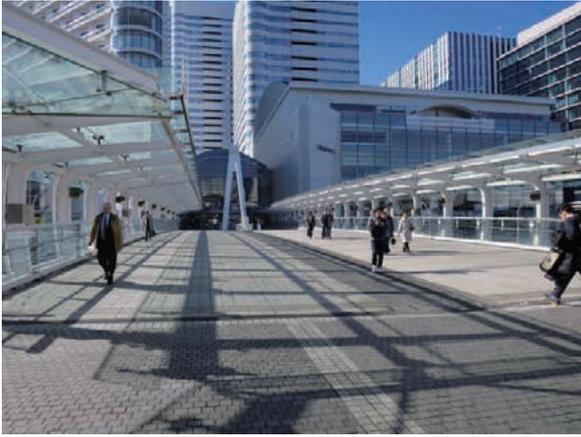
③ 臨港パーク



④ パシフィコ横浜周辺



⑤ クイーンズスクエア横浜



⑥ グランモール公園(円形広場)



⑦ グランモール公園(美術の広場)



⑧ ドックヤードガーデン



⑨ 日本丸メモリアルパーク



⑩ 象の鼻パーク



⑪ 横浜赤レンガ倉庫



⑫ JICA 横浜～カップヌードルミュージアムパーク



⑬ 横浜ワールドポーターズ



⑭ 運河パーク

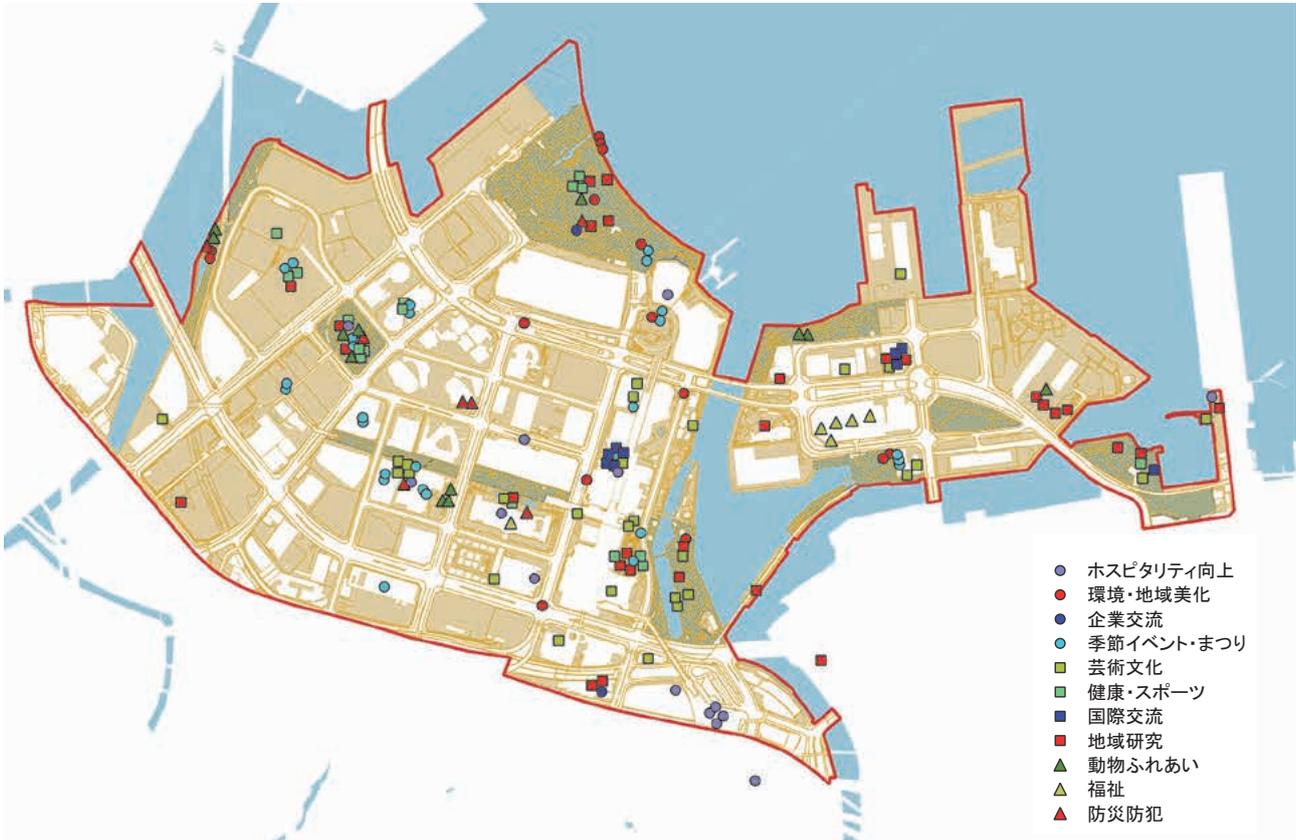


(4) 活動の種類や活動のタイプ、主体など

① エリア内での活動の状況

助成対象となった活動には以下のような多様なタイプがあった。助成対象を活動の目的や内容で分類して集計した。

図 2-3 種類別活動の分布 (活動の行われた場所(活動によって複数ある場合がある)を表示している。)



*背景の地形と建物形状は「都市計画基本図データ(平成 25 年)」横浜市による

*【横浜市地形図複製承認番号 令元建都計第 9118 号】

表 2-3 種類別活動件数

	活動数
ホスピタリティ向上	9
環境・地域美化	12
企業交流	2
季節イベント・まつり	13
芸術文化	18
健康・スポーツ	13
国際交流	7
地域研究	7
動物ふれあい	7
福祉	6
防災防犯	5
総計	99

活動の種類(目的・内容)を分類して活動数を集計した。多様な活動が展開されたことがわかる。

図 2-4 活動のタイプ別活動の分布



表 2-4 活動のタイプ別活動

活動のタイプ	活動数
体験参加	56
地域貢献ボランティア	20
展示発表	23
総計	99

活動のタイプ別に活動を類型化して活動数を集計した。体験型の活動が多い。

図 2-5 活動場所の空間種別活動の分布



表 2-5 活動場所の空間種別活動件数

活動空間の種別	活動数
屋外(公園)	38
屋外(公園以外)	25
屋外施設	3
屋内	33
総計	99

活動の場を類型化し活動数を集計した。屋外の活動が多く、地区内の公園を活動の場とするものが多い。暫定利用施設などを活用した活動もあった。

*背景の地形と建物形状は「都市計画基本図データ(平成 25 年)横浜市による
*【横浜市地形図複製承認番号 令元建都計第 9118 号】。以下同じ

図 2-6 活動主体別の活動の分布

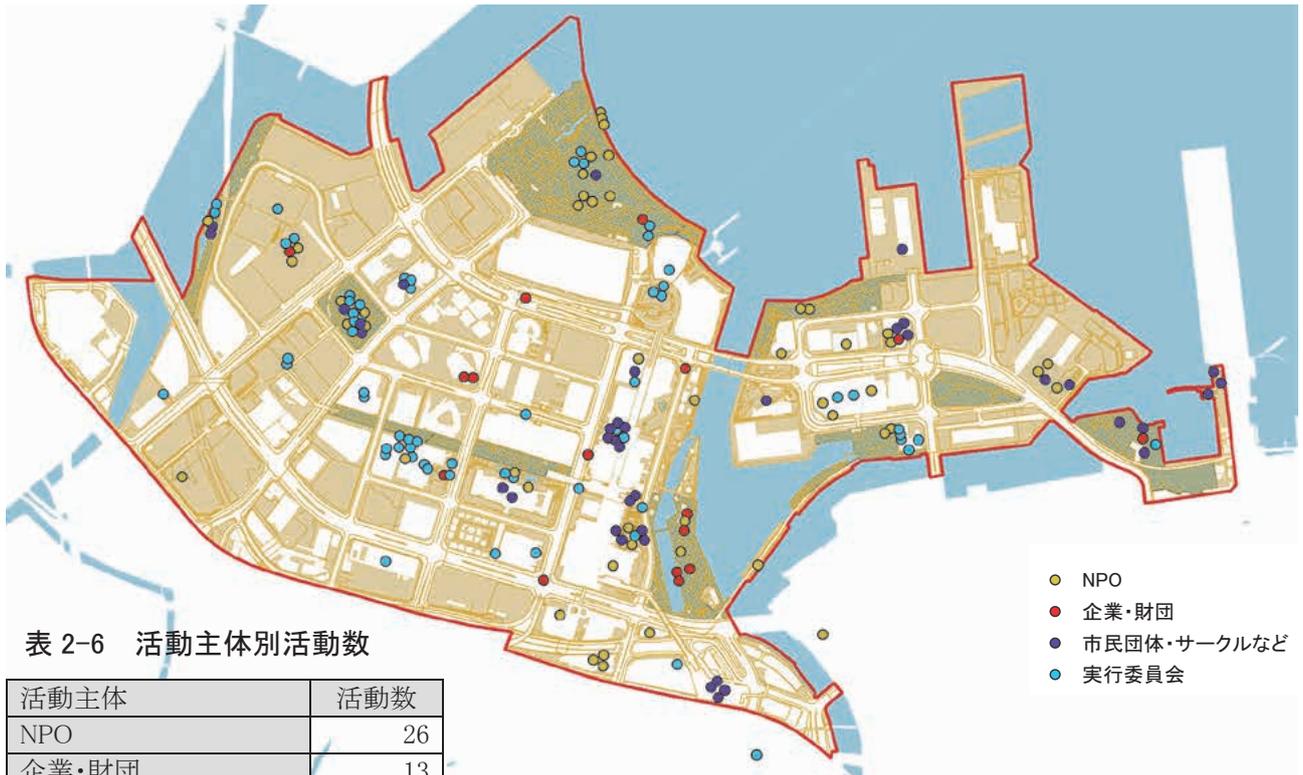


表 2-6 活動主体別活動数

活動主体	活動数
NPO	26
企業・財団	13
市民団体・サークルなど	28
実行委員会	32
総計	99

活動主体を分類し、活動数を集計した。
様々な主体が活動を行なっている。

図 2-7 学生や子どもが主体の活動の分布



・学生や子どもが主体の活動の分布
学生や子供が主体となる活動もみられた。

②活動の継続や連携の状況

活動団体ごとに整理すると、複数年にわたって助成を受けた活動や、活動場所やテーマで連携して実施している団体があることがわかる。

図 2-8 助成団体の活動継続状況は、申請団体ごとに活動の継続や連携の状況を見たものである。助成 59 団体中 26 団体が、複数年の継続的な活動を行なっている。「みなとコース」でスタートし、「みらいコース」にステップアップした団体もある。

「横濱サンタプロジェクト」や「マメポニ」では、活動団体が変わったり連携しながら活動を継続していることがわかる。

また、図 2-9 活動団体の連携状況は、実施報告で、連携の相手として挙がっている団体を表にしたものである。連携の状況からいくつかの特徴を読み取ることができる。

ア 「場所つながり」

高島中央公園を活動場所とする団体が、高島中央公園愛護会を連携相手としてあげている。みなとみらい 21 地区の中で、活動場所として多くの団体に選ばれている場所はいくつかあるが、場所の管理窓口そのものが活動団体である（「愛護会」）のは、ここだけである。場所に、管理者だけでなく「使い手」がいることが、活動の連携や活性化につながっていると考えられる。

イ 「メディアつながり」

取材者と取材先という形でつながっている、場所や活動内容に特定されない連携である。実施報告には書かれていないが、もっと多くの団体が PC-ITV（みなとみらい 21 放送局）と関わっていると推定される。

ウ 「テーマ・内容つながり」

同じ場所や時期でのイベント開催や、テーマ（例「広島」）で連携のあった例である。公開選考会や報告会などで団体同士が出会い、相互の活動を知ることにつながりが生まれている。

③特徴的な活動の状況

「高木学園ハッピートイズプロジェクト」は、クィーンズスクエア横浜を活動場所としてぬいぐるみの製作と展示をし、海外の子ども達に送る活動であるが、3回の助成終了後は、学校に近い地域のロータリークラブの支援を受けて、みなとみらい 21 地区での活動を継続している。

エリアマネジメント活動助成を受けて活動したことを契機に、独自に資金や協力者を得るという活動の展開をし、みなとみらい 21 地区での活動を継続している例である。



助成終了後の 2019（令和元）年のクィーンズスクエア横浜での展示の様子

図 2-8 助成団体の活動継続状況 (名称が変更になった団体については同じ内容の活動であれば集約して表記)

(*不採用・辞退のみの団体は除く。また、グループ名は、活動の関係を表すために、一部統合して表記。)			みなとコース		みらいコース		連携・発展して継続			共同実施		
グループ名*	複数年助成	提案名	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
Ferris Mobile Concierge	○	エリアマネジメント活動										
NPOスクエア連絡会	○	探してみよう!バリアフリー(車椅子編) in「横浜みなとみらい21」、探してみよう!市民活動 in 横浜MM21、みなとみらいバリアフリーガイド										
NPO法人 海辺つくり研究会	○	夢ワカメ・ワークショップ										
帆船日本丸記念財団・JTBC共同企業体	○	「横浜の帆船日本丸」募集写真展、				不採用						
帆船日本丸記念財団・JTBC共同企業体	○	帆船日本丸吹奏楽演奏会2010・2011										
みなとみらいハロウィンin新高島実行委員会	○	HAPPY HALLOWEEN in 新高島実行委員会、みなとみらい21しんたかしま										
神奈川県警横浜支店「自主防犯パトロール隊」	○	みなとみらい地区における自主防犯パトロールの実施										
『みなとみらい21 朝の健康スポーツ』実行委員会	○	みなとみらい21朝の健康スポーツ促進										
10・11年度クイーンズスクエア横浜クリスマス委員会	○	横浜市内、中等学校吹奏楽部による演奏会、クイーンズスクエア横浜 シンギングソリーの制作・展示										
「みなとみらい21さくらフェスタ2010」実行委員会	○	みなとみらい21さくらフェスタ2010										
NPOかながわユースボランティアリングファクトリー	○	花時計プロジェクト2010・2011										
横浜三銃士		みなとみらい ジョイント クリーンアップ										
クリーン大作戦学生部隊		みなとみらいクリーン大作戦～みなとみらいをきれいで愛着のある街に!										
パシフィコ横浜(横浜国際平和会議場)		みなとみらい大盆踊り										
みなとみらい大盆踊り実行委員会		第四回みなとみらい大盆踊り										
山下居留地遺跡の価値を考える会+YYJK		みなとみらい21地区を中心とした近代遺跡の活用・研究・PR活動										
ハマっ子☆サンタ記念日		ヨコハマ最大のゴミ拾いイベント ハマっ子☆サンタ記念日										
横浜サンタプロジェクト実行委員会	○	サンタが街にやってきました!～広場サンタ活動、横浜サンタプロジェクト										
CAP(Challenge Acappella Project)		絆歌～アカペラとみなとみらいがつなぐ人々の輪～										
PC-ITV	○	みなとみらい21の再発見(みなとみらい21放送局)										
象の鼻元プロジェクト		エンターテイメント型の野外YOGA										
特定非営利法人 日本ステップ協会		みなとみらい21健康タウン作り										
日本芸術文化国際センター 邦楽プロジェクト	○	みなとみらい国際邦楽フェスティバル(伝統と和楽器の紹介)2013みなとみらい国際邦楽フェスティバル"Composer Project"、サラリーマンのためのランチタイム邦楽コンサート										
NPO法人悟空研究所	○	子ども達が「横浜はじめて物語」を本で感じる体験遊び、みなとみらい21体感クイズラリー										
横浜キャンドルカフェサポーターズクラブ	○	横浜キャンドルカフェ2011～紡ぐ想い 灯す願い～、2013「Cinderella Christmas」、横浜キャンドルカフェ2012～つ・く・つ・な・が・る～										
NPO法人セイントフットサッカークラブ		ファミリーキッズサッカーフェスタ2012、2013										
バリアフリーフェア2012実行委員会	○	五感よ、ひらけ。感じよう世界を・バリアフリーマーケット、バリアフリーフェア2013										
公益財団法人横浜体育協会		ジョギングまつり2012 ランウォーク スポーツクリニック										
都市型干潟の楽しい使い方研究チーム	○	高島水際線公園における生物生息状況把握調査、生物調査とその楽しい使い方の研究										
東京藝術大学大学院映像研究科 メディア映像専攻		山下残 コトバ身体ワークショップ										
ハマの海を想う会		みなとみらい21"船上カメラマン"プロジェクト										
高校生アフリカ昔話・横浜昔話実行委員会		「アフリカ昔話」「横浜昔話」の朗読ショー										
視覚障害者をつくる美術鑑賞ワークショップ		視覚障害者をつくる美術鑑賞ワークショップ in みなとみらい										
connect		みなとみらいにシカケル!!										
横浜国立大学アカベラサークル Stairways		4大学合同アカベラライブ										
Digital Docks Laboratory - MM		第2回U35 CREATORS JAPAN EXHIBITION										
NPO法人アクションポート横浜		みなとみらいサロン～社会貢献活動交流会の実施										
リレーフォーライフジャパンみなとみらい実行委員会		リレーフォーライフジャパン2013みなとみらい、2014、2015										
NPO法人マメモニ	○	みなとみらいでポニーと親子で遊ぼう!今年も遊ぼう!みなとみらい「ポニーとみんなであそぼう!」										
高島中央公園愛護会		住民主体によるポニーイベントの開催										
みなとみらいでポニーと遊ぼう!実行委員会	○	みなとみらいでポニーと遊ぼう!										
Y's Lab		横浜夜景美術館										
路上芸術祭実行委員会	○	チョークアート@みなとみらい21、チョークで街に絵を描こう@みなとみらい、チョークアート@MM21 ～路上に絵を描こう～										
横浜トリエンナーレサポーターおもてなしプロジェクト		「おもてなしマップ」をつくろう!										
baybike		baybike ゴミ拾い										
大道芸ボランティアの会	○	桜木町駅前 どこいき隊										
一般財団法人横浜母子寡婦福祉会		子どもたちからのサプライズプレゼント										
高木学園女子高等学校ハッピーイズプロジェクト	○	“世界の子どもに笑顔を届ける!クリスマスツリー”、ぬいぐるみ”										
非営利一般社団法人日本動物虐待防止協会		第一回ペット環境美化イベント、「第二回 HAPPY ANIMAL 環境美化 MM21」										
一般社団法人国際平和映像祭		国際平和映像祭(UFPFF)2015										
横浜ムンバイ姉妹都市50周年を祝う市民の会		ポリこいダンスで繋がる みなとみらいふるさとまちづくり										
NPO法人ハマのトウダイ	○	ハマのパークキャラバン IN 高島中央公園2015、2017 みなとみらい、2018 みなとみらい										
みなとみらいごはん部	○	みなとみらいの食と人をつなぐ部活動、みなとみらいの食と人をつなぐプロジェクト 2016、MM21エリア住民参加促進プロジェクト										
よこはま国際協力・国際交流プラットフォーム運営委員会		「よこはま国際フェスタ2015」世界のフード体験企画										
みなとみらい秋まつり実行委員会		第6回みなとみらい秋まつり										
ヒロシマ「」継ぐ展実行委員会		第三世代が考えるヒロシマ「」継ぐ展2016										
ヨコハマ・フットボール映画祭実行委員会		ヨコハマ・フットボール映画祭2017										
NPO法人 全日本育児普及協会		紙芝居 × 防災										
NPO法人 ミニシティ・プラス		MM21ジュニア編集局										
つながるハマベビプロジェクト実行委員会		つながるハマベビ 駅前レンタルベビーカー事業										
まちが人をそだてるプロジェクト実行委員会		まちが人をそだてるプロジェクト										

*各年の実績報告より作成

図 2-9 活動団体の連携状況

グループ名	連携の相手として上がっているところ(助成団体のみ)																
	高島中央公園愛護会	マメポニ	横浜三銃士	クリーン大作戦	フェリス学院大	ハマっ子サタ	サントプロジェクト	PC-ITV	NPOスクエア	セントフットサッカー	かながわユースボランティア	横濱キャンドルカフェ	リレーフォーライフ	路上芸術祭	みなとみらいごほん部	ヒロシマ継ぐ	秋祭り
H21-下	みなとみらいハロウィンin新高島実行委員会																
H22-1	横浜三銃士																
H22-1	クリーン大作戦学生部隊																
H22-1	『みなとみらい21 朝の健康スポーツ』実行委員会																
H22-2	NPOスクエア連絡会																
H23-2	横浜サントプロジェクト実行委員会																
H23-2	NPOスクエア連絡会																
H24-1	NPO法人セントフットサッカークラブ																
H24-1	特定非営利法人PC-ITV																
H24-2	横濱キャンドルカフェサポーターズクラブ																
H24-2	横浜サントプロジェクト実行委員会																
H25-1	バリアフリーフェア2013実行委員会																
H25-2	NPO法人アクションポート横浜																
H27-1	特定非営利活動法人マメポニ																
H27-2	みなとみらい秋まつり実行委員会																
H27-2	リレーフォーライフジャパンみなとみらい実行委員会																
H28	高島中央公園愛護会																
H28	ヒロシマ「」継ぐ展実行委員会																
H28	路上芸術祭実行委員会																
H28	みなとみらいごほん部																
H29	路上芸術祭実行委員会																
H29	みなとみらいでポニーと遊ぼう！実行委員会																
H30	みなとみらいでポニーと遊ぼう！実行委員会																
H30	つながるハマベビプロジェクト実行委員会																
H30	まちが人をそだてるプロジェクト実行委員会																

*図中のア、イ、ウは連携の種類で2-4(4)②参照
 *各年の実績報告より作成

④活動の様子

・みなとみらい21さくらフェスタ

2019

さくら通り



・みなとみらい大盆踊り

2010

2019



・みなとみらい秋まつり

神輿パレード

綱引き



・横濱キャンドルカフェ

2013



2019



・サンタが街にやってきた！ 横浜サンタプロジェクト

2018



・みなとみらいでポニーと遊ぼう！

2016



2018



・チョークで街に絵を描こう

2013



横濱キャンドルカフェの会場で 2016

2017



・ハマのパークキャラバン

2015



2018



3. 助成団体及び会員企業へのアンケート調査

活動助成団体および会員企業を対象に、「エリアマネジメント活動助成事業アンケート調査」を実施した。

3-1 活動助成団体へのアンケート調査

(1) 実施概要

●実施対象及び方法

ア 対象:59 団体 (回答 30 団体)

イ 方法:調査票郵送

ウ 主な調査内容:

- 助成事業の評価
- 現在の活動状況
- 今後に必要な支援

エ 実施期間:令和元年5月 20 日～令和元年6月 20 日

助成回数別回収状況

助成3回 9団体 30.0%

助成2回 5団体 16.7%

助成1回 16 団体 53.3%

●調査のポイント

- ① 助成事業はエリアマネジメント活動の振興に効果があるか。
- ② エリアマネジメント助成事業の評価(自立の促進、活動認知への貢献、等)。
- ③ みなとみらい 21 地区を選んだ理由 (MM21 地区は活動しやすい場所か)。
- ④ エリアマネジメント活動に必要な支援は何か。
- ⑤ YMM の役割は何か。

●アンケート項目

ア 団体の属性

- Q 名称、活動内容、メンバー数、設立年、構成(性別、年代)、
みなとみらいとの関わり(就業者、住民)

イ 助成活動の内容と動機 ③(調査のポイント 以下同じ)

- Q 助成を受けて行ったのはどのような活動か。
Q なぜ助成事業に応募したか。

ウ 助成事業への評価 ①

- Q 助成金が活動に役立ったか。
Q どのような点で役に立ったか。
(資金確保、活動認知、ネットワーク形成等)

エ 現在の活動状況について

- Q 現在活動をしているか(している、していない)

オ 継続しているグループの成果、課題 ①②③

- Q (している)現在の活動はどのようなものか。
- Q (している)どのように発展したか。(法人化、企業との連携、他)
- Q (している)活動場所はみなとみらい 21 地区か。
- Q (している・MM21 地区外)MM21 地区で活動していない理由は何か。

カ 活動を中止したグループ ④

- Q (していない)休止の原因は何か。
- Q どんな支援があれば継続が可能だったと思うか。

キ 活動に必要な支援 ④⑤

- Q どんな支援があればいいと感じるか。

ク MM21 地区での活動の意向 ③

- Q 今後みなとみらい 21 地区で活動したいと思うか。
- Q (思う)なぜそう思うか。
- Q (思わない)なぜそう思うか。

(2) 集計結果

回答のあった団体は30団体である。助成回数別にみると、助成3回が9団体、助成2回が5団体、助成1回が16団体であった。

ここでは、集計結果のうち、活動助成事業の効果や評価など今後に向けて要点を述べる。前掲の実施概要に挙げた調査のポイントをもとに集計結果をまとめると、つぎのようなことがわかる。(調査結果の詳細は、資料編参照)

① エリアマネジメント活動助成事業は資金面だけでなく活動の評価などの面で役立った

9割以上(93.3%)の団体が「助成事業が役に立った」と回答している。役に立った内容としては、「活動資金を確保できた」(82.1%)が最も多く、これに次いで「事務局に告知・広報してもらった」(42.9%)や「助成を受けることで認知してもらえた」(35.7%)など、資金面ではない効果も得られた。

助成終了後も30団体中25団体が継続して活動している。現在の活動資金は、「自己資金+助成金+協賛金」のように、複数の収入源を持っている団体が多く、工夫して活動資金を得ながら活動を継続していることがわかる。

現在の活動は、以前と比べてどのように変化したかを聞いたところ、「活動への参加者が増加した」「活動地域が拡大した」「活動資金が増加した」などプラスの評価が上位になっており、回答があった団体の8割以上が自立や活動振興をしていることがわかる。

図 3-1 活動に、本助成事業は役に立ったか

(N=回答数 以下各グラフとも同じ)

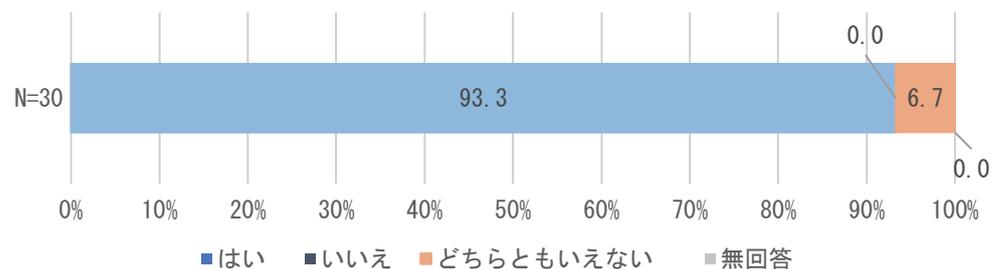
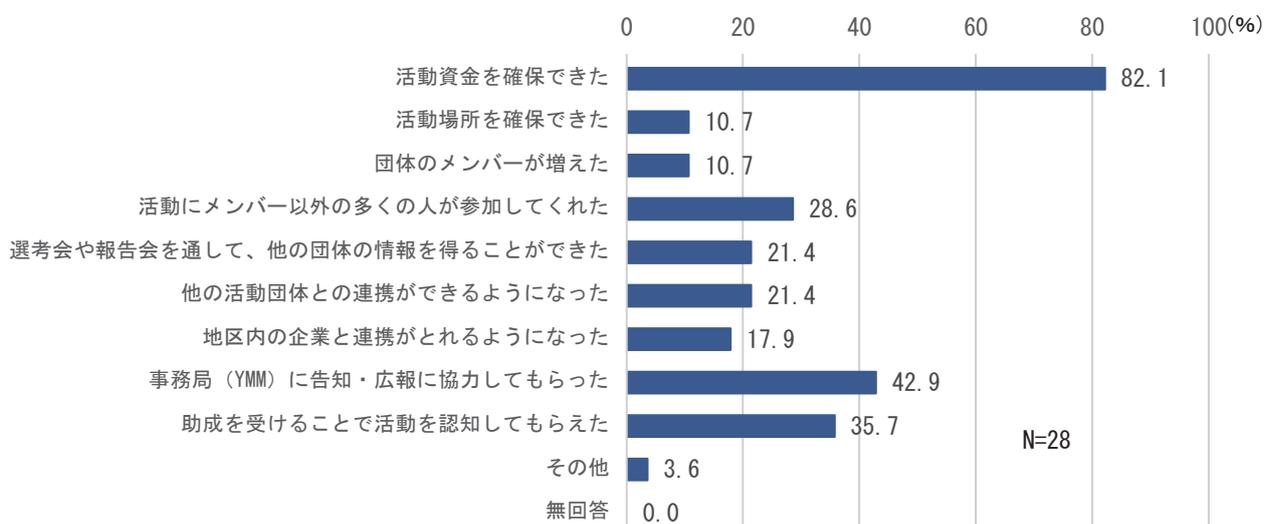


図 3-2 どのような点で役に立ったか



② 選考会を公開にしたことが評価され、公開にした効果もあった

また、助成事業の仕組みについての設問で、公開選考会について聞いたところ、「選考の過程が透明で、公平だと感じた」を30団体中23団体が回答。「公開で行わない方がよい」と回答した団体はなく、公開選考会に対する否定的な意見はなかった。

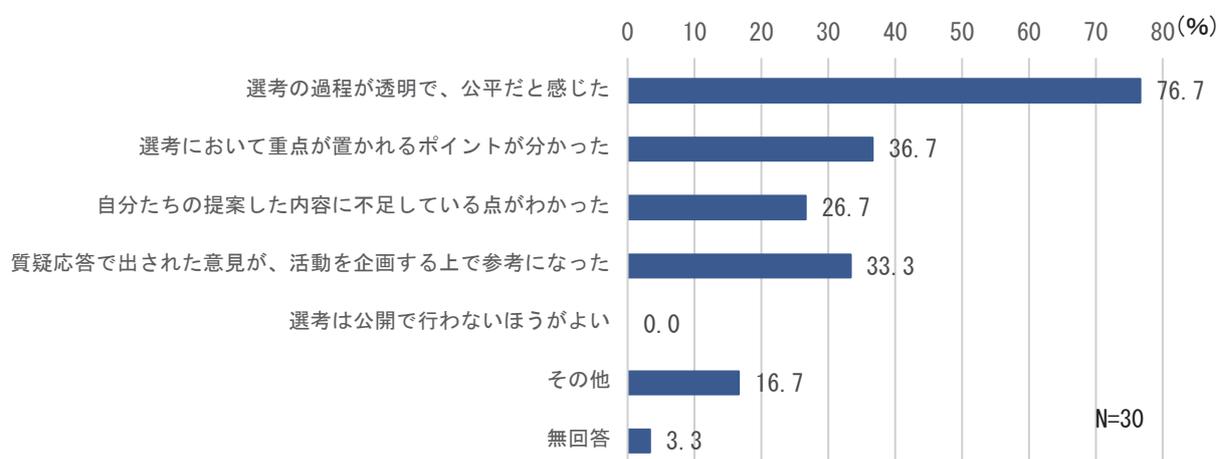
「自分たちの提案した内容に不足している点があった」や「質疑で出された意見が活動を企画する上で参考になった」など、その後の活動への効果を感じている。

また、活動を支援する仕組みについての意見・感想については、30団体中16団体から回答があった。

主な意見としては、選考会でのアドバイスや活動のサポートがあったこと、選考や報告など一連の行程で他の団体の活動がわかったり連携の機会ができたりしたこと、などがある。さらに、企業とのマッチングを期待する意見もあった。

一方、選考会日程については、平日のみでは参加しにくい、という意見があった。

図 3-3 公開の場で助成の可否が決定することについて



③ みなとみらい21地区内の就業者や企業が参加している。

活動団体とみなとみらい21地区とのかかわりは、半数の15団体が「メンバーの中にMM21地区の就業者または企業・団体がいる」と回答。「住んでいる人がいる」(3団体)は少なく、就業者や企業・団体が中心になっている。「特に関係ない」も8団体あった。

また、助成事業に応募したきっかけ・理由として、「活動場所としてMM21地区が適切であったから」と「活動資金の確保ができるから」がともに16件の回答があった。資金が得られることとともに、活動場所としてのみなとみらい21地区への期待を持っていることがわかる。

図 3-4 活動の中心となるメンバーとみなとみらい21地区とのかかわり

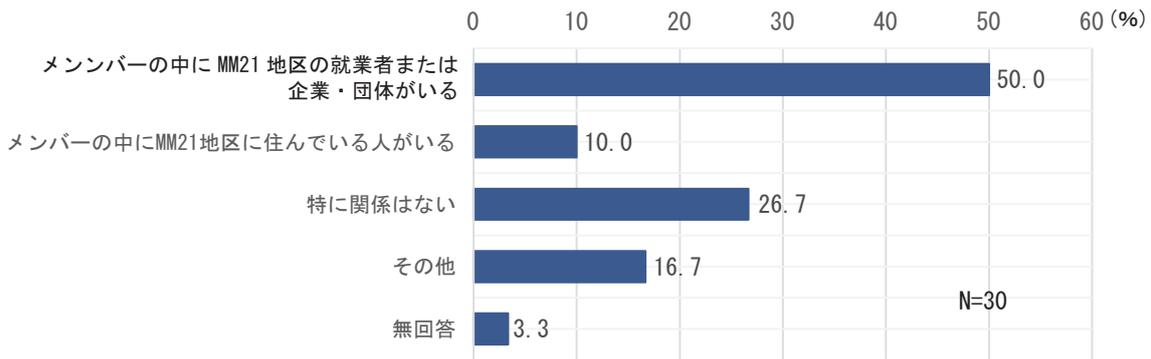
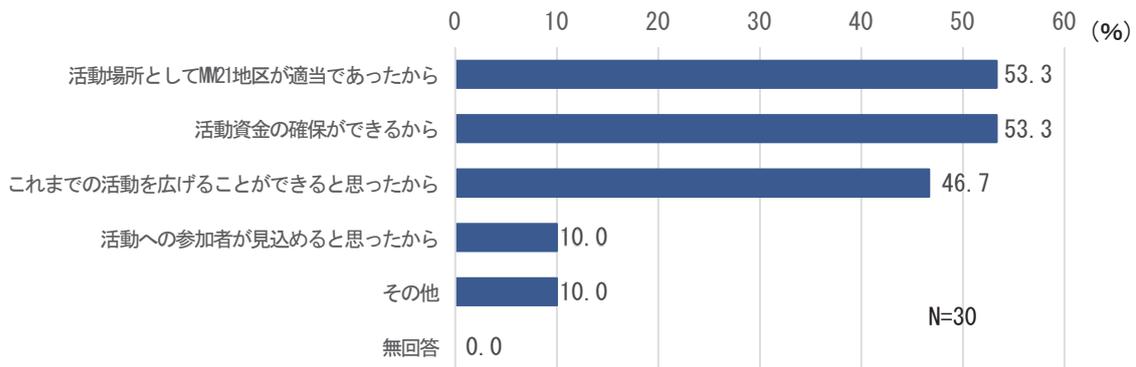


図 3-5 助成事業に応募したきっかけ・理由



④ みなとみらい21地区内での活動が継続している

現在も活動を継続している 25 団体のうち、20 団体が現在もみなとみらい21地区で活動している。

みなとみらい21地区で活動を継続している理由としては、「活動場所があるから」、「メンバーがMM21とかかわりがあるから」、「観光客等、人が多く集まるから」などの回答が上位になっており、いずれもみなとみらい21地区の特徴が、活動場所として選ばれる理由になっている。

一方、活動を継続していない団体は5団体と少ないので参考値になるが、理由は「活動資金を確保できなかった」が3件で最も多かった。グループメンバーの確保や人員の不足、高校生の団体だったため卒業して活動をやめた、などメンバーについての変化を理由に挙げている団体もある。いずれもみなとみらい21地区という活動場所よりは、団体の運営に関わる問題が活動をやめる理由になっている。（資料編 90・91 ページ参照）

また、今後みなとみらい21地区での活動意向については、30 団体中 25 団体が活動したいと回答している。理由としては、「MM21地区への社会的な興味関心が高い」（12 団体）、「活動への多くの参加者が期待できる」（11 団体）などみなとみらい21地区の注目度の高さや集客力などが期待されている。

図 3-6 今後 MM21地区で活動したいか

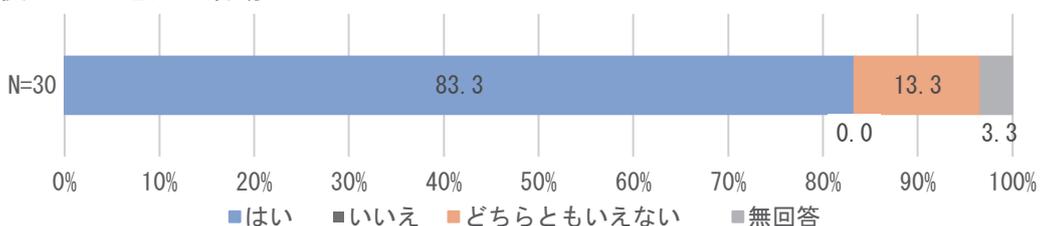
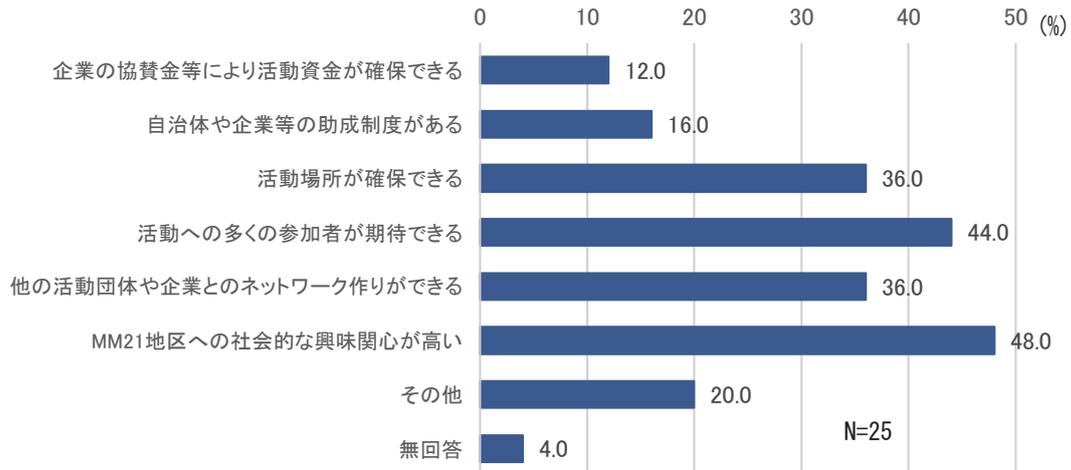


図 3-7 MM21地区で活動したい理由



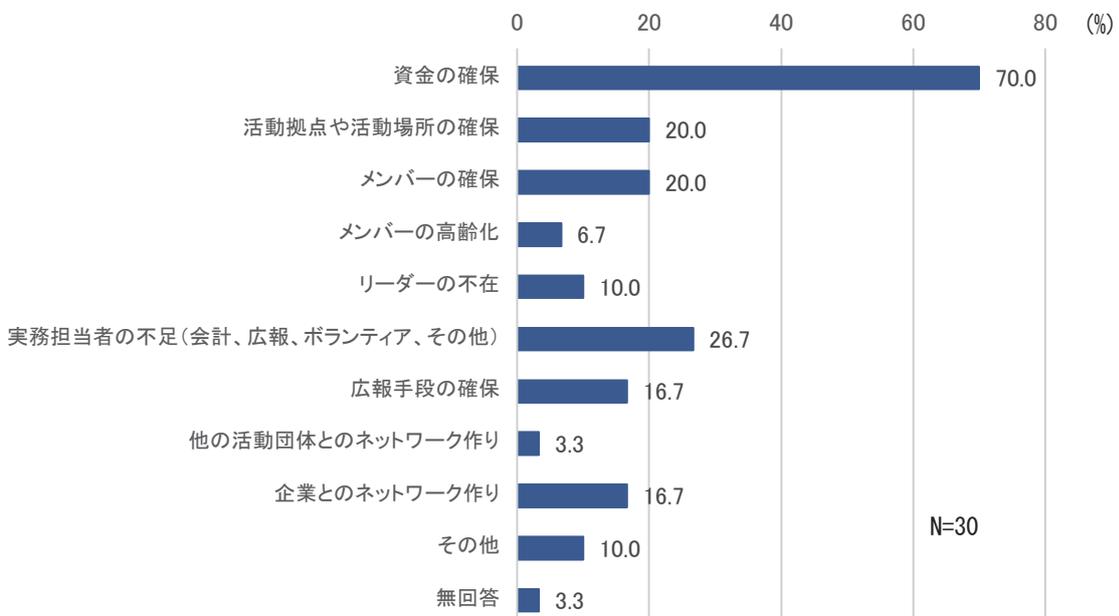
⑤ 活動を展開するために資金の確保や実務担当者の確保が課題

活動の課題として、30 団体中 21 団体が「資金の確保」を挙げている。次いで「実務担当者の不足」（8 団体）が挙げられている。活動団体の事務局機能の強化にあたるニーズである。

YMM というエリアマネジメント事業の推進団体があり、会員企業による社会貢献やプロボノ※などの期待もできるみなとみらい 2 1 地区では、活動団体支援の潜在力は高いと考えられる。

※プロボノ：仕事で培った専門的なスキル・経験等を活用して社会貢献するボランティア活動

図 3-8 団体の課題



(2) 集計結果

① 期待される活動項目は「イベント・にぎわい創出」

エリアマネジメントを行う上で、特に効果的と思われる活動項目として最も多いのが「イベント・にぎわい創出」(35 団体)で、これに次いで「芸術・文化(音楽、絵画、写真、ダンスなど)」(28 団体)、「防犯・防災」(23 団体)、「情報発信」(14 団体)「環境問題」・「国際交流」(ともに 12 団体)などとなっている。

② 提供できる可能性が高い資源は「活動場所」

エリアマネジメント活動や地域貢献活動に対して提供できる可能性の高い資源としては、「活動場所の提供」(23 団体)が最も多い。それに次いで、「自社の技術等を活用したサービスの提供」(11 団体)、「ボランティア人員の派遣」(10 団体)、「専門知識を持った者の派遣」(9 団体)、「自社の業務や活動に関する出前事業」(9 団体)など、人材の提供が挙げられている。

③ エリアマネジメント活動助成事業の認知度は高くない

エリアマネジメント活動助成事業を知っているかについては、55 団体中 18 団体が「いいえ」と回答した。会員企業であっても認知度が低いことがわかった。会員企業への広報が課題となる。

表 3-1 効果的と思われる活動項目

問4-1 当地区でエリアマネジメントを行っていくにあたり、特に効果的と思われる活動項目を選んでください。(上位3つまで)

		(回答数)	
1	防犯・防災	23	41.8%
2	健康・スポーツ	10	18.2%
3	芸術・文化(音楽、絵画、写真、ダンスなど)	28	50.9%
4	環境問題(海、緑化など)	12	21.8%
5	清掃、地域美化	8	14.5%
6	イベント・にぎわい創出	35	63.6%
7	ホスピタリティ向上(ボランティアガイド、バリアフリーなど)	8	14.5%
8	地域情報の発信	14	25.5%
9	福祉(高齢者、障害者、子ども)	2	3.6%
10	国際交流	12	21.8%
11	その他	0	0%
回答数		152	-
回答者数(N=55)		55	100%

*回答者数 N=55を母数として回答率を算出した

*YMM が実施する会員アンケートに、エリアマネジメント事業に関する項目を追加しているため、設問の番号が、問 4-1～4-3 になっている

*11「その他」の回答内容

- ・防災訓練は会社の教育訓練の一貫として活用させてもらっている。
- ・障害者に優しい街づくりを奨めて頂きたい(通勤通学・車いす利用等、駅の設備等)。
- ・海拔0m 地帯の防災は重要。綺麗な町であれば防犯に繋がる。美しい港町は世界で稀有。情報の発信が重要。
- ・防犯・防災・環境への取組は、特に域外の方には認知されづらい項目と思います。
- ・イベント情報とあわせこれらの情報を発信することが重要と思いました

表 3-2 提供できる可能性が高い資源

問4-2 エリアマネジメント活動や地域貢献活動に対して、貴社(団体)が提供できる可能性の高い資源があれば教えてください。

(回答数)

1	自社製品の提供	5	9.1%
2	自社の技術等を活用したサービスの提供	11	20.0%
3	自社の業務や活動に関する出前事業	9	16.4%
4	ボランティア人員の派遣	10	18.2%
5	専門知識を持った者の派遣	9	16.4%
6	活動場所の提供	23	41.8%
7	その他	3	5.5%
回答数		70	-
回答者数(N=55)		55	100%

*回答者数 N=55を母数として回答率を算出した

*YMM が実施する会員アンケートに、エリアマネジメント事業に関する項目を追加しているため、設問の番号が、問 4-1～4-3 になっている。

* 7「その他」の回答

- ・みなとみらい21地区に常駐しているわけではないので、資源提供が困難。
- ・地域冷暖房事業や弊社プラントの紹介など。その他、みなとみらい本町小学校と教育連携し、環境教育へ協力をしています。

表 3-3 エリアマネジメント活動助成事業の認知度

問4-3 エリアマネジメント活動助成事業を知っていましたか

(回答数)

1	はい	35	63.6%
2	いいえ	18	32.7%
	無回答	2	3.6%
回答者数(N=55)		55	100.0%

4. 助成団体および会員企業へのヒアリング

4-1 助成団体からの意見

(1) 団体からの意見のまとめ

平成30年度助成事業実績報告会（2019（令和元）年7月25日開催）の後半に、助成団体と選考委員、会場の参加者を交え意見交換を実施した。エリアマネジメント活動のヒントとなる意見が多数得られたので、ここにその一部を紹介する。

助成団体からの意見では、特に、次の5点について指摘があった。

1. 連携・つながり

地域（住民、子ども）、団体、企業とのつながりによって、活動が広がる。
実行委員会形式は連携の有効な手段となる。

2. 助成事業が連携の場

公開選考会や実績報告会に参加することにより、連携相手と出会うことができる。

3. 企業からの協賛

活動するためには資金確保が必要であり、企業からの協賛金は重要である。

4. 子どもや若い世代の参加

子どもや若者の意見は、大人では考えつかない発想や時代にあったツール・方法を気づかせてくれるきっかけとなり、活動の広がりが期待できる。そのために子どもや若者が参加しやすくなる工夫や配慮が必要となる。

5. 継続は力

継続によって活動が広く周知され定着することができる。活動に必要とされるヒト、モノ、カネ、情報は、継続することによってより多くを引き寄せることができ、それによってさらに活動が広がる循環がみられる。

(2) 団体からの個別の意見

①みなとみらいでポニーと遊ぼう！実行委員会 松本道雄氏（助成：H28・29・30年度）

活動資金については、助成終了後、企業協賛により継続できるようにしたが、日頃から接点のない企業には依頼はできない。高島中央公園でのイベントに参加してもらった企業や周辺の商業施設など、普段から関係をもっているところから協賛が得られている。[3]

他の提案団体との連携も助成事業の成果の一つ。選考会で他の団体の活動を知ることができ、高島中央公園でやったら面白いなと思って声をかけたり、マンションで開催した食事サロンでは、みなとみらいごはん部さんに協力をお願いしたりした。[1,2]

ポニーの運営を手伝ってくれた子どもから「誘ってくれてありがとう。また呼んでね」というお礼の手紙をもらった。子どもに役割を与えるのは大切なこと。ポニー体験に参加した子どもが運営を手伝うボランティアに育っていった。子どもが地域とつながる活動になったと思う。[1,4]

②みなとみらいごはん部 里見浩子氏（助成：H27・28・29年度）

みなとみらい21地区は、住民と就業者、来街者が一堂に集まる魅力的な街。これらの三層が一緒にご飯を食べ、会話する機会をつくりたいと始めたプロジェクト。

会場にはキッチン付き貸しスペースのBUKATSUDOを利用。1年目は在勤者が多く、2年目に在住者に来てもらえるよう、チラシを作成してマンションに配るなどの工夫をした。横浜市内の農家や

企業、飲食店などとコラボして、認知度を上げていったところ、来街者の割合も増加してきた。[1, 5]

ごはん部のプログラムはキッチンがなくてもIHが2台あれば可能。企業内の会議室でもデモンストレーションした料理を20分で食べ、残りの時間で交流できる。企業でもマンションでもコミュニケーションを図るツールとして「食」を活用してもらえたらいい。[1]

③みなとみらい大盆踊り実行委員会 南雲隆 氏（助成：H22・23年度）

2018年夏が11回目、2019年夏は12回目となる。当初はパシフィコ横浜が実施したが、第3回から実行委員会形式をとり、周辺企業、西区役所、YMMにメンバーに入ってもらった。企業・団体・住民の相互連携で地域を活性化し、来街者も交えてふれあいの場をつくるのが趣旨。[1]

2018年実績では、協賛が97団体、来場者も増加して2日間で24,000人にも上る。協賛については、みなとみらいに本社機能を持つ企業が増えていた時期でもあったので、進出企業にYMMとともに声掛けしたところ、地域貢献をやりたいと考えていたところから賛同が得られた。パシフィコ横浜でも施設運営の特性を活かして、協力会社に協賛を依頼した。[3]

みなとみらいを拠点とする企業としては、地域との交流、地域貢献は存続につながるという思いがある。住んでいる人、働いている人たちのこの街が好きだという思いがとても大切で、それがエリアマネジメントやみなとみらいの力になっていけばうれしい。[1]

広報の面からはFMヨコハマや神奈川新聞、横浜ウォーカー、フリーペーパーに取り上げてもらううちに認知度があがってきた。いろいろやっていくうちに徐々に浸透、賛同や協力が得られ、認知度も上がった。継続は重要、継続は力である。[5]

④NPO法人ミニシティ・プラス 岩室晶子 氏、橋本みなみ 氏、山本承太郎 氏（助成：H30年度）

ミニシティ・プラスの活動に「特命子ども地域アクター」というものがある。地域の困りごとをNPOが受けて、子どもたちと見合いをして、希望のところに助けに行くというプロジェクト。いつも面白い提案が出る。もちろん、できること、できないことはあるが、活かされることがあると面白いと思う。子どもの意見は時代に沿っていて参考になるので、それを活かしていきたいという活動である。[4]

三菱地所株を取材したとき、ランドマークタワーの展望台になかなか人が集まらないから、何かいいアイデアがないか、と求められた。そのとき、展望台にポケモンを置けば子どもがくるのではないか、恋愛スポットを置けばカップルがくるのではないかといろいろな意見が出た。子どもだから考える、子どもだからズバズバとはっきり言うことがある。大人だけでは出ないアイデアを持っているので、それで地域に貢献できたらすごい力になるのではないかと思う。[1,4]

⑤まちが人をそだてるプロジェクト実行委員会 磯野秀夫 氏（助成：H30年度）

桜木町駅前での道案内「どこいき隊」をやっている。当初、中学生～大学生に参加を呼びかけたが、学校を離れて久しいメンバーが学校行事のある時期にイベント日を立ててしまい、参加者が集まらなかった。今は学校のスケジュールを十分配慮して計画している。[4]

夏休みは小学生が何かやってみたいと思う時期でもあり、大学生もボランティアができる。ボランティア証明書が欲しいという動機であったとしても、結果、達成感が生まれ、1人でも面白かったと思うとくれたらうれしい。若者から、案内マップを「なぜ紙で作ろうとするのか、今はSNSですよ」と提案され目からうろこだった。若者に来てもらったなら発見があり、自己満足で作っていたことへの気づきがあった。[1,4]

4-2 会員企業へのヒアリング

(1) 実施概要

本事業の10年を総括するにあたり、企業へのアンケート調査を実施するとともに、本事業とかわりの深い会員企業にインタビューを行った。

- ・実施時期：2019年12月18日・19日
- ・調査対象：①みなとみらい21熱供給株式会社
②丸紅リアルエステートマネジメント株式会社
③三菱地所株式会社

(2) 調査結果

①みなとみらい21熱供給株式会社

ヒアリング対象	営業部長 阿久津 誠司 氏
本助成事業との関わり	公開選考会への参加が最も多い

ア 公開選考会の仕組みと選考の視点について

・提案のレベルアップ

最初の頃は、わざわざ助成を受けなくても事業として成り立っている提案もあり、何故これを見なとみらいでやるのかと疑問に感じるものもあった。審査では、本当にみなとみらいのためになるのか、実現性はあるのかなどを質問した。回を重ねることによって、事業性がよくなり、みなとみらいでの必然性も高まってきたように思う。公開選考会等でのプレゼンに対するの質疑応答や選考委員と提案者とのやり取りによって企画がブラッシュアップされていったと考えている。

・選考の視点

選考では、街のにぎわいをちゃんと創出できるかを考えた。まずは、やろうとしている企画がみなとみらいでやる必然性があり、かつ企画として楽しいかどうか、その上で、体制や財務的な面から本当に実現できるのかどうかを見ていた。

・会費を財源とする助成事業の特徴

公開選考会は、会員企業としては自分たちが出した会費がどのように使われるかを確認する機会でもあった。選考委員として参加することにより、会費の使い方が提案時に確認でき、実績報告会で活動報告を受けることができた。フィードバックができていた事業であったと思う。

イ 活動に望むこと

・MM21地区でのエリアマネジメント活動について

みなとみらい21地区でどのようなエリアマネジメント活動をすべきかといった議論が十分でないと感じている。そもそもみなとみらいをどのような街にしたいか、それをどう発信していくかが足りていないと思われてならない。

安心安全な快適な街を作るためにみなとみらい21熱供給(株) (以下DHC) はあり、大きなエリアマネジメントの機能の一つとして存在している。日本の他都市と比べて、みなとみらい21地区はここが優れているといった情報発信が十分でない。安心・安全・快適に企業活動ができることがこの地区に進出している企業が一番求めていることであると思う。このような基本的なことをアピ

ールし、その上で街のにぎわいを創出する活動があるのではないかと考えている。安心安全に加えて環境問題はこれからますます重要で、みなとみらいでの取組を打ち出してもよいのではないかと。

ウ 市民活動に提供できるもの

みなとみらいかもめ SCHOOL 等で就業者に向けてプラント見学の実施、みなとみらい本町小学校とは教育連携協定を締結し、見学の受け入れや報告会への講師派遣等を行っている。このような形での地域貢献が適当だと考えている。

エ 今後の展望

・街のあり方を勉強したうえでの提案

横浜市金沢区主催の「地域づくり大学校」では、志のある人が集まって学んで、そこで街づくりの方向付けがなされている。そのため、その後の活動がバラバラではないという印象を受けた。ただ単に助成事業を募集するのではなく、まずは街づくりの勉強会をしてはどうか。例えば、地域コミュニティの作り方等勉強会をやって、そこを卒業したメンバーが提案する街の活動に助成するといった流れがいいのではないかと感じる。個人でも企業でも構わないが、エリアマネジメントにつながるようなみなとみらいのあるべき姿を議論する勉強会があるといいと思う。

勉強会をすることによって、地域への愛情も深まる。街づくりにはやはり愛がないと。みなとみらいに関係のない人が自分の目的実現のために場所を借りるだけでなく、みなとみらいに愛がある人を集めたい。

②丸紅リアルエステートマネジメント株式会社

ヒアリング対象	施設管理第二部 横浜施設管理課長 鶴崎 重樹 氏
本助成事業との関わり	助成団体の活動場所として最も多くスペースを提供

ア エリアマネジメント活動場所の提供

・活動場所の提供についての考え方

場所を提供することによりにぎわいの創出やビルの集客につながるのであれば、積極的に提供していきたいと考えている。とはいえ、提供できる場所は公開空地がほとんどなので、その狭間で苦慮している。

公開空地の利用には横浜市の規制がある。エリアの活性化やにぎわい創出に寄与するために公開空地を使いたいと考えて事業を行っているにもかかわらず、横浜市との調整、申請がスムーズに進んでいかない。この点が改善できれば、地域の活性化やにぎわいの創出などエリア全体を盛り上げる活動が積極的にできるのではないかと感じている。

・会場の使用を許可する上でポイント

まず、にぎわいづくりや集客につながるイベントかどうか、安全面や騒音等が担保できているかどうかを確認する。内容については、主なターゲットである就業者及び周辺住民に喜んでもらえるか、テナントサービス等につながるかどうか、利用者が来てくれるかどうか。これらに該当すれば使用を許可する。

MMテラス*は大規模商業施設ではなく、もともと就業者や周辺住民のための飲食店舗や商業店舗等が存在するため、根底にはテナントサービス等があって、そのプラスアルファとして、来街者を呼び込む施策を常日頃考えている。ビルの価値を損なうものでなければ就業者のために何かをやってあげたいと思っている。

*MMテラス：丸紅リアルエステートマネジメント(株)が管理するみなとみらいグランドセントラルタワー低層部にある商業施設

イ 活動に望むこと

・活動団体への注文

安全面、安全への管理体制は厳しくチェックする。警備員の有無、通路幅の確保、避難動線の確保など。特にそのための人員がついているかどうか。たとえ、MMテラスの自主事業でなくても、施設内での事故は施設の価値を損ねることになるため、運営にあたっての安全面が担保されなければ、活動は許可することはできない。

ウ 市民活動に提供できるもの

・企業から提供できるもの

弊社は、建物を預かり、適正に維持管理運営していくのが業務である。ビルとしてできるのは場所の提供である。

エ 今後の展望

・活動を期待するエリア

MARK ISみなとみらいやクイーンズスクエア横浜からの人の流れがいちよう通りで分断されてしまっている。人の流れを呼び込むためには、MMテラスが単独でイベントを仕掛けるのではな

く、エリア全体での盛り上がりが必要である。グランモール公園がせっかくきれいに整備されているので、美術の広場だけでなく新高島寄りのエリアをうまく活用してもらって、盛り上げたい。

・新しい助成事業について

我々の施設では自主イベントでも助成事業の活動でも、多くの場合はぎりぎりの予算でやっている。そもそも公開空地では収益事業などの有料イベントはできない。少しでも資金援助があれば、何かやりたい団体が多くなるということはある。これまでも有料イベントができないことで実施をあきらめた団体もある。

イベントをやりたい人にもっと助成制度を周知し、手軽に使えることを広く知ってもらうことが必要なのではないか。周知することで、みなとみらいがより活性化するイベントが出てくるのではないか。

③三菱地所株式会社

ヒアリング対象	みなとみらい21開発ユニット 専任部長 ユニットリーダー 安本 武史 氏
本助成事業との関わり	みなとみらい21地区の主要な開発者であり、「みなとみらい21 さくらフェスタ」を始めた主体でもある

ア みなとみらい21 さくらフェスタの定着の秘訣と地区における効果について

・みなとみらい21 さくらフェスタ（以下、さくらフェスタ）について（助成:H22年度）

さくらフェスタは2019年度で10回目となる。2013年に戸部警察署との協議によってさくら通りを通行止めにしたことにより、西区の市民団体、地域の子ども、千代田化工建設の神輿などいろいろなコンテンツが加わり祭りらしくなった。それに加えて、2014年から綱引き、グルメストリートなどが独白イベントとして定着した。

今後のエリマネジメントの在り方として、公共空間活用の一つの事例となった。豊かな道路空間を使ったMM21地区らしいイベントだと思っている。

・定着の秘訣

綱引きや神輿は地域企業や住民の参加型イベントであるところが、新しいMM21地区の行事として定着した秘訣だと考えている。

さくらフェスタは、公民連携の仕組み、行政と地域企業・住民が手を携えて、実行委員会形式で行っていることが特徴的。サステイナブルの面から言えば、資金調達が重要であると考えていて、YMMや地元企業からの協賛が得られたことが非常に大きかった。

・地区における効果

もともとお祭りの目的には賑わいの創出や集客を掲げているが、その他に、お花見時期に桜の名所を回遊することによる新市街であるMM21地区と西区の旧市街地との一体化、就業者、行政、住民等の交流による一体化等が効果として挙げられると思っている。

また、MM21地区に神社はないが、お神輿、円形広場の演目、パレードなど市民参加型の企画で祭りを盛り上げてもらっている。

イ みなとみらい21地区の中でのエリアマネジメント活動に望むこと

・望ましい活動

MM21地区らしい活動。キーワードでいえば、「先進的」であり、公民連携の街なので「社会的意義」があり、「強い発信力」がある活動ができれば良いと思っている。

同地区の資源に注目すると、水辺や4分の1を占める緑地（公園や港湾緑地）、道路、公開空地、建物の中のアクティビティフロア^{*1}を積極的に活かした活動が必要である。

同地区の開発も9割を超し、これからは就業者や住民が起点となる活動がこの街をさらに進化させると思う。

引き続き横浜市とは連携して活動する。ここまでの公民連携は、他のエリアではみられない非常にユニークな点であるので、発信していきたい。

*1 アクティビティフロア：みなとみらい21中央地区では、街のにぎわいを演出するため、全ての建物の低層階には、人々が自由に利用できる店舗、ショールーム、サービス施設等を設置し、ヒューマンスケールな街並を形成している。

・助成事業における活動

助成事業における応募者のメリットは、「MM21地区で活動に取り組むことで広く発信されること」であり、その価値は「場の提供」にあったのではないかと。学生による提案などいろいろな提案があり、「MMという場所をもっと使ってよ」という趣旨には賛同する。

助成事業がYMM会費から拠出されているからには、地区の課題解決策を募集するのも一つの形である。しかしながら、各者課題は持っているものの、YMM全体として課題を共有できていないところもある。

・みなとみらいらしい活動が今後行われるためには、どうしたらよいか

横浜市も進めているが、規制緩和は重要である。「こういうことができるのか」というような先進的な事例を積み上げることは重要。例えば、赤レンガパークではいろいろなイベントが行われていて、全国的にも知名度が高く、ここでやりたいと考える人も多い。規制緩和による新しいイベントや実証実験等をMM21地区で繰り返し行うことで、それが周知され、先進的な街としてのブランディングに寄与するものと考えている。

ウ 市民活動に提供できるもの

横浜支店の人的資源の拠出には限界があるが、三菱地所では「大丸有」^{*2}など全国でエリアマネジメント活動を展開しているので、ノウハウの提供ができる。ノウハウをMM21地区でのエリアマネジメント活動に落とししていく点において協力が可能である。

*2 「大丸有」： 大手町、丸の内、有楽町

エ 今後の展望

・今後のエリアマネジメント活動の展望について

サステナブルな活動とするためには資金調達が重要である。今後は、トラストを適宜有効に活用していこうと思っている。

YMMのようなエリアマネジメント団体に関与することで、屋外広告物規制のようなものが緩和できれば、外部からのスポンサーを募ることもできる。そのようなことも、積極的に検討する時期に来ているのではないかと。

・以前の開発重視から、ユーザーにシフトする中での着眼点の変化

これまでのエリアマネジメントは、街づくり協議会や地権者が中心であった。これからは、テナント企業、就業者、住民、来街者など街を使う人たちにとっての付加価値とは何かをエリアマネジメントとして考えていくべきである。MM21地区に進出している企業は何かを期待してMMに出てきたのだから、その声を拾うことが重要だ。

オフィス、ホテル、商業、住宅、劇場、アミューズメント施設など、これだけ用途が多岐に渡るコンプレックスな街は国内をみてもあまり例がなく、まさに多様性の時代にあった街だと思う。

5. エリアマネジメント活動助成事業の成果と課題

これまでの助成事業の仕組みや活動実績の整理、アンケート調査やヒアリング調査から、10年間の活動助成事業の成果や評価として、次のようなことが挙げられる。

これまでの活動助成事業で得られた成果と課題は、制度が変わる今後も、引き継いでいくものと考えている。

5-1 助成事業の成果

(1) 助成事業を活用した多様なエリアマネジメント活動がみなとみらい21地区で展開し、街づくりに貢献した

各年の実績報告からは多様な活動が実施されたことがわかる。

- ・10年間で活動助成団体は延べ99団体にのぼった。
- ・活動内容としては、芸術文化、イベント・祭り、健康・スポーツなど、多様な活動が展開されている。活動のタイプでは、「体験参加」が半数以上あり、来街者に積極的にイベントなどに関わってもらおう体験型の活動が多い。
- ・活動の場所は屋外空間が多く、屋外のうちでも公園の利用が多い。
- ・活動主体別では実行委員会形式のものが3分の1あり最も多かったが、市民団体やNPO、企業など様々な主体で活動を行なっている。

活動助成団体アンケートによると、活動助成団体は必ずしもみなとみらい21地区と関連を持っていない団体でも、活動場所として同地区に魅力を感じていることがわかった。このことから、みなとみらい21地区が活動をしたいと思える求心性を持った地域であることが、本助成事業の実施を通じてわかった。

また、同アンケート調査では、団体とみなとみらい21地区との関係の理由としてメンバーが同地区の就業者であることを挙げている団体が多く、在勤者が働いている足元のまちでエリアマネジメント活動に参加する機会となった。

(2) 助成事業によりエリアマネジメント活動団体の交流や連携が実現した

活動団体へのアンケートや会員企業へのヒアリング、実績報告からの分析では、以下のようなことが事業の成果として挙げられる。

- ・公開選考会や実績報告会の仕組みで提案団体と企業のマッチングができ、企業の協力や団体同士の連携が実現した。
- ・団体同士の連携により、活動の継続や展開が図れた。
- ・連携の鍵になっているのは、活動場所（同じ場所で活動）やテーマ（共通のテーマで連携イベント）、メディア（取材する・される立場でのつながり）などである。

団体同士の連携については、高島中央公園を活動場所とする団体の多くが報告で高島中央公園愛護会を連携相手としてあげており、場所つながりの中でも注目される。みなとみらい21地区の中で、活動場所として多くの団体に選ばれている場所はいくつかあるが、場所の管理窓口そのもの

が活動団体である（「愛護会」）のは、ここだけである。場所に、管理者だけでなく「使い手」がいることが、活動の連携や活性化につながっていると考えられる。

□実績報告会 選考委員長のコメントから

他の活動とつなげて新しい活動の輪をつくる【H21 下期】

MM21の就業者や住民が活動グループを温かく見守っている。この街の関係者がこの街を作ろうとしている姿勢をこの助成制度が応援している印象を持った。

街づくりにおける助成金は、助成金を出して活動することが直接の目的ではあるが、間接的目的は、ここに暮らす人たちが、日常生活では知ることのできない分野の活動や考え方、問題点を知り、さらにいえば、知った上で連携して活動すること。活動が単独で終わらないで、他とつながることで活動の輪が広がる、新しい考え方が出てくるということが重要。

エッセンスをこうつなげたら街がこんなに面白くなる、これは事務局(YMM)の仕事であり、それをグループに戻すことができたら助成金の価値があると思う。

コラボの提案が多いことに期待【H23】

活動者のコメントなどでコラボの提案が多かったのが今後に期待すること。コストパフォーマンスを考えると、ばらばらに単独でやるよりは連携することで効果が二乗、三乗になる場合がある。

体験型イベントが増加し、コラボレーションの拡大が見られる【H24】

体験型のイベントやワークショップが少しずつ増えてきた。

ダイアログ・イン・ザ・ダーク(以下、DID)と身体ワークショップは今後何か MM を引っ張っていくアート、異次元、異空間、昼間働いている空間と違う空間での体験をそこにいけばできる点で面白い。継続は大変だが、DID が企業研修という形でやっているとは思わなかった。これだけの企業あるのだから、ここに現場を置いて、企業と一緒に、研修に利用してもらおう。MM にいるからには企業との連携があってもいいと思った。

交流の場を通じてコラボレーションがとて大きくなった。

(3) 助成事業はエリアマネジメント活動団体の力を高め、発揮させることに役立った

活動団体アンケートからは、助成事業を活用できたことや同事業の仕組みを評価する意見が多く、本事業が活動団体の力を高めていることがわかる。

- ・活動団体は、助成を受けたことにより、資金の確保だけでなく広報の支援や助成による活動の認知などが得られたと考えている。
- ・助成活動団体は、公開選考会の方法について、選考方法が透明で公平でよいと評価している。また、選考会等での質疑が活動の企画上で参考になるなど活動への効果を感じている。
- ・助成終了後も活動を続けている団体が多く、自立や活動振興のきっかけになっている。

団体同士の連携により、内容を引き継ぎ続けている活動(マメポニ)や、助成期間を終えてからも独自の資金調達をしてみなとみらい21での活動を続けている団体(高木学園など)もあり、助成期間だけでなく、その後の活動継続の力がついていると考えられる。

□実績報告会 選考委員長のコメントから

活動者の広がり(高校生の参加について)【H25】

今までネクタイを締めた人の街というイメージだったのが、大学生が参加してくれてよかったと思っていたら、今回は高校生が参加してくれた。先生の尽力もあるが、connectの高校生は個人でコミュニケーションとは何だろうから始めて、この助成を見つけて応募してくれた。今日はとても感動している。

活動の継続と発展(みなとみらいごはん部について)【H29】

1年目に提案された時は「何だこれ」と正直思ったが、その印象がだんだん変化していくのも楽しみにしているところもあり、何だこれと思いながらも、皆さんの意見を取り入れながら少しずつ変わってきた。

最初はMM地区の就業者を対象に昼休みの1時間に凝縮して実施した。すごい発想だと思ったが、助成が必要なのかと本当に思った。ところが、そこから住んでいるシニアを対象に、更に来てくれないなら、マンションまで迎えに行く。迎えに行きながら野草王子を連れて一緒に歩いてくる。今回はマルシェまでやる。要は、マルシェ付き、散歩付き、ご飯付き。この発展はきわめてユーザーの声や地域の状況を踏まえながら、最初の自分たちのミッションを失わない、とても洗練されていると思う。

今後どのように継続していけばいいのかと委員は悩んで、支援していきたいと考えている。いずれNPOごはん部、(株)ごはん部がありうるのかも知れないと、ちょっと楽しみにしている。

(4) みなとみらい21地区の恒例となるイベントを育てることができた

本事業を契機として、関係者を増やしながらか10年間続いている「みなとみらい21さくらフェスタ」のように、みなとみらい21地区の恒例となるイベントを育てることができた。

このほかにも、団体同士の連携により複数年度にわたりイベントを継続している団体や、3年の期限の活動助成を「卒業」して独自の資金を得ながらみなとみらい21での活動を継続する団体などがあり、これらが今後、地域に定着したイベントとなることも期待される。

5-2 助成事業の課題

(1) 空間の使い方に工夫が必要

会員企業ヒアリングでは、活動で使われる場所が限定されているという指摘もあった。

みなとみらい21地区は開発が進行中で、空地を暫定利用していたものが建設により使えなくなったり、新たな公園が整備されたりと、新たな公共空間が生まれる地区でもある。

地区の空間資源は、水辺や緑地(公園や港湾緑地)、道路、公開空地、建物の中のアクティビティフロアなど多様にあるので、これらを積極的にエリアマネジメント活動に生かせるよう、活動側の空間の使い方の工夫とともに、活動場所の提供や開発の段階に応じて活用できる場所の情報提供など、YMMとしても活動の環境を整える必要がある。

(2) 会員企業のエリアマネジメント活動への参画が促進されるよう、それぞれの資源の積極的な活用をはかれる仕組みが必要

会員企業アンケートによると、エリアマネジメント活動に対し会員企業が提供できる資源としては活動場所の提供が最も多く、それについて人材の提供が挙げられている。一方、活動助成団体アンケートからは、活動の課題として資金の確保について実務担当者の不足が挙げており、「人材」が企業と活動団体双方から挙げられている。会員企業の人的資源の活用が今後もエリアマネジメント活動促進のカギになると考えられる。

「さくらフェスタ」のように会員企業が中心メンバーとなって始まり、10年継続している活動もある。地元企業や地元住民の参加型イベントとしたことで定着し、公民連携の仕組みとして実行委員会形式でやっている。このような関係者の力を生かすノウハウを会員企業や活動団体等で共有することも、活動促進にとって重要である。

会員企業アンケートからは、エリアマネジメント活動助成事業を知らなかったという会員もあることがわかった。会員企業の担当者の異動や開発に伴う新規会員の加入などを考慮すると、会員企業への継続的な広報が課題と考えられる。

□実績報告会 選考委員長のコメントから

資金と活動の循環システムで街をつくる【H21 下期】

MM の街のイメージアップや地区に来場する人のニーズを最先端で捕らえる役割を担えるので YMM が連携すべき。

MM 地区は、関係者が資金を出して、グループが活動して、戻すという循環システムで街をつくる面白さを感じる、新しいシステムとしていいものだった。

(3) 会員企業の視点から、改めて、みなとみらい21地区の街の姿の議論が必要

企業ヒアリングによれば、公開選考会に参加した企業は、「街のにぎわいをちゃんと創出できるか」、「みなとみらいでやる必然性や企画としての楽しさ、実現性」などを評価の視点としていた。また、就業者の多いみなとみらい21地区では、エリアマネジメント活動に提供される空間は、就業者のための飲食店舗が集積した場所であることも多く、活動内容が就業者に喜んでもらえるか、テナントサービスに繋がるか、といったことが判断のポイントとなっていた。会員企業としての視点からエリアマネジメント活動が評価されていたことがわかる。

しかし、それとともに、エリアマネジメント活動助成の制度に対し、「この地区の課題を解決する活動を募るといのが本来であるはずだが、みなとみらい21地区内での活動を条件とするだけになっていたのではないか。地域を勉強して地域のあるべき姿を議論し地域への愛情を深めてから活動の提案を行うべき」という指摘も挙がっている。

「そもそもみなとみらい21地区でどのようなエリアマネジメント活動をすべきか、どのような街にしたいかという議論が十分できていない」という意見に対し、会員企業、特にみなとみらい21地区に期待して進出した企業の声を拾う議論の場を作ることも重要である。

□実績報告会 選考委員長のコメントから

企業や住民が都市空間としての MM21をどう活用するか【H22】

新たな都市を作る仕事は少なくなっていて、作られた建築空間、都市空間を人間がどう利用するか、どう活用していくかという時代になっている。MM21地区は創られた都市空間としては素晴らしい。その中でこんなふうに企業や住民によって使われていることを示すことは、日本の都市計画を考える上で最先端のことだと思うので是非お願いしたい。

公共空間を街の活性化にどのように利用するか【H23】

MM21の街づくりは、屋外の公共空間がきわめて充実しており、これほど充実しているところはほぼ国内にはない。ただ、公共空間は放っておいては街の活性化に寄与しない。公共空間を街の活性化のためにどのように利用するかがテーマである。

街の魅力になるパブリックスペースの活動【H29】

日本の都市で魅力調査をしているが、パブリックスペースにおけるデザインの質、そこでの市民的利用がどれだけ進んでいるかによって都市の魅力を決める。近代的な高層オフィスの有る無しではない。パブリックスペースの質、緑の量もそうだが、パブリックスペースがどれだけ市民に利用されるかによって都市の魅力に差がついている。

街としての魅力を作り出すことが活性化に重要【H23】

1年のうち270日、街のどこかで何かしらやっていることで街が活性化する。イベントを目的に来るお客だけでなく、来ることによって付随して、お店や飲食店に入ることを期待している。各店舗の魅力化には限界があるので、街としての魅力を作り出すことが活性化に重要。そのためにYMMがあり、そのために会員企業は会費を払っている。

清潔な街を目指す活動【H26】

クリーン&セイフティに加えて、どのようにお迎えするか、この街にきてもらって気持ちいい体験をしてもらうためにどのようなサービスをするか、日本的に考える工夫、MMらしい新しい方法を考えてもらいたい。複数の活動団体が一つの方向性を持っていて、清潔な街というMMが目指す方向を示唆していると思った。

5-3 助成事業の仕組み・運営についての課題

事業の仕組みや運営に関しては、次のような点が課題として挙げられた。エリアマネジメント活動の支援制度がトラストに変わり、YMMの事業としては終了したが、今後も新たな活動支援事業でのYMMの役割や立ち位置として、生かしていくべき視点である。

(1) エリアマネジメント活動の対外的なPRの工夫

エリアマネジメント活動推進のためには、同活動によってにぎわいの創出された街の紹介や活動を支援する事業の紹介などを、継続的に多様な手法で実施していくべきである。

また、活動推進のためには、PRと合わせて、収益事業等により、エリアマネジメント活動促進のための資金を作ることも考えられる。

□実績報告会 選考委員長のコメントから

継続的なPR活動【H22】

PRが足りない。スタートしたばかりの活動で助成が1回で終わったとしても、事務局はずっとPRし続けていく。行政が支援しているのはなく、企業からの会費でまかなっている点を深く受け止めるべきである。

毎月のイベントとあわせたカレンダーづくり【H23】

季節ごとのイベントが増え、季節ごとの風景が定着してきたのであれば、カレンダーを作ればいいのではないかと。毎月みなとみらいの風景を刷り込む。継続的なものしか入れられないが、月めくりのカレンダーをYMMで作るべきなのではないかと。

収入を得る仕組みの検討(絵葉書販売など)【H25】

本事業で活動した団体のこれぞ1枚を、事務局が絵葉書にして、来街者に売って、その収益をこのファンドの資金に提供するなど、活動を生かして街のイメージをアップして、収入を得る仕組みをそろそろ事務局が考えて欲しい。

収入を得る仕組みの検討(絵葉書販売など)【H26】

記憶に残る写真は写真集にちゃんと事務局が残さないと。絵葉書にして、販売して、収益を事務局の経費に回すなど。言葉で語るよりも、写真1枚が助成事業について多くを語ってくれる。

(2) 公開選考会や報告会のしくみへの評価と運営の工夫

会費を財源とする助成であったため、公開選考会に会員企業が参加することで会費の使い道が明確になることはよかったという意見がある一方、選考会から報告会までかなりの時間を拘束されるため、参加する会員の負担も大きくなっていったと考えられる。会員が参加することのよさを残しつつ、運営の工夫をすることが必要である。

(3) 活動環境の整備に向けた支援

活動団体の提案の中には、空間づくりについての提案もあった。街の活性化にとって有効な提案であっても活動団体だけでは実現は難しい。YMMとして検討していくべきものであり、調整役としての機能が求められている。

□実績報告会 選考委員長のコメントから

空間づくりへの提言①(歩行者天国)【H22】

さくらフェスタ実行委員会から出た歩行者天国を作ろうという提案。これはみんなで受けとめるべき。MMの都市空間を使う上で絶対必要だとなれば、更なる検討を事務局が積極的にさくらフェスタ実行委員会とともにやって欲しい。MM地区は、関係者が資金を出して、グループが活動して、戻すという循環システムで街をつくる面白さを感じる、新しいシステムとしていいものだった。

空間づくりへの提言②(車いす活動)【H22】

車いすの活動に関して、前回の提案にはビルの管理者からとてもいい提案だと言われた。せっかく報告書ができたのであるから、事務局が貴重な調査をどう生かしていくか。話合いの場を作ることから始めることが極めて重要。

6. みなとみらい21地区のエリアマネジメント活動の将来に向けて

10年間の活動助成事業の成果や課題、評価をふまえ、今後のみなとみらい21地区においてエリアマネジメント活動については、次のことを念頭に推進して行きたい。

ア 街の将来像やエリアマネジメントの意義・目標について関係者で共通認識を持つ

会員企業、YMM、行政、活動団体等、エリアマネジメントに関わる各者が、街に期待することや将来像を話し合ったり、街の成り立ちや現況を勉強するなど、地域の課題や目標像、さらにそれを実現するためのエリアマネジメント活動のあり方を繰り返し議論し、共通認識を醸成していく。

そのためには、様々な議論や勉強のテーブルを設けることに加え、今回、助成事業の実績をまとめるためにプロット作業をしたように、これまでのエリアマネジメント活動の実績やみなとみらい21地区の資源の可視化を継続に行うことが、成長するみなとみらい21の動きを理解し、共通認識を持つことに役立つと考えられる。

イ 会員企業のより積極的な参画を促す環境をつくる

これまでの助成制度で実践されてきた会員企業の事業への参画の機会や、活動団体との交流を促進する仕組みは、新たな制度「公益信託みなとみらい21まちづくりトラスト」に変わっても伝えていく。また、会員企業への事業、活動のPRは、より強化し、継続的に行っていく。

今回は助成事業の総括であるため、会員企業のエリアマネジメント活動の調査は十分ではなかったが、今後は、企業が主体となった活動や市民活動への協力内容やその成果を調査し、みなとみらい21地区内外に公表していくこと（公表できる環境を作ることも、企業の参加を促す環境づくりとして重要であろう）。

ウ 新たなエリアマネジメント活動を育てる

新たなトラスト制度により、助成対象となる活動の種類や助成の幅（助成限度額）が大きく広がった。これにより、従来の実業では提案されなかったテーマや活動方法が上がってくるのが期待される。

一方、街づくりの進行する地区では、企業や大学などの立地も進みつつあり、会員企業の業態が多様となり、ひいてはエリアマネジメント事業に提供される資源の広がりが期待される。

これら新たな提案と新たな資源による活動を、トラストによる助成制度で育てていく。

エ 街づくり段階から広場・公園などの公共空間が整備された街、みなとみらい21の公共空間を使いこなす

みなとみらい21地区の公共空間を確保する制度として、横浜市市街地環境設計制度、みなとみらい21まちづくり基本協定、みなとみらい21中央地区都市景観形成ガイドライン、横浜市特定街区運用基準等々ある。これらを使って整備された多くの公共空間やこれを利活用する仕組みが用意されているが、今回活動実績を分析した結果では、活動場所には偏りがあり、みなとみらい21全域が活用されていないことがわかった。イベントがやりやすい広場、空間的な要因でにぎわいが広がらないエリア、使いたいが使用ルールの壁があるなど、エリアマネジメント活動の視点からの既成の空間の検証を継続して行い、企業と団体のマッチングや使い方の提案、資源活用の支援、規制緩和への要望などをYMMがすることで、公共空間を使いこなしていく。

また、みなとみらい21の特性として、完成された街ではないことが挙げられる。活動助成団体の活動場所の中には、暫定利用施設を活用したものもあった。街づくりの過程から、街を使ってにぎわいを生み出していくこともできる。

オ 活動の支え手として、YMMは、引き続き周知活動や活動団体の支援・調整をする

トラストによる新制度がエリアマネジメント活動のさらなる成果を生み出すには、活用してもらうことがはじめの一步である。制度の周知・広報は、提案を求めること、会員企業の協力を促すこと、活動成果を社会に示すことなど様々な点で重要である。また、これまでと同様、提案団体への広報の支援や関係当事者の調整も重要である。

YMMは、周知活動や活動団体の支援・調整を引き続き行い、活動を支えていく。

カ 活動団体が連携・交流できる機会をつくる

活動を継続している団体はもとより、現在活動していない団体も含め、みなとみらい21に関心を持つ活動団体に対しては、この街の活力を高め、にぎわいが一層増すよう積極的な活動を今後も展開されることを期待したい。

エリアマネジメントに関わる各者が意義や目標を共通に持つことを「ア」で述べた。活動団体もその一員である。活動団体にとって、みなとみらい21地区での活動は自分たちの表現や思いの実現の場ではあるが、それにとどまらず、街の将来像やエリアマネジメントの意義を関係者とともに考えながら、みなとみらい21地区の空間資源を使いこなしてほしい。

そのためには、YMMは、会員企業、他の団体、さらに街づくり等の専門家と連携・交流できる機会を整備するとともに、活動団体に対して、連携・交流の機会を積極的に活用することを促す。

また、地区外の活動団体には、来街者の視点を持って、活動を通して、会員企業や行政では気がつかないみなとみらい21地区の新たな魅力を見つけ、発信してほしい。

資料編

- (1) エリアマネジメント活動助成事業関連資料 - 70
- (2) 公益信託みなとみらい21まちづくりトラスト概要 - 78
- (3) 活動団体へのアンケート調査結果 - 79
- (4) 活動状況プロット図 - 99
 - 図1 みなとみらい21地区内の活動場所
 - 図2 年度別活動場所の分布と活動名
 - 図3 活動の種類(目的・内容)別分布
 - 図4 活動のタイプ別活動の分布
 - 図5 活動場所の空間種別分布
 - 図6 活動の主体別活動の分布
- (5) 助成対象活動の概要 - 105
- (6) 選考委員一覧 - 107

(1) エリアマネジメント活動助成事業関連資料

①実施要綱

みなとみらい21エリアマネジメント活動助成事業実施要綱

制 定 平成21年9月2日

改 正 平成29年11月1日

(趣旨)

第1条 この要綱は、一般社団法人横浜みなとみらい21（以下「YMM」という）が、みなとみらい21地区における良好な環境や地域の価値を維持・向上させるための取り組み（以下「エリアマネジメント」という）に資する活動を公募し、選考委員会による選考を経て採択された提案に対して活動資金を提供（以下「助成」という）する、「みなとみらい21エリアマネジメント活動助成事業（以下「本事業」という）」の実施に関し、必要な事項を定める。

(対象とする活動)

第2条 本事業の助成の対象は、みなとみらい21地区におけるエリアマネジメントに資する活動とし、また、みなとみらい21地区（中央地区、新港地区、横浜駅東口地区）内の活動とする。

(提案資格)

第3条 本事業への提案資格は、継続して活動している、または継続して活動しようとしている3人以上のグループ（以下「提案グループ」という）とする。

2 前項にかかわらず、次の各号に掲げる者は、提案資格が無いものとし、かつ助成の対象としない。

- (1) 暴力団（暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成3年法律第77号。以下「法」という。）第2条第2号に規定する暴力団をいう。）
- (2) 暴力団員（法第2条第6号に規定する暴力団員をいう。以下この項において同じ。）
- (3) 法人にあつては、代表者又は役員のうち暴力団員に該当する者があるもの
- (4) その他の団体にあつては、代表者が暴力団員に該当するもの

(助成の内容)

第4条 本事業には、助成金額の上限を1件当たり5万円とするコース（以下「みなとコース」という）及び1件当たり50万円とするコース（以下「みらいコース」という）を設ける。みなとコースでは、経費全額を助成し、みらいコースでは、経費合計の5分の4以内の額を助成する。

2 助成する回数は、みなとコースでは各提案グループにつき1回のみとし、また、みらいコースでは各提案グループの類似の活動につき3回までとする。

(対象経費)

第5条 助成の対象となる経費（以下「対象経費」という）は、助成を受けて行う活動（以下「助成活動」という）によって直接発生する経費とする。ただし、選考委員会が認める場合はこの限りでない。

2 対象経費のうち、アルバイト人件費及び助成グループメンバーの交通費の合計費用については、助成額の2分の1以下とする。

（提案）

第6条 提案グループは、指定する日までに、みなとみらい21エリアマネジメント活動助成金交付申請書（第1号様式）、提案書（第2号様式）、収支予算書（第3号様式）（以下「提出書類」という）をYMMに提出しなければならない。

（選考委員会）

第7条 本事業には、選考委員会を設置し、選考委員会により助成を行う提案グループを選考する。

2 選考委員会は、委員6人以内をもって組織し、委員の互選により委員長1名を置く。

（委員の任期）

第8条 委員の任期は2年とする。ただし、再任を妨げない。

2 委員が欠けた場合における補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

（選考委員会の審議）

第9条 選考委員会は、委員の3分の2の出席をもって成立する。

2 選考委員会は、みなとコースの提案グループについて、その提出書類により助成の可否及び助成する金額を決定し、みらいコースの提案グループについて、その提出書類及び公開による選考委員会（以下「公開選考委員会」という）にて助成の可否及び助成する金額を決定する。

3 選考委員会は、提案グループの取組意欲、その活動の適格性、地域性、独創性、実現性、費用対効果、継続性を基準に審査を行う。

4 委員長は、公開選考委員会の全部または一部の非公開を決定することができる。また、委員長が認める場合には、YMMの会員企業が公開選考委員会の審議に参加することができる。

5 選考委員会は、助成を決定するに際し、提案グループの活動に条件を付すことができる。

（助成金交付決定の通知）

第10条 YMMは、助成が決定した提案グループ（以下「助成グループ」という）に対し速やかにみなとみらい21エリアマネジメント活動助成金交付決定通知書（第4号様式）を

交付する。

- 2 YMMは、必要に応じ申請者又は前項の決定を受けたものが、第3条第2項各号のいずれかに該当するか否かを神奈川県警察本部長に対して確認を行うことができる。

(活動の実施および報告)

第11条 助成グループは、善良な管理者の注意を持って助成活動を行い、助成金を他の用途に使用してはならない。

- 2 助成グループは、事情の変更等により助成活動の遂行が困難になった場合など、活動の実施に問題が生じた場合は、速やかにYMMに報告しなければならない。
- 3 助成グループは、助成活動が終了後、速やかに、助成活動の成果を記載したみなとみらい21エリアマネジメント活動助成金対象活動実績報告書(第5号様式)、助成金に係る収支計算に関する事項を記載した収支決算書(第6号様式)及び領収書等経費の支出を証する書類又はその写し(以下「領収書等」という)、活動の中で作成した印刷物等(以下「報告書類」という)をYMMに提出しなければならない。

(助成金の交付および清算)

第12条 YMMは、報告書類に瑕疵がないと認められるときは、その報告書類に基づき、助成すべき最終的な金額(以下「確定助成額」という)を確定し、みなとみらい21エリアマネジメント活動助成金額確定通知書(第7号様式)を当該助成グループに通知する。

- 2 助成グループによるみなとみらい21エリアマネジメント活動助成金交付請求書(第8号様式)の提出を受けた後、速やかに確定助成額の全額を交付する。
- 3 第1項及び前項にかかわらず、助成グループは、活動期間中に交付金額の一部を一回に限り、領収書を添付したみなとみらい21エリアマネジメント活動助成金交付部分請求書(第9号様式)により請求することができる。
- 4 前項により、活動の途中で助成金の一部を交付した助成グループに対しては、確定助成額から既に交付した金額を差し引いた額を交付する。

(助成の取消し)

第13条 助成活動者が次のいずれかに該当するときは、助成金の交付の決定の全部又は一部を取り消すことができる。

- (1) 第3条第2項に該当すると判明したとき。
 - (2) 偽りその他不正の手段により助成金の交付を受けたとき。
 - (3) 助成金を他の用途へ使用をしたとき。
 - (4) 助成金の交付の決定の内容又はこれに付した条件に違反したとき。
 - (5) 法令違反等、その他YMMが助成の取り消すべきと判断する事実が判明したとき。
- 2 前項の規定は、助成金の交付後においても適用があるものとする。
 - 3 第1項の規定による取消しをした場合は、YMMは当該助成グループに対し、速やか

にその旨を通知し、当該助成グループは、助成活動の当該取消しに係る部分に関し、既に助成金が交付されているときは、YMMにこれを返還しなければならない。

(その他)

第14条 本要綱に取り決めのない事項は、YMM及び選考委員会の協議により取り決める。

附則

この要綱は、平成21年9月9日から施行する。

附則

この要綱は、平成27年3月1日から施行する。

附則

この要綱は、平成28年12月1日から施行する。

附則

この要綱は、平成29年11月1日から施行する。

②提案書式

・申請書

第1号様式（第6条）【非公開】

みなとみらい21エリアマネジメント活動助成金交付申請書

平成 年 月 日

(申請先)

一般社団法人横浜みなとみらい21理事長

申請者

グループ名 (25字以内)	フリガナ
所在地	〒
代表者 職・氏名 (署名又は押印)	フリガナ ㊟

みなとみらい21エリアマネジメント活動助成事業実施要綱第6条に基づき、関係書類を添えて次のとおり申請します。

1 助成金を受けて行う活動について

交付を受けようとするコース及び助成金の額 ※申請するコースに☑を入れてください。	<input type="checkbox"/> みなとコース [上限5万円]	<input type="checkbox"/> みらいコース [上限50万円]
	¥ . -	
助成金を受けて行う活動の予定期間 ※準備等の活動期間も含め記入してください。	平成 年 月 日 ~ 平成 年 月 日	
添付書類 ※添付資料（A4版2ページまで）についても、記入してください。	1 提案書（第2号様式） 2 収支予算書（第3号様式） 3 4	

2 グループについて

グループ結成年月 ※NPOや任意団体以外は記入しなくて結構です。	年 月	
グループのメンバー構成 ※NPOや任意団体以外は記入しなくて結構です。	[メンバー数] 人 [年代構成] 20歳未満 人、20歳代 人、30歳代 人、 40歳代 人、50歳代 人、60歳以上 人	
グループのメンバー		
氏 名	グループ内の役割	他に所属している

・提案書（みらいコース）

みなとみらい21エリアマネジメント活動助成事業
第2号様式 その1（第6条）【公開】

【みらいコース】

提 案 書

提案名 (25字以内)	
グループ名 (25字以内)	

【1】提案グループの現在の主な地域社会貢献活動の内容及び最近5年以内の実績、またグループの紹介を記入してください。

--

ホームページ

【2】助成を受けて行う活動の年間計画を記入してください。

月	内 容
4月	
5月	
6月	
7月	
8月	
9月	
10月	
11月	
12月	
1月	
2月	
3月	

【3】助成を受けて行う活動の内容について、次の項目に沿って記入してください。

- (1) 活動の内容 (2) 活動の主催者及び参加者 (3) 活動を実現するための方法 (4) 時期 (5) 場所
(6) 当地区で活動を行う理由 (7) エリアマネジメントの効果（活動を行うことによる当地区への効果）
(8) その他、特徴やアピールする点

・提案書（みらいコース）

みなとみらい21 エリアマネジメント活動助成事業
第2号様式 その2（第6条）【公開】

【みなとコース】

提 案 書

提案名 (25字以内)	
グループ名 (25字以内)	

【1】提案グループの現在の主な地域社会貢献活動の内容及び最近5年以内の実績、またグループの紹介を記入してください。

ホームページ

【2】助成を受けて行う活動の内容について、次の項目に沿って記入してください。

(1) 活動の内容 (2) 活動の主催者及び参加者 (3) 活動を実現するための方法 (4) 時期 (5) 場所 (6) 当地区で活動を行う理由 (7) エリアマネジメントの効果 (8) その他、特徴やアピールする点

・ 予算収支書

みなとみらい21エリアマネジメント活動助成事業

第3号様式 (第6条)

収 支 予 算 書

グループ名 _____

1 収入 (自己資金や他の助成金などを記入してください。)

項 目	金 額	説 明 (負担者及び負担方法等)
助成金 (A)		
合 計 (B)		(B) ≥ (C)

2 支出 (助成金対象経費分)

項 目	数量 (単位)	単 価	金 額	説 明
合 計 (C)				【みなとコース】 (C) ≥ (A) 【みらいコース】 (C) × 4/5 ≥ (A)

(2) 公益信託みなとみらい21まちづくりトラスト概要

1 助成の目的

みなとみらい21地区の振興と活性化を図り、生き活きと活動できる国際色あふれる街の創造に寄与すること

2 助成対象者

みなとみらい21地区において、みなとみらい21地区の振興と活性化のため、以下の活動を行う団体または法人。

3 助成の対象とする活動

- ① 地区全体の防災に資する活動
・ 防災対策 ・ 広報啓発 ・ 一時帰宅困難者対策 など
- ② 良好な都市環境の維持保全創造に資する活動
・ 緑化・植栽保全業 ・ 公共空間グレードアップ ・ 環境対策 など
- ③ 賑わいと国際色溢れるまちづくりに資する活動
・ 賑わいづくり ・ 観光対策 ・ 地域交流 など
- ④ その他、地区の振興に資する活動
・ 実施効果が地区全体に及ぶもの など

4 助成の対象とする活動期間

2020年4月1日から2021年3月31日まで

5 助成の対象となる実施エリア

みなとみらい21地区（中央地区、新港地区、横浜駅東口地区）

6 助成の内容

コース名	助成限度	助成回数	助成予定団体数
Aコース	50万円	3回まで	5～6
Bコース	100万円	原則として3回まで	1～2
Cコース	活動費の90%	原則として3回まで	若干数

7 運営委員会による審査基準

- ① 活動の公益性
- ② 活動の必要性
- ③ 活動の波及効果
- ④ 費用の妥当性
- ⑤ 活動の先進性
- ⑥ 活動の実現性

*2020年度公益信託みなとみらい21まちづくりトラスト募集要項から抜粋

(3) 活動助成団体へのアンケート調査

①実施概要(再掲)

●実施対象及び方法

ア 対象:59 団体 (回答 30 団体)

イ 主な方法:調査票郵送

ウ 調査内容:

- 助成事業の評価
- 現在の活動状況
- 今後に必要な支援

エ 実施期間:令和元年5月 20 日～令和元年6月 20 日

助成回数別回収状況

助成3回 9団体 30.0%

助成2回 5団体 16.7%

助成1回 16 団体 53.3%

●調査のポイント

- ① 助成事業はエリアマネジメント活動の振興に効果があるか。
- ② エリアマネジメント助成事業の評価(自立の促進、活動認知への貢献、等)。
- ③ みなとみらい 21 地区を選んだ理由(MM21 地区は活動しやすい場所か)。
- ④ エリアマネジメント活動に必要な支援は何か。
- ⑤ YMM の役割は何か。

●アンケート項目

ア 団体の属性

- Q 名称、活動内容、メンバー数、設立年、構成(性別、年代)、
みなとみらいとの関わり(就業者、住民)

イ 助成活動の内容と動機 (③調査のポイントの番号 以下同じ)

- Q 助成を受けて行ったのはどのような活動か。
Q なぜ助成事業に応募したか。

ウ 助成事業への評価 ①

- Q 助成金が活動に役立ったか。
Q どのような点で役に立ったか。
(資金確保、活動認知、ネットワーク形成等)

エ 現在の活動状況について

- Q 現在活動をしているか(している、していない)

オ 継続しているグループの成果、課題 ①②③

- Q (している)現在の活動はどのようなものか。
Q (している)どのように発展したか。(法人化、企業との連携、他)
Q (している)活動場所はみなとみらい 21 地区か。
Q (している・MM21 地区外)MM21 地区で活動していない理由は何か。

カ 活動を中止したグループ ④
 Q (していない)休止の原因は何か。
 Q どんな支援があれば継続が可能だったと思うか。

キ 活動に必要な支援 ④⑤
 Q どんな支援があればいいと感じるか。

ク MM21 地区での活動の意向 ③
 Q 今後みなとみらい 21 地区で活動したいと思うか。
 Q (思う)なぜそう思うか。
 Q (思わない)なぜそう思うか。

②調査結果

Q1 貴団体についてお聞きします。

Q1-1 名称をお書きください。

Q1-2 貴団体の主な活動をお書きください。

Q1-3 団体メンバー数をお書きください。

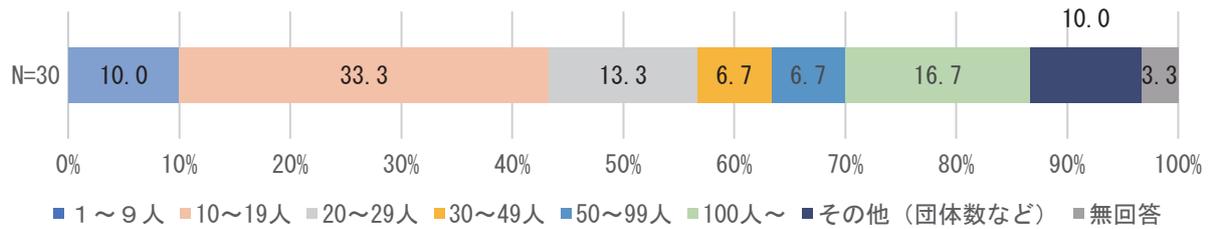
「10～19人」の回答が最も多く3分の1を占めているが、「団体メンバー」のとらえ方が回答団体により異なったようで、回答のばらつきが大きい。

集計表1 団体の規模別団体数

	回答数	%
1～9人	3	10.0
10～19人	10	33.3
20～29人	4	13.3
30～49人	2	6.7
50～99人	2	6.7
100人～	5	16.7
その他(団体数など)	3	10.0
無回答	1	3.3
計(N)	30	100.0

*「その他」3件の内容(回答の記述のとおり)
 ・10*、会員123、参加生徒160
 ・5団体
 ・理事13名、サポーター企業約70名

図1 団体の規模(メンバー数)別団体数の割合



(N=回答数 以下各グラフとも同じ)

Q1-4 団体メンバー構成について該当する番号に○をつけ、()内に具体的な数字をお書きください。

1 メンバー(個人)数

集計表2 団体の規模別団体数 個人(全体)

	回答数	%
1～9人	3	10.0
10～49人	11	36.7
50～99人	3	10.0
100人～	4	13.3
無回答	9	30.0
計(N)	30	100.0

集計表3 団体の規模別団体数 個人(男)

	回答数	%
1～9人	10	33.3
10～49人	5	16.7
50～99人	4	13.3
100人～	1	3.3
無回答	10	33.3
計(N)	30	100.0

集計表4 団体の規模別団体数 個人(女)

	回答数	%
1～9人	12	40.0
10～49人	7	23.3
50～99人	1	3.3
100人～	2	6.7
無回答	8	26.7
計(N)	30	100.0

2 企業・団体数

回答30団体のうち、13団体が回答し、その約半数が「1～4社」と回答。

集計表5 メンバーの企業・団体数別団体数

	回答数	%
1～4社	6	46.2
5～9社	1	7.7
10～50社	4	30.8
50社～	1	7.7
その他	1	7.7
回答数(N)	13	100.0

*「その他」の内容 5～6社 10名前後

3 その他

2件(寺院5、郵便局13、西区)

Q1-5 団体メンバーの年代について、おわかりになる範囲でかまいませんのでお書きください。

団体メンバーの年代は、累計数では 30 歳代が 620 人で最も多く、20 歳代の 570 人がそれに次いでおり、若い世代が主力になっている。回答団体当たりの平均人数で見ると、20～30 代の若い世代に次いで、70 歳以上も多くなっている。

集計表 6 団体メンバーの年代別団体数とメンバー数

	回答数	累計数	平均(人)	最小値(人)	最大値(人)
20歳未満	8	107	13.4	1	43
20歳代	13	570	43.8	1	496
30歳代	15	620	41.3	1	384
40歳代	17	350	20.6	1	252
50歳代	18	255	14.2	1	168
60歳代	14	163	11.6	1	93
70歳以上	15	172	34.4	2	135

Q1-6 活動の中心となるメンバーとみなとみらい21地区とのかかわりについて、該当する番号に○をつけてください。

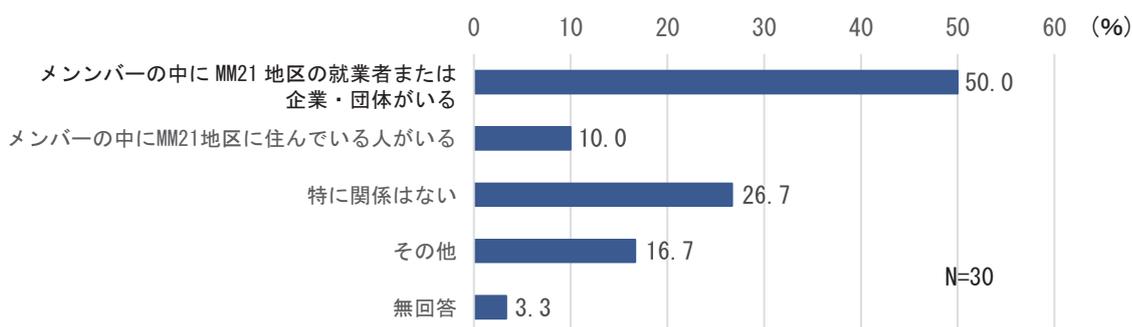
半数の 15 団体が「メンバーの中に MM21 地区の就業者または企業・団体がいる」と回答。「住んでいる人がいる」(3 団体)は少なく、就業者や企業・団体が中心になっている。また、助成は MM 地区内での活動を対象にしているので、「特に関係ない」も 8 団体あった。

集計表 7 メンバーの中に MM21 地区の就業者や企業・団体、居住者がいる団体数

	回答数	%
メンバーの中にMM21地区の就業者または企業・団体がいる	15	50.0
メンバーの中にMM21地区に住んでいる人がいる	3	10.0
特に関係はない	8	26.7
その他	5	16.7
無回答	1	3.3
回答数	32	-
計(N)	30	100.0

*[その他]の内容
 ・以前、MM21 地区に事務所があった。
 ・活動場所の一つが MM21
 ・活動の中心がみなとみらい21地区
 ・横浜を愛する市民
 ・全員が地域住居を有する
 ・活動場所が MM21 地区

図 2 メンバーの中に MM21 地区の就業者や企業・団体、居住者がいる団体の割合



Q1-7 これまでに受けた助成について該当する番号に○をつけてください。みらいコースの場合は、回数もお書きください。

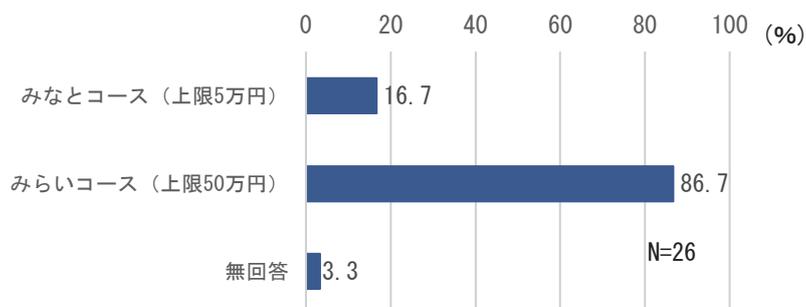
回答団体のうち、26 団体が上限 50 万円の「みらいコース」の助成を受けている。(両コースの助成を受けた団体もあるため、回答数は団体数を超過している)

「みらいコース」は3回まで助成を受けられるが、最も多いのが「1回」、ついで「3回」であった。

集計表 8 コース別助成を受けた団体数

	回答数	%
みなとコース(上限5万円)	5	16.7
みらいコース(上限50万円)	26	86.7
無回答	1	3.3
回答数	32	-
計(N)	30	100.0

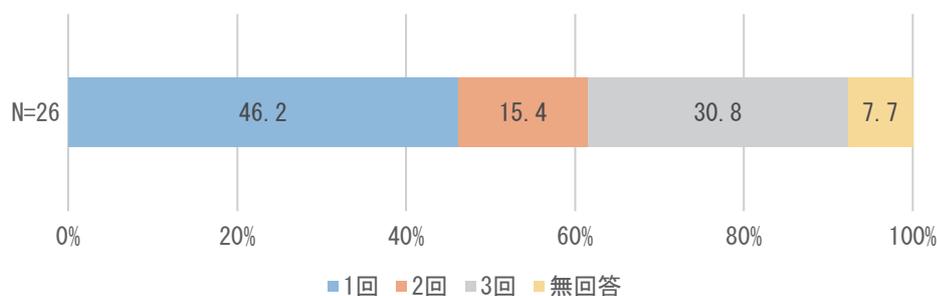
図 3 コース別助成を受けた団体の割合



集計表 9 助成を受けた回数別団体数 <みらいコース>

	回答数	%
1回	12	46.2
2回	4	15.4
3回	8	30.8
無回答	2	7.7
計(N)	26	86.7

図 4 助成を受けた回数別団体の割合 <みらいコース>



Q2 助成を受けて行った活動についてお聞きします。該当する番号を1つ選び、○をつけてください。

助成を受けて行なった活動は、「イベント・賑わい創出」が最も多く、半数を占めている。

集計表 10 助成を受けて行った活動の目的・内容別団体数

	回答数	%
防犯・防災	1	3.3
健康・スポーツ	1	3.3
芸術・文化(音楽、絵画、写真、ダンスなど)	4	13.3
環境問題(海、緑化など)	2	6.7
清掃、地域美化	2	6.7
イベント・にぎわい創出	15	50.0
ホスピタリティ向上(ボランティアガイド、バリアフリーなど)	1	3.3
地域情報の発信	2	6.7
福祉(高齢者、障害者、子ども)	4	13.3
国際交流	2	6.7
その他	3	10.0
無回答	0	0.0
回答数	37	-
計(N)	30	100.0

*その他の内容
 ・青少年に対するボランティア活動経験
 ・道案内
 ・がん患者支援活動の基金・寄付金集め

*2つ以上○をつけている団体6含む

Q3 本助成事業に応募したきっかけ・理由は何ですか。該当する番号に○をつけてください。(複数回答上位2つまで)

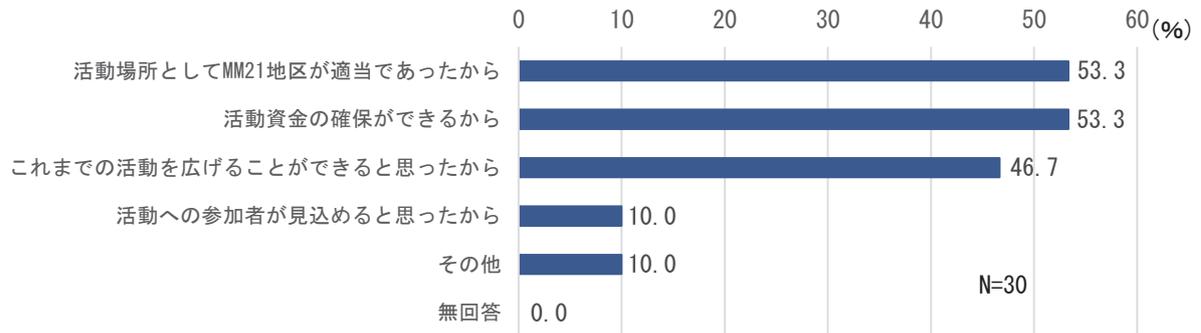
応募の理由は、「活動場所としてMM21地区が適当であったから」と「活動資金の確保ができるから」がともに16件の回答があった。ついで、「これまでの活動を広げることができると思ったから」が14件。

集計表 11 応募したきっかけ・理由別団体数

	回答数	%
活動場所としてMM21地区が適当であったから	16	53.3
活動資金の確保ができるから	16	53.3
これまでの活動を広げることができると思ったから	14	46.7
活動への参加者が見込めると思ったから	3	10.0
その他	3	10.0
無回答	0	0.0
計(N)	30	100.0

*その他の内容
 ・当時のメンバーのすすめから
 ・専務理事から声かけいただいた
 ・活動をスタートする際、資金がなかったため

図5 応募したきっかけ・理由別団体の割合



Q4 貴団体の活動に、本助成事業は役に立ちましたか。該当する番号に○をつけてください。

30 団体中 28 団体が「はい」と回答、助成事業が各団体の活動に役立っている。

集計表 12 助成事業の評価別団体数

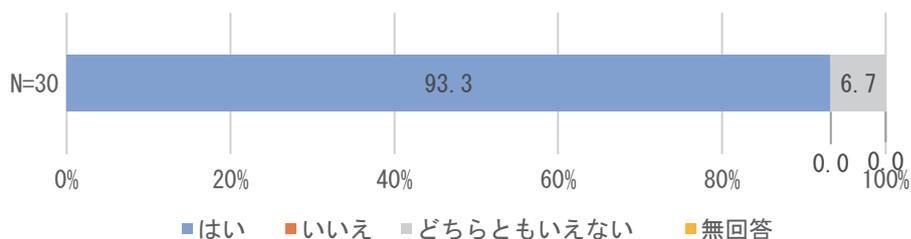
	回答数	%
はい	28	93.3
いいえ	0	0.0
どちらともいえない	2	6.7
無回答	0	0.0
計(N)	30	100.0

→Q4-1 にお進みください。

→Q4-2 にお進みください。

→Q5にお進みください。

図6 助成事業の評価別団体数の割合



Q4-1 はいと答えた方にお聞きします。どのような点で役に立ちましたか。該当する番号に○をつけてください。(複数回答 上位3つまで)

活動に役立ったこととしては、8割以上が「活動資金を確保できた」と回答している。

一方、「事務局に告知・広報してもらった」(42.9%)や「助成を受けることで認知してもらえた」(39.7%)など、資金面ではない効果も期待されている。

集計表 13 助成事業の評価別団体数(複数回答)

	回答数	%
活動資金を確保できた	23	82.1
活動場所を確保できた	3	10.7
団体のメンバーが増えた	3	10.7
活動にメンバー以外の多くの人が参加してくれた	8	28.6
選考会や報告会を通して、他の団体の情報を得ることができた	6	21.4
他の活動団体との連携ができるようになった	6	21.4
地区内の企業と連携がとれるようになった	5	17.9
事務局(YMM)に告知・広報に協力してもらった	12	42.9
助成を受けることで活動を認知してもらえた	10	35.7
その他	1	3.6
無回答	0	0.0
回答数	77	-
計(N)	28	100.0

*「他の活動団体連携先」の内容

- ・路上芸術祭委員会、みなとみらいごはん部
- ・サイクルピクニック実行委員会
- ・ハマ☆スカ、アイラブヨコハマ、サンタプロジェクト
- ・さくらリビング(横浜コース)
- ・高島中央公園愛護会(2件)

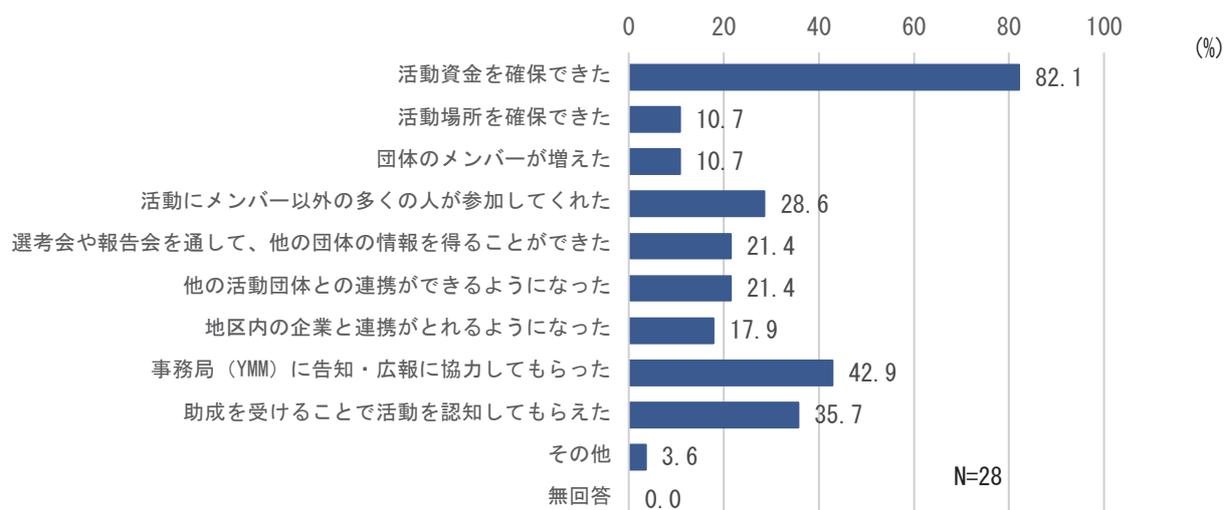
*「地区内の企業連携先」の内容

- ・富士通エフサス
- ・アサヒペット
- ・三菱地所リテールマネジメント

*その他の内容

- ・備品、ごみ袋、軍手代

図7 助成事業の評価別団体数の回答率(複数回答)



Q4-2 いいえと答えた方にお聞きます。どのような点が不足している(いた)と感じましたか。該当する番号に○をつけてください。(複数回答 上位3つまで)

Q4で、「いいえ」と回答した団体はなかった。

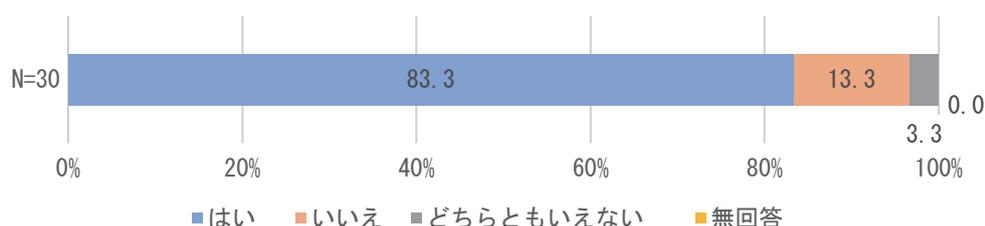
Q5 貴団体は今も継続して活動していますか。該当の番号に○をつけてください。

30 団体中 25 団体が継続して活動している。

集計表 14 現在の活動状況(活動を継続しているか)別活動数

	回答数	%
はい	25	83.3
いいえ	4	13.3
無回答	1	3.3
計(N)	30	100.0

図 8 現在の活動状況(活動を継続しているか)別活動の割合



Q5-1 はいと答えた方にお聞きします。

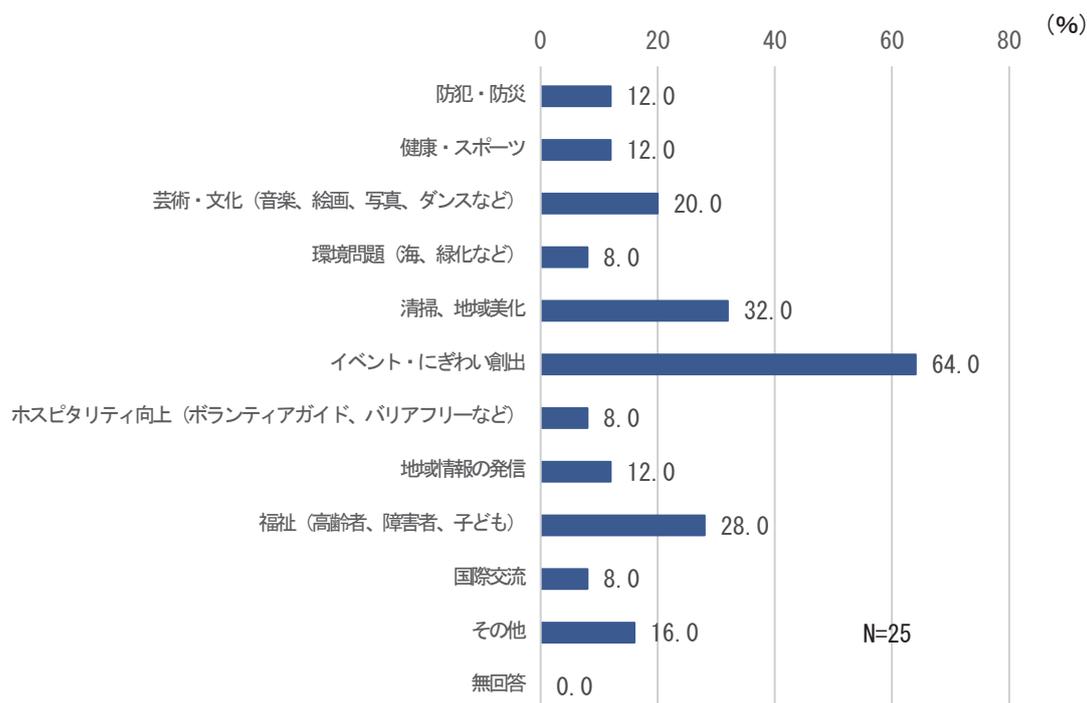
Q5-1-1 現在の活動は主にどのような活動ですか。該当する番号に○をつけてください。(複数回答可)

Q2の助成を受けた活動内容と同じく、「イベント・にぎわい創出」が最も多くなっている。これについて、「清掃・地域美化」「福祉」が多くなっている。

集計表 15 現在の活動内容別団体数(複数回答)

	回答数	%
防犯・防災	3	12.0
健康・スポーツ	3	12.0
芸術・文化(音楽、絵画、写真、ダンスなど)	5	20.0
環境問題(海、緑化など)	2	8.0
清掃、地域美化	8	32.0
イベント・にぎわい創出	16	64.0
ホスピタリティ向上(ボランティアガイド、バリアフリーなど)	2	8.0
地域情報の発信	3	12.0
福祉(高齢者、障害者、子ども)	7	28.0
国際交流	2	8.0
その他	4	16.0
無回答	0	0.0
回答数	55	-
計(N)	25	100.0

図 9 現在の活動内容別団体数の回答率



Q5-1-2 現在の活動のための資金の確保はどのようにしていますか。該当する番号に○をつけてください。1を選ぶ場合は、その内訳に該当するものに○をつけてください。

「自己資金+助成金+協賛金」が9団体で最も多く、複数の収入源を持っていることがわかる。

集計表 16 現在の活動のための資金の構成別団体数

	回答数	%
自己資金のみ	6	23.1
自己資金+自治体・企業等の助成金	4	15.4
自己資金+企業等の協賛金	5	19.2
自己資金+助成金+協賛金	9	34.6
その他	3	11.5
無回答	0	0.0
回答数	27	-
計(N)	26	100.0

*「1 自己資金のみ」(6件)の内容
 ・会費(1件)
 ・会費、参加費、寄付(1件)
 ・各自負担(1件)
 ・内容記載なし(3件)

*Q5で「いいえ」と回答している団体の回答を含む

Q5-1-3 現在の活動について、以前と比べてどのように変化したか、該当するものに○をつけてください。(複数回答 上位3つまで)

「活動への参加者が増加した」「活動地域が拡大した」「活動資金が増加した」などプラスの評価が上位になっている。

集計表 17 活動の変化の内容別団体数(複数回答)

	回答数	%
活動地域が拡大した	11	40.7
活動への参加者が増加した	14	51.9
活動資金が増加した	8	29.6
活動地域が縮小した	0	0.0
活動への参加者が減少した	2	7.4
活動資金が減少した	2	7.4
特に変化はない	2	7.4
その他	2	7.4
無回答	0	0.0
回答数	41	-
計(N)	27	100.0

*Q5で「いいえ」と回答している団体の回答を含む

Q5-1-4 現在の活動は、主にどこで行っていますか。該当する番号に○をつけてください。

現在の活動場所は、「MM21地区」の回答が多くなっている。

集計表 18 現在の主な活動場所別団体数

	回答数	%
MM21地区	20	74.1
MM21地区以外	7	25.9
無回答	2	7.4
回答数	29	-
計(N)	27	100.0

*重複回答2件

*Q5で「いいえ」と回答している団体の回答を含む

*「MM21地区以外」(7件)の内容

- ・今年(2019年)は町田市と広島市
- ・都筑区を中心に神奈川県全域
- ・初黄・日ノ出町エリア
- ・横浜駅周辺、MM21地区、他市内
- ・kocha33、ライフデザインラボ
- ・横浜・横須賀
- ・南区

Q5-1-5 MM21地区で活動していると答えた方にお聞きします。MM21地区で活動している理由は何ですか。該当する番号に○をつけてください。(複数回答 上位3つまで)

MM21で活動を継続している理由として、「活動場所があるから」、「メンバーがMM21とかかわりがあるから」、「観光客等、人が多く集まるから」などの回答が上位になっており、いずれもMM21の資源が、活動場所として選ばれる理由になっている。

集計表 19 MM21地区で活動を継続している理由別団体数(複数回答)

	回答数	%
観光客等、人が多く集まるから	8	34.8
活動場所があるから	13	56.5
交通手段など便利だから	2	8.7
資金確保がしやすいから	0	0.0
他の活動団体と連携しやすいから	3	13.0
企業と連携しやすいから	4	17.4
メンバーがMM21地区とかかわりがあるから (住民、就業者、団体・企業、その他)	11	47.8
その他	2	8.7
無回答	0	0.0
回答数	43	-
計(N)	23	100.0

*Q5-1-4で「MM21地区以外」と回答している団体の回答を含む

*「活動場所があるから」(13件)の内容

- ・市民活動支援センター
- ・みなとみらい本町小学校
- ・高島中央公園
- ・パシフィコ横浜円形広場
- ・臨港パーク
- ・高島水際線公園、象の鼻パーク
- ※記載なし(7件)

*[メンバーがMM21地区とかかわりがあるから]の内容

- ・住民 2
- ・就業者 2
- ・団体・企業 3
- ・その他(行政) 1
- ※記載なし(3件)

*「その他」の内容

- ・他団体との関係
- ・地域連携・地域貢献活動としての取り組み

Q5-2-1 活動を断念または休止した理由は何ですか。該当する番号に○をつけてください。(複数回答 上位3つまで)

一方、活動を休止した団体は、最も多いのが「活動資金を確保できなかった」(3団体)であった。

集計表 20 活動を断念または休止した理由別団体数(複数回答)

	回答数	%
活動資金を確保できなかった	3	60.0
活動場所を確保できなかった	1	20.0
グループメンバーの確保ができなかった	1	20.0
活動への参加者が少なくなった	0	0.0
他の団体との連携ができなかった	1	20.0
地区内の企業と連携がとれなかった	1	20.0
活動の告知・広報の手段がなかった	0	0.0
その他	3	60.0
無回答	1	20.0
回答数	11	-
計(N)	5	100.0

*Q5で「はい」と回答している団体の回答を含む

*その他の内容

- ・高校生の団体として立ち上げたため、卒業して活動をやめてしまいました。
- ・元々の活動拠点に戻りたかった(横浜駅)
- ・別エリアでの活動に人員が取られて手がまわらない

6 貴団体において、現在何が課題だと考えていますか。該当する番号に○をつけてください。(複数回答 上位3つまで)

活動の課題として、「資金の確保」を30団体中21団体が上げている。つぎに「実務担当者の不足」(8団体)が上がっている。活動団体の事務局機能にあたるニーズであり、エリアマネジメントの事務局があり、企業による社会貢献やプロボノなどの期待もできるMM21では、今後の支援の可能性があるのではないか。

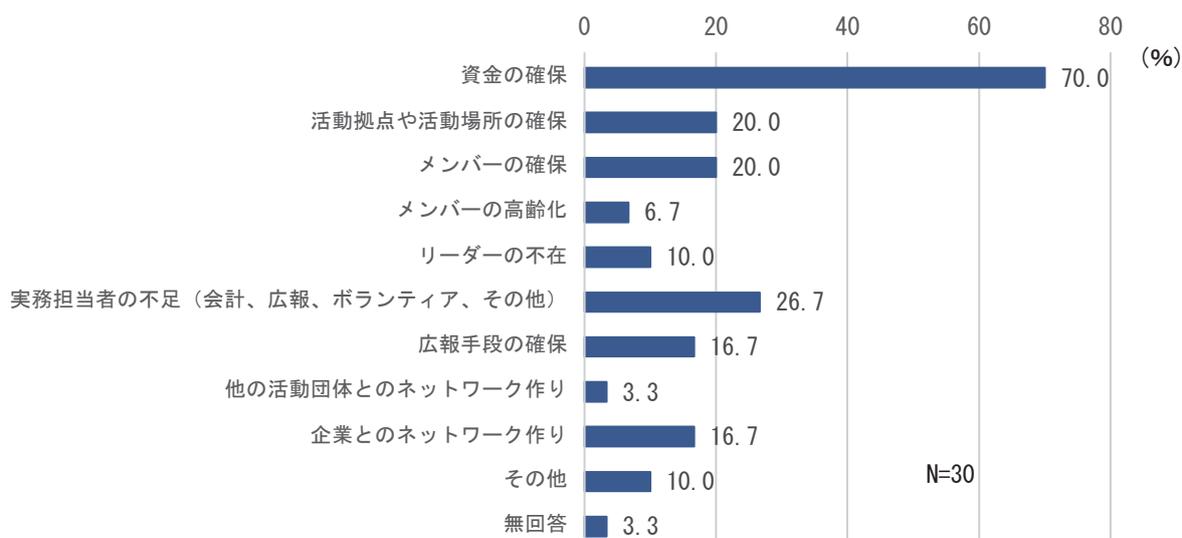
集計表 21 現在の課題別団体数(複数回答)

	回答数	%
資金の確保	21	70.0
活動拠点や活動場所の確保	6	20.0
メンバーの確保	6	20.0
メンバーの高齢化	2	6.7
リーダーの不在	3	10.0
実務担当者の不足(会計、広報、ボランティア、その他)	8	26.7
広報手段の確保	5	16.7
他の活動団体とのネットワーク作り	1	3.3
企業とのネットワーク作り	5	16.7
その他	3	10.0
無回答	1	3.3
回答数	61	-
計(N)	30	100.0

*その他の内容

- ・本体とサポーターとのコミュニケーション不足
- ・スケジュール調整、皆立場が変化した

図 10 現在の課題別団体数の回答率

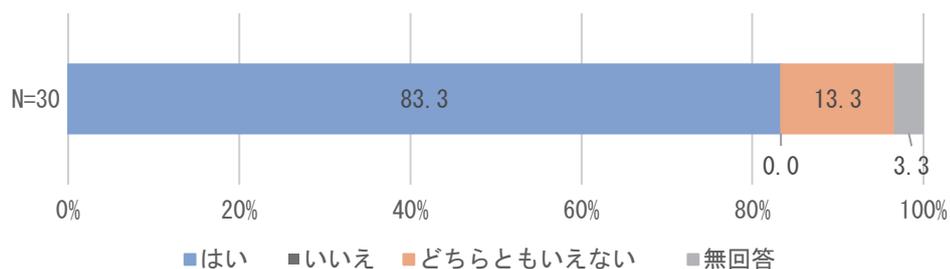


Q7 貴団体では、今後 MM21地区で活動したいと思いますか。該当する番号に○をつけてください。
 今後の活動について、30 団体中 25 団体が MM21地区で活動したいと回答している。

集計表 22 今後 MM21地区で活動する希望別団体数

	回答数	%
はい	25	83.3
いいえ	0	0.0
どちらともいえない	4	13.3
無回答	1	3.3
計(N)	30	100.0

図 11 今後 MM21地区で活動する希望別団体数



Q7-1 はいと答えた方にお聞きします。なぜそう思いますか。該当する番号に○をつけてください。(複数回答可)

MM21地区で活動したい理由としては、「MM21地区への社会的な興味関心が高い」(12 団体)、「活動への多くの参加者が期待できる」(11 団体)など MM21地区の注目度や集客などが期待されている。

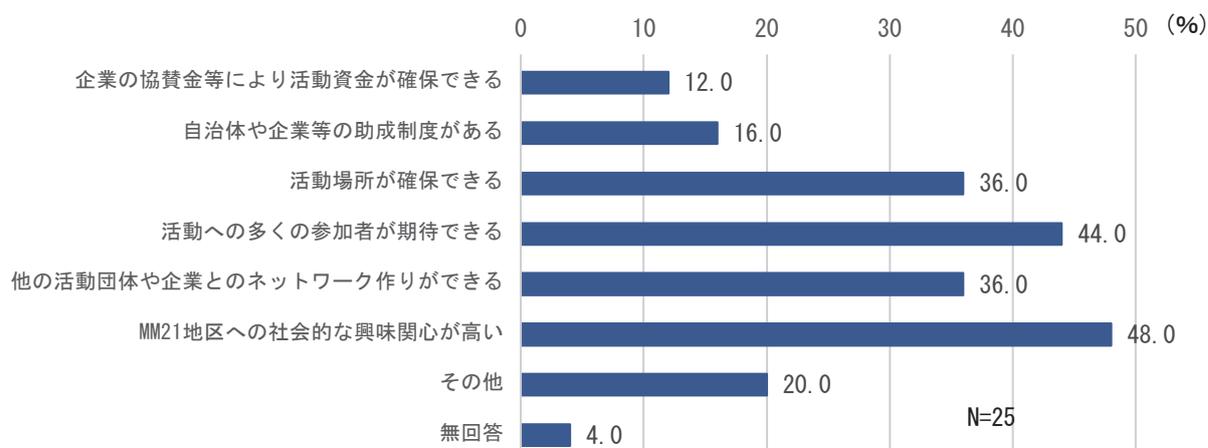
集計表 23 MM21地区で活動したい理由別団体数(複数回答)

	回答数	%
企業の協賛金等により活動資金が確保できる	3	12.0
自治体や企業等の助成制度がある	4	16.0
活動場所が確保できる	9	36.0
活動への多くの参加者が期待できる	11	44.0
他の活動団体や企業とのネットワーク作りができる	9	36.0
MM21地区への社会的な興味関心が高い	12	48.0
その他	5	20.0
無回答	1	4.0
回答数	54	-
計(N)	25	100.0

*その他の内容

- ・助成金を受けたときの理由の1つとして、横浜から発信したい
- ・継続することが何よりも大切だと思うから
- ・地元住民のお祭りであるため
- ・地域連携・地域貢献活動としての取り組み
- ・市民が海に触れることができる場が多いから

図 12 MM21地区で活動したい理由別団体数の回答率



Q7-2 いいえと答えた方にお聞きます。

なぜそう思いますか。該当する番号に○をつけてください。(複数回答可)

Q7で「いいえ」の回答はなかった。

Q8 本助成事業では公開選考会を実施しました。公開の場で助成の可否が決定することについてどのように感じますか。該当する番号に○をつけてください。(複数回答可)

公開選考会については「選考の過程が透明で、公平だと感じた」を 30 団体中 23 団体が回答。「公開で行わない方がよい」と回答した団体はなく、公開選考会に対する否定的な意見はなかった。

「自分たちの提案した内容に不足している点があった」や「質疑で出された意見が活動を企画する上で参考になった」など、その後の活動への効果を感じている。

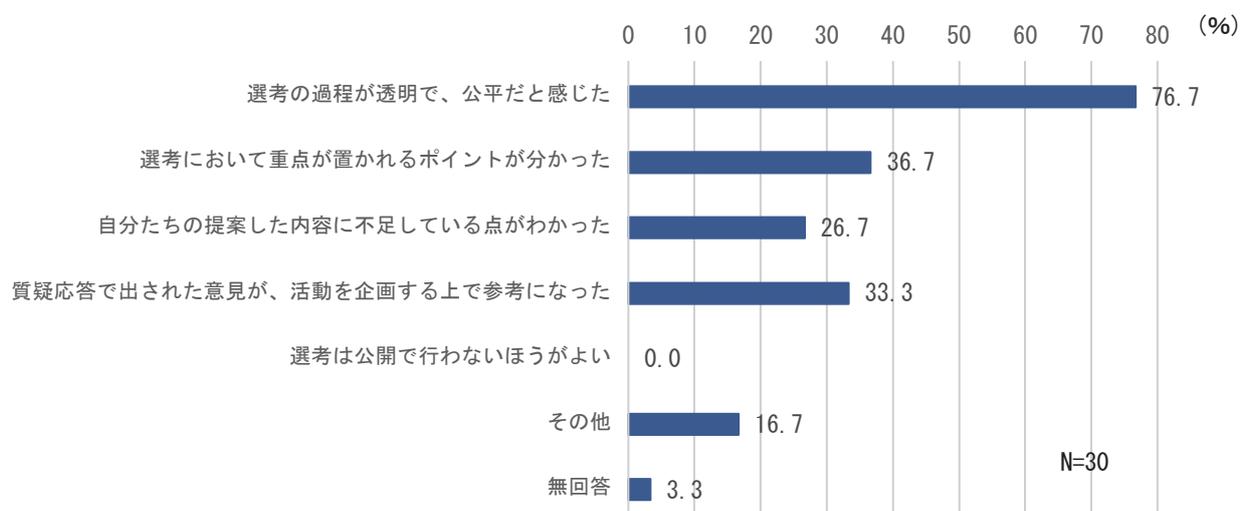
集計表 24 公開選考会に対する評価別団体回答数(複数回答)

	回答数	%
選考の過程が透明で、公平だと感じた	23	76.7
選考において重点が置かれるポイントが分かった	11	36.7
自分たちの提案した内容に不足している点がわかった	8	26.7
質疑応答で出された意見が、活動を企画する上で参考になった	10	33.3
選考は公開で行わないほうがよい	0	0.0
その他	5	16.7
無回答	1	3.3
回答数	58	-
計(N)	30	100.0

*その他の内容

- ・他の提案グループと連携するきっかけになった
- ・企画が通るところ、通らないところは、私から見ても判断しやすく、プレゼンテーションの場は透明性があって良いと感じました。(地域のためになっているか、自分よがりの企画になっていないか、など)
- ・もっと多くの方が関わった方がよい
- ・選考員に海洋環境や教育、レジャーの指揮者がいると良いと思います。

図 13 公開選考会に対する評価別団体回答の回答率



Q9 本助成事業など活動を支援する仕組みについてご意見やご感想を自由にお書きください。

30 団体中 16 団体から回答があった。

主な意見としては、選考会でのアドバイスや活動のサポートがあったこと、選考や報告など一連の行程で他の団体の活動がわかったり連携の機会ができたこと、などがある。また、企業とのマッチングを期待する意見もあった。

一方、選考日程については、平日のみでは参加しにくい、という意見があった。

1	2016年の助成があったから今の活動が継続して出来ていると思います。またみなとみらいで企画を行いたいと思います！ありがとうございました！
2	これからも機会があればよろしくお願いします。
3	3回の助成ありがとうございました。私達の団体のように、活動資金が少ない、また、実際にみなとみらいでの活動時も収入のある活動ではない団体にとっては、この助成金は本当にありがたかったです。また、この期間の間に、今後の活動の資金を含め、活動しながら、先のことを考える時間があつたことも大きかったです。選考会での厳しいアドバイスも役立てることができました。
4	続けて活動していくことに価値があるような活動には例えば2分の1助成などでも補助があると途絶えずにできる。
5	その節は大変お世話になりました。おかげさまで活動を充実させることができました。また、2度目の申請の折は、公開審査の日に辞退を申し入れることとなり、本当にご迷惑をおかけしました。その後、個々のサポーターの意見に耳をかたむけ、互いにより深く活動に取り組むことができました。今後もまたご縁がありましたらよろしくお願い致します。
6	私が貴殿に助成をしていただいたのは高校生の頃でした。右も左も分からない未熟な私を全力でサポートしてくださり、活動実績もなかった私の団体に助成までしていただけた事は、あの頃の私に地震や活動のエネルギー、社会貢献の意欲をもたらしてくれました。今はもうconnectでの活動はしていませんが、この時の経験を糧にして、今後も様々な活動に取り組めたらと思います。本当にありがとうございました！！皆様の、新しい事業がより多くの方々の活動の支えになることを心より願っております。
7	活動に関心がある企業、団体とのマッチングをしていただけると助かります。引き続きよろしく申し上げます。
8	支援いただき、大変助かりました、感謝しています。今後、例えばお金に限らず、モノやネットワーク、場所など活動とMM21の持っている資源をつなぐ支援もあつたら面白いなと思いました。
9	NPOの組織強化を支援する仕組みを希望します。伴走型のサポート等。その節はお世話になりました！感謝しています！
10	選考会でのプレゼン時間ももっとあつたらと思います。5分はさすがに厳しいです・・・せめて15分位いただけたら・・・
11	<ul style="list-style-type: none"> ・MM21関係者だけでなく、市民も多く公開選考に参加。 ・土日祝での活動をする者もいるため、平日のみでは参加・申し込みできなくなってしまった。日曜日などでの実施が必要と思う。平日活動できる(参加できる)方・団体しか申請ができない。
12	ご配慮頂き有難うございました。おかげ様で資金面でも円滑に運営できました。今後どうぞよろしくお願ひいたします。
13	「まちが人をそだてるプロジェクト」はまだまだ進行中です。貴助成事業で基礎を作り上げたかったのですが、残念です。公開選考会でのご意見をもとに今後も活動していく予定です。ご支援ありがとうございました。
14	貴助成事業を受けることによって、当団体の方向性や意義を再確認することができました。さらに他団体との交流も積極的に行うようになりました。公開選考会での指摘事項がとても参考になったからです。
15	公開選考会は、他の団体の活動ぶりを知ることができ、自分の活動を、明確な言葉で表現することができて、とても良かったと感じている。なれないプレゼンは重荷であり、緊張感が強かったが、良い機会だったと感じています。本部スタッフさんたちも対応が早く、とても良い感じで対応してくださった。ありがとうございました。
16	助成事業として活動資金を受けることにより、真剣に活動に取り組むことになり、隊員等のモチベーションも向上、また地域住民等の協力を受けることができました。

クロス集計

Q1-6(みなとみらい21地区とのかかわり)×Q5(団体の継続)

		Q5			
		計	はい	いいえ	無回答
Q1-6	全体 (※Q1-6複数回答含む)	30	25	4	1
	メンバーの中にMM21地区の就業者または企業・団体がいる	15	13	2	0
	メンバーの中にMM21地区に住んでいる人がいる	3	3	0	0
	特に関係はない	8	6	1	1
	その他	5	4	1	0
	無回答	1	1	0	0

Q1-7(助成回数)×Q4-1(助成が活動に役立った点)

		Q4-1											
		計	活動資金を確保できた	活動場所を確保できた	団体のメンバーが増えた	活動にメンバー以外の多くの人に参加してくれた	選考会や報告会を通して、他の団体の情報を得ることができた	他の活動団体との連携ができるようになった	地区内の企業と連携がとれるようになった	事務局(YMM)に告知・広報に協力してもらった	助成を受けることで活動を認知してもらえた	その他	無回答
Q1-7	全体	28	23	3	3	8	6	6	5	12	10	1	0
	うち、「助成1回」	12	11	2	2	3	3	4	2	3	3	1	1
	うち、「助成2回」	4	1	0	0	1	1	1	0	4	3	0	0
	うち、「助成3回」	8	6	1	1	4	2	1	2	3	3	0	0

Q1-7(助成回数)×Q8(公開選考会の意義)

		Q8							
		計	選考の過程が透明で、公平だと感じた	選考において重点が置かれるポイントが分かった	自分たちの提案した内容に不足している点があった	質疑応答で出された意見が、活動を企画する上で参考になった	選考は公開で行わないほうがよい	その他	無回答
Q1-7	全体	30	23	11	8	10	0	5	1
	うち、「助成1回」	12	8	5	3	4	0	3	0
	うち、「助成2回」	4	4	0	1	1	0	0	0
	うち、「助成3回」	8	7	5	3	5	0	1	0

Q2(活動の種類)×Q5-1-1(現在の活動)

		Q5-1-1												
		計	防犯・防 災	健康・ス ポーツ	芸術・文 化(音 楽、絵 画、写 真、ダン スなど)	環境問 題(海、 緑化な ど)	清掃、地 域美化	イベン ト・にぎ わい創 出	ホスピタ リティ向 上(ボラ ンティア ガイド、 バリアフ リーな ど)	地域情 報の発 信	福祉(高 齢者、障 害者、子 ども)	国際交流	その他	継続し ていな い・無回 答
Q2	全体	30	3	3	5	2	8	16	2	3	7	2	4	5
	うち、「イベント・にぎわい創出」	15	1	1	2	0	3	10	1	2	2	0	0	4

Q5(団体の継続)×Q7(今後の活動意向)

		Q7				
		計	はい	いいえ	どちらとも いえない	無回答
Q5	全体	30	25	0	4	1
	はい	25	22	0	2	1
	いいえ	4	2	0	2	0
	無回答	1	1	0	0	0

Q7(今後の活動意向)×Q5-1-1(活動の種類)

		Q5-1-1												
		計	防犯・防 災	健康・ス ポーツ	芸術・文 化(音 楽、絵 画、写 真、ダン スなど)	環境問 題(海、 緑化な ど)	清掃、地 域美化	イベン ト・にぎ わい創 出	ホスピタ リティ向 上(ボラ ンティア ガイド、 バリアフ リーな ど)	地域情 報の発 信	福祉(高 齢者、障 害者、子 ども)	国際交流	その他	継続し ていな い・無回 答
Q7	全体	30	3	3	5	2	8	16	2	3	7	2	4	5
	はい	25	3	3	4	2	7	14	1	3	7	2	4	3
	いいえ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	どちらともいえない	4	0	0	1	0	1	1	1	0	0	0	0	2
	無回答	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0

Q7(今後の活動意向)×Q6(課題)

		Q6											
		計	資金の 確保	活動拠 点や活 動場所 の確保	メンバー の確保	メンバー の高齢 化	リーダー の不在	実務担 当者の 不足(会 計、広 報、ボラ ンティア 、その 他)	広報手 段の確 保	他の活 動団体 とのネッ トワー ク作り	企業との ネット ワーク作 り	その他	無回答
Q7	全体	30	21	6	6	2	3	8	5	1	5	3	1
	はい	25	19	4	4	2	2	8	5	1	5	1	0
	いいえ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	どちらともいえない	4	2	2	2	0	1	0	0	0	0	2	0
	無回答	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1

(4) 活動状況プロット図

図1 みなとみらい21地区内の活動場所



*()の活動場所名は暫定施設

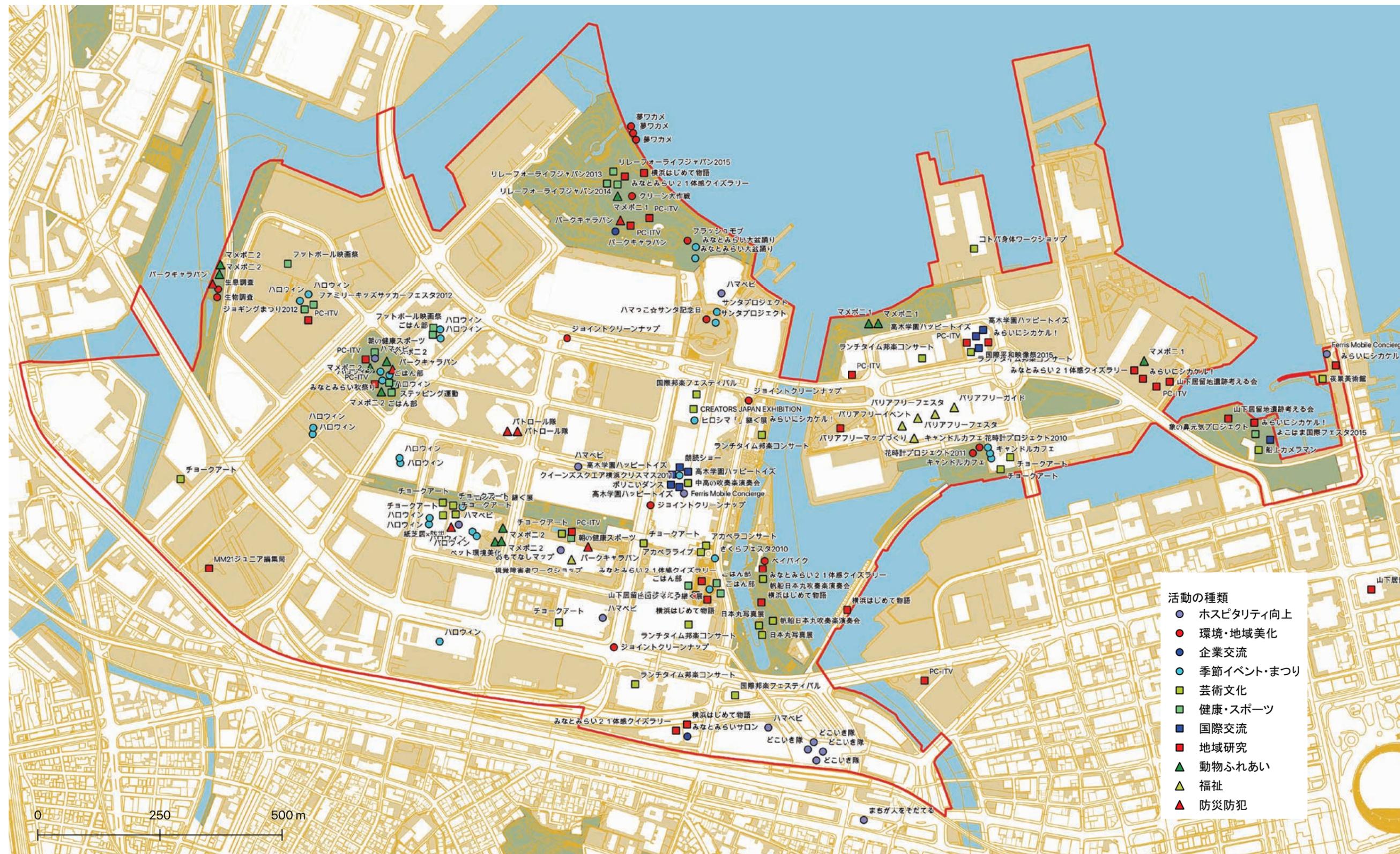
*【横浜市地形図複製承認番号 令元建都計第9118号】

図2 年度別活動場所の分布と活動名



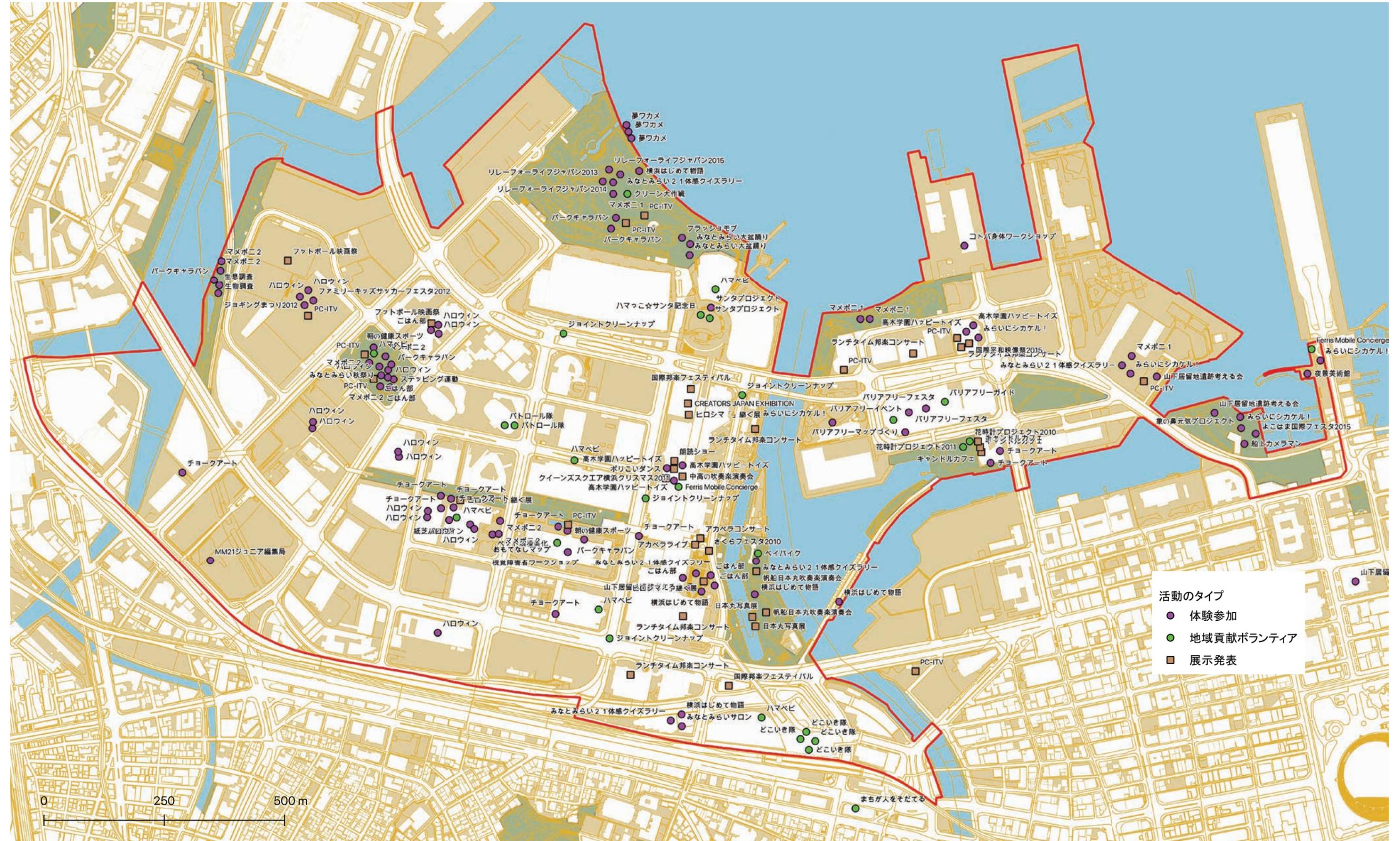
*【横浜市地形図複製承認番号 令元建都計第9118号】

図3 活動の種類(目的・内容)別分布



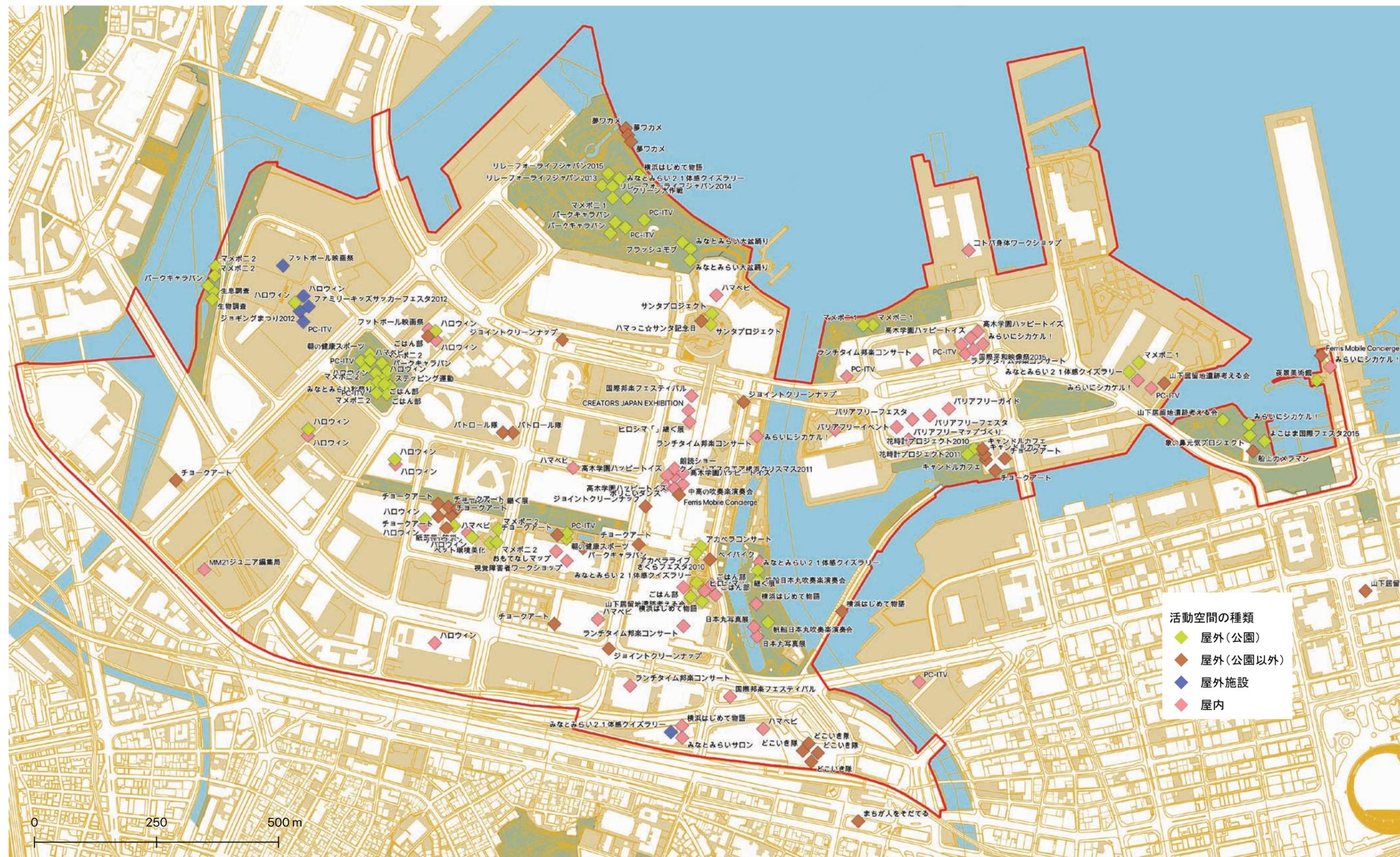
*【横浜市地形図複製承認番号 令元建都計第 9118 号】

図4 活動のタイプ別活動の分布



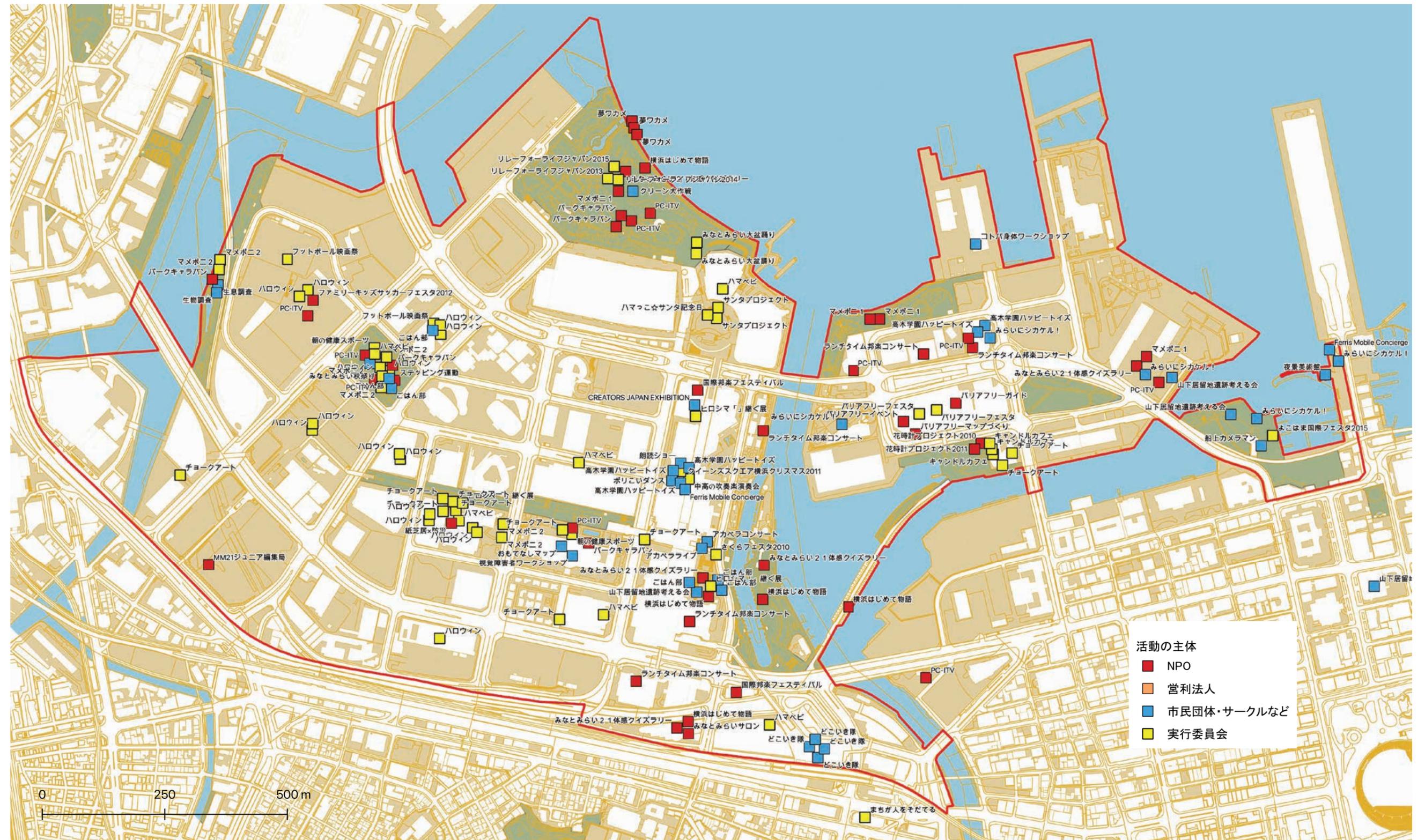
*【横浜市地形図複製承認番号 令元建都計第9118号】

図5 活動場所の空間種別分布



*【横浜市地形図複製承認番号 令元建都計第9118号】

図6 活動の主体別活動の分布



*【横浜市地形図複製承認番号 令元建都計第9118号】

(5) 助成対象活動の概要(1/2)

活動番号	活動呼称	活動の拠点・主な活動場所	活動の内容	年度	活動主体	助成回数	活動空間種類	活動空間数	活動種類	活動種類2	活動主体に子どもを含む	障害児者関連	広域	助成回数と活動場所
1	夢ワカメ	パシフィコ横浜周辺水辺	ワカメの生育と収穫	H21	NPO	3	屋外(公園以外)	単	環境・地域美化	環境・地域美化・防災防犯				●●●
2	パトロール隊	MMタワーズマンション	自主防犯パトロール	H21	企業・財団	2	屋外(公園以外)	単	防災防犯	環境・地域美化・防災防犯			広域1	★★
3	日本丸写真展	みなと博物館	日本丸の写真募集、展示	H21	企業・財団	2	屋内	単	芸術文化	芸術文化・地域研究				●●
4	ハロウィン	高島中央公園	ハロウィンin新高島	H21	実行委員会	2	屋外(公園)	複	季節イベント・まつり	イベント				●●
5	バリアフリーイベント	ワールドポーターズ	MM21地区内の車いすでの探索活動、研修会	H21	NPO	3	屋内	複	福祉	ホスピタリティ向上			広域1	★○★
6	朝の健康スポーツ	グランモール公園・美術の広場	健康スポーツのイベント	H21	実行委員会	2	屋外(公園)	単	健康・スポーツ	イベント				○●
7	Ferris Mobile Concierge	大さん橋など	旅行者への道案内など	H21	市民団体・サークルなど	2	屋外(公園以外)	単	ホスピタリティ向上	ホスピタリティ向上	○		広域1	★★
8	ジョイントクリーンナップ	さくら通り周辺	3ホテル従業員有志による合同清掃	H22	企業・財団	1	屋外(公園以外)	複	環境・地域美化	環境・地域美化・防災防犯				●
9	みなとみらい大盆踊り	臨港パーク	大盆踊りイベント	H22	実行委員会	2	屋外(公園)	単	季節イベント・まつり	イベント				●●
10	帆船日本丸吹奏楽演奏会	日本丸前アリーナ	計14回の吹奏楽演奏会	H22	企業・財団企業・財団	2	屋外(公園)	単	芸術文化	芸術文化・地域研究				●●
11	さくらフェスタ2010	さくら通り全域(全長500m)	提灯を点灯するなどのイベント	H22	実行委員会	1	屋外(公園以外)	単	季節イベント・まつり	イベント				●
12	花時計プロジェクト2010	運河パークの花時計ほか	周辺小中学校で苗から花を生育、現地で植替えのボランティア活動	H22	NPO	2	屋外(公園)	単	環境・地域美化	環境・地域美化・防災防犯				
13	クリーン大作戦	臨港パーク	約560名による清掃活動	H22	市民団体・サークルなど	1	屋外(公園)	単	環境・地域美化	環境・地域美化・防災防犯	○			●
14	山下居留地遺跡考える会	都市発展記念館	近代遺跡の活用研究・PR活動	H22	市民団体・サークルなど	1	屋外(公園以外)	複	地域研究	芸術文化・地域研究				●
15	パトロール隊	MMタワーズマンション	周辺の自主防犯パトロール	H22	企業・財団	2	屋外(公園以外)	単	防災防犯	環境・地域美化・防災防犯			広域1	
16	ハロウィン	リーフみなとみらい	ハロウィンイベント	H22	実行委員会	2	屋内	複	季節イベント・まつり	イベント				
17	Ferris Mobile Concierge	クイーンズスクエア横浜	観光案内ほか	H22	市民団体・サークルなど	2	屋外(公園以外)	複	ホスピタリティ向上	ホスピタリティ向上	○		広域1	★★
18	朝の健康スポーツ	高島中央公園	スポーツイベント	H22	実行委員会	2	屋外(公園)	単	健康・スポーツ	イベント				●○
19	中高の吹奏楽演奏会	クイーンズスクエア横浜	吹奏楽演奏会	H22	実行委員会	2	屋内	単	芸術文化	芸術文化・地域研究				●●
20	ハマっこ☆サンタ記念日	パシフィコ横浜円形広場	三団体のサンタイベント	H22	実行委員会	1	屋外(公園以外)	複	環境・地域美化	環境・地域美化・防災防犯			広域1	
21	夢ワカメ	パシフィコ横浜周辺水辺	わかめの生育収穫	H22	NPO	3	屋外(公園以外)	単	環境・地域美化	環境・地域美化・防災防犯				
22	バリアフリーマップづくり	ワールドポーターズ	バリアフリーマップ	H22	NPO	3	屋内	単	福祉	ホスピタリティ向上	○		広域1	
23	日本丸写真展	みなと博物館	日本丸の写真募集、展示	H22	企業・財団	2	屋内	単	芸術文化	芸術文化・地域研究				
24	PC-ITV	みなとみらい農家朝市(高島中央公園)	みなとみらい21の放送局	H23	NPO	2	屋外(公園)	複	地域研究	芸術文化・地域研究				●●
25	国際邦楽フェスティバル	県民共済みらいホール	和楽器のワークショップ、演奏会	H23	NPO	2	屋内	単	芸術文化	芸術文化・地域研究				●○
26	象の鼻元気プロジェクト	象の鼻	野外YOGAイベント	H23	企業・財団	1	屋外(公園)	単	健康・スポーツ	イベント				●
27	アカペラコンサート	グランモール公園・円形広場	横浜国大ほか5団体のアカペラコンサート	H23	市民団体・サークルなど	1	屋外(公園)	単	芸術文化	芸術文化・地域研究	○			●
28	ステッピング運動	高島中央公園	10回開催のステッピング運動イベント	H23	NPO	1	屋外(公園)	単	健康・スポーツ	イベント				●
29	花時計プロジェクト2011	運河パークの花時計ほか	小中学校で苗の育成、現地で植替えボランティア活動	H23	NPO	2	屋外(公園)	単	環境・地域美化	環境・地域美化・防災防犯				●●
30	帆船日本丸吹奏楽演奏会	日本丸前アリーナ	日本丸前で吹奏楽の演奏会16回	H23	企業・財団	2	屋外(公園)	単	芸術文化	芸術文化・地域研究				
31	みなとみらい大盆踊り	臨港パーク	大盆踊りイベント	H23	実行委員会	2	屋外(公園)	単	季節イベント・まつり	イベント				●●
32	横浜はじめて物語	市民活動支援センター	「横浜はじめて物語」を体験する探索、クイズラリー	H23	NPO	2	屋内	複	地域研究	芸術文化・地域研究			広域2	★★
33	キャンドルカフェ	運河パーク・ナビオス横浜	キャンドル点灯、ライブ開催など	H23	実行委員会	3	屋外(公園以外)	単	季節イベント・まつり	イベント				●●●
34	クイーンズスクエア横浜クリスマス2011	クイーンズスクエア横浜	シンギングツリーの制作展示	H23	実行委員会	2	屋内	単	季節イベント・まつり	イベント				
35	サンタプロジェクト	パシフィコ横浜円形広場	サンタのステージ、清掃活動など	H23	実行委員会	2	屋外(公園)	複	季節イベント・まつり	イベント			広域1	★★★
36	夢ワカメ	パシフィコ横浜周辺水辺	ワカメの生育、収穫	H23	NPO	3	屋外(公園以外)	単	環境・地域美化	環境・地域美化・防災防犯				
37	バリアフリーガイド	ワールドポーターズ	バリアフリーマップの制作	H23	NPO	3	屋内	単	福祉	ホスピタリティ向上	○			☆●☆
38	ファミリーキッズサッカーフェスタ2012	みなとみらいスポーツパーク	幼稚園児、小学生のサッカー教室、サッカー大会	H24	NPO	1	屋外施設	単	健康・スポーツ	イベント				●
39	バリアフリーフェスタ	ワールドポーターズ	バリアフリーのイベント	H24	実行委員会	2	屋内	単	福祉	ホスピタリティ向上	○			●●
40	PC-ITV	開港祭花火(臨港パーク)	みなとみらい21放送局	H24	NPO	2	屋外(公園)	複	地域研究	芸術文化・地域研究				
41	国際邦楽フェスティバル	みなとみらいホール	和楽器のワークショップ、演奏会	H24	NPO	2	屋内	単	芸術文化	芸術文化・地域研究				○●
42	みなとみらい21体感クイズラリー	市民活動支援センター	探索活動、クイズラリー	H24	NPO	2	屋外施設	複	地域研究	芸術文化・地域研究			広域2	★★
43	生息調査	高島水際線公園	生物のモニタリング調査、公開講座など	H24	市民団体・サークルなど	2	屋外(公園)	単	環境・地域美化	環境・地域美化・防災防犯				●●
44	ジョギングまつり2012	マリノスタウン	ジョギング、ランウォークなどのイベント	H24	企業・財団	1	屋外施設	単	健康・スポーツ	イベント				●
45	コトバ身体ワークショップ	東京芸術大学横浜キャンパス	芸術ワークショップ	H24	市民団体・サークルなど	1	屋内	単	芸術文化	芸術文化・地域研究	○			●
46	キャンドルカフェ	運河パーク・ナビオス横浜	キャンドル点灯、ライブなど	H24	実行委員会	3	屋外(公園以外)	単	季節イベント・まつり	イベント				
47	サンタプロジェクト	パシフィコ横浜円形広場	サンタによるステージ、清掃活動など	H24	実行委員会	2	屋外(公園)	複	季節イベント・まつり	イベント			広域1	
48	アカペラライブ	グランモール公園円形広場	横浜国大ほか4大学のアカペラサークルライブ	H25	市民団体・サークルなど	1	屋外(公園)	単	芸術文化	芸術文化・地域研究	○			●
49	みらいにシカケル!	JICA横浜	高校生によるまちづくりをテーマにした謎解きイベント	H25	市民団体・サークルなど	1	屋内	複	地域研究	芸術文化・地域研究	○		広域2	★
50	朗読ショー	クイーンズサークル	アフリカの昔話、英語で昔話の朗読会	H25	市民団体・サークルなど	1	屋内	単	国際交流	国際交流・企業交流	○			●
51	視覚障害者ワークショップ	横浜美術館	視覚障害者をつくる美術	H25	市民団体・サークルなど	1	屋内	単	福祉	芸術文化・地域研究		○		●
52	船上カメラマン	象の鼻テラス	カメラ教室、船上撮影会など	H25	市民団体・サークルなど	1	屋外(公園以外)	複	芸術文化	芸術文化・地域研究			広域1	★
53	バリアフリーフェスタ	フリーマーケット	フリーマーケット、体操ワークショップなど	H25	実行委員会	2	屋内	単	福祉	イベント	○			
54	生物調査	高島水際線公園	水辺の生き物の調査	H25	市民団体・サークルなど	2	屋外(公園)	単	環境・地域美化	環境・地域美化・防災防犯				
55	ママボニ1	赤レンガ倉庫周辺草地	ポニーと親子で遊ぼう	H25	NPO	3	屋外(公園)	単	動物ふれあい	イベント				●○○

(5) 助成対象活動の概要(2/2)

活動番号	活動呼称	活動の拠点・主な活動場所	活動の内容	年度	活動主体	助成回数	活動空間種類	活動空間数	活動種類	活動種類2	活動主体に子どもを含む	障害児者関連	広域	助成回数と活動場所
56	チョークアート	MMテラス	路上芸術(チョークアート)	H25	実行委員会	4	屋外(公園以外)	複	芸術文化	芸術文化・地域研究				●○○○
57	夜景美術館	象の鼻パーク	体験型美術館	H25	市民団体・サークルなど	1	屋外(公園)	単	芸術文化	芸術文化・地域研究				●
58	みなとみらいサロン	みなとみらい21会議室	地域企業の交流	H25	NPO	1	屋内	単	企業交流	国際交流・企業交流				●
59	リレーフォーライフジャパン2013	臨港パーク	がんサバイバーのイベント。24時間ウォーク、ブース展示ほか。	H25	実行委員会	3	屋外(公園)	単	健康・スポーツ	イベント				●●●
60	CREATORS JAPAN EXHIBITION	みなとみらいギャラリー	作品展	H25	市民団体・サークルなど	1	屋内	単	芸術文化	芸術文化・地域研究				●
61	キャンドルカフェ	運河パーク、ナビオス横浜	キャンドル点灯、フォトステージ、ライブなど	H25	実行委員会	3	屋外(公園以外)	単	季節イベント・まつり	イベント				
62	どこいき隊	桜木町駅前広場	観光案内ボランティア	H26	市民団体・サークルなど	4	屋外(公園以外)	単	ホスピタリティ向上	ホスピタリティ向上				●●●●
63	ペイバイク	日本丸メモリアルパーク	営業エリアのごみ拾い(詳細場所は不明)	H26	企業・財団	1	屋内	複	環境・地域美化	環境・地域美化・防災防犯			広域1	★
64	ランチタイム邦楽コンサート	JICA横浜	ランチタイムの邦楽コンサート(社食など)	H26	NPO	1	屋内	複	芸術文化	芸術文化・地域研究				●
65	おもてなしマップ	横浜美術館	ヨコハマトリエンナーレに向けたマップ作成、イベント	H26	市民団体・サークルなど	1	屋内	複	ホスピタリティ向上	ホスピタリティ向上			広域1	★
66	ママボニ1	カップヌードルミュージアムパーク	親子でボニーと友達「のわ」をつくろう	H26	NPO	3	屋外(公園)	単	動物ふれあい	イベント				○●●
67	チョークアート	リーフみなとみらい横	路上芸術(チョークアート)	H26	実行委員会	4	屋外(公園以外)	単	芸術文化	芸術文化・地域研究				○●○○
68	どこいき隊	桜木町駅前広場	観光案内ボランティア活動	H26	市民団体・サークルなど	4	屋外(公園以外)	単	ホスピタリティ向上	ホスピタリティ向上				
69	ペット環境美化	グランドセントラルタワーグリーンシアター	ペットマナー教室、ライブなどのイベント	H26	企業・財団	1	屋外(公園)	単	動物ふれあい	イベント				●
70	高木学園ハッピートイズ	クイーンズスクエア横浜	手作りぬいぐるみ制作展示、海外発送	H26	市民団体・サークルなど	3	屋内	単	国際交流	国際交流・企業交流	○			●●●
71	フラッシュモブ	臨港パーク	ゴミ拾いとダンスパフォーマンスイベント	H26	企業・財団	1	屋外(公園)	単	環境・地域美化	環境・地域美化・防災防犯				●
72	リレーフォーライフジャパン2014	臨港パーク	がんサバイバーのイベント。24時間ウォーク、ブース展示ほか。	H26	実行委員会	3	屋外(公園)	単	健康・スポーツ	イベント				
73	国際平和映像祭2015	JICA横浜	特別写真展、アワードセレモニーほか	H27	企業・財団	1	屋内	単	国際交流	国際交流・企業交流				●
74	ポリこいダンス	クイーンズモール	ムンバイ姉妹都市50周年を祝うダンスイベント	H27	市民団体・サークルなど	1	屋内	単	国際交流	国際交流・企業交流				●
75	どこいき隊	桜木町駅前広場	観光案内ボランティア	H27	市民団体・サークルなど	4	屋外(公園以外)	単	ホスピタリティ向上	ホスピタリティ向上				
76	ママボニ1	カップヌードルミュージアムパーク	ボニーとみんなで友達になろう	H27	NPO	3	屋外(公園)	複	動物ふれあい	イベント				
77	みなとみらい秋祭り	高島中央公園	綱引き、パレード、サークル紹介、地域防災訓練。	H27	実行委員会	1	屋外(公園)	単	季節イベント・まつり	イベント				●
78	パークキャラバン	高島中央公園	テント張りレクチャー、防災ワークショップ	H27	NPO	3	屋外(公園)	複	防災防犯	環境・地域美化・防災防犯				●○○
79	よこはま国際フェスタ2015	象の鼻パーク	国際協力、国際交流イベント	H27	実行委員会	1	屋外(公園)	単	国際交流	国際交流・企業交流				●
80	ごはん部	BUKATSUDO	生産者、飲食店コラボ、料理教室	H27	市民団体・サークルなど	3	屋内	単	健康・スポーツ	イベント				●●●
81	高木学園ハッピートイズ	クイーンズスクエア横浜	手作りぬいぐるみ制作展示、海外発送	H27	市民団体・サークルなど	3	屋内	複	国際交流	国際交流・企業交流	○			
82	リレーフォーライフジャパン2015	臨港パーク	がんサバイバーのイベント。24時間ウォーク、ブース展示ほか。	H27	実行委員会	3	屋外(公園)	複	健康・スポーツ	イベント				
83	ママボニ2	高島中央公園	住民主体によるボニーイベントの開催	H28	市民団体・サークルなど	3	屋外(公園)	単	動物ふれあい	イベント				●●●
84	ヒロシマ「」継ぐ展	みなとみらいギャラリー	平和関連資料展示、イベント	H28	実行委員会	1	屋内	複	季節イベント・まつり	イベント				●
85	フットボール映画祭	ブリアショートショートシアター	フットボール映画上映、チャリティイベント	H28	実行委員会	1	屋内	複	健康・スポーツ	イベント				●
86	チョークアート	グランドセントラルタワー	路上芸術(チョークアート)	H28	実行委員会	4	屋外(公園以外)	複	芸術文化	芸術文化・地域研究				○○●●
87	ごはん部	BUKATSUDO	シニア向け料理教室、夕食準備付きランチレッスンほか	H28	市民団体・サークルなど	3	屋内	複	健康・スポーツ	イベント				
88	高木学園ハッピートイズ	クイーンズスクエア横浜	手作りぬいぐるみ制作展示、海外発送	H29	市民団体・サークルなど	3	屋内	複	国際交流	国際交流・企業交流	○			
89	どこいき隊	桜木町駅前広場	観光案内ボランティア活動	H29	市民団体・サークルなど	4	屋外(公園以外)	単	ホスピタリティ向上	ホスピタリティ向上				
90	チョークアート	グランドセントラルタワー	路上芸術(チョークアート)	H29	実行委員会	4	屋外(公園以外)	複	芸術文化	芸術文化・地域研究				
91	ごはん部	BUKATSUDO	高島中央公園からのツアー、夕食準備付きランチレッスンほか	H29	市民団体・サークルなど	3	屋内	複	健康・スポーツ	イベント				
92	パークキャラバン	臨港パーク	ペットと防災キャンプ、アウトドアオフィス	H29	NPO	3	屋外(公園)	複	防災防犯	環境・地域美化・防災防犯				○●●
93	ママボニ2	グランドセントラルテラス・芝生公園	みなとみらいでボニーと遊ぼう	H29	実行委員会	3	屋外(公園)	複	動物ふれあい	イベント				○●●
94	ママボニ2	高島水際線公園	みなとみらいでボニーと遊ぼう	H30	実行委員会	3	屋外(公園)	複	動物ふれあい	イベント				
95	パークキャラバン	臨港パーク	キャンピングオフィス	H30	NPO	3	屋外(公園)	単	企業交流	国際交流・企業交流				
96	ハマベビ	高島中央公園	ベビーカー貸出	H30	実行委員会	1	屋外(公園)	複	ホスピタリティ向上	ホスピタリティ向上				●
97	MM21ジュニア編集局	みなとみらい本町小学校	取材活動、こどもメディアシンポジウム開催	H30	NPO	1	屋内	単	地域研究	芸術文化・地域研究	○			●
98	まちが人をそだてる	びおシティ	どこいき隊、フェリスが一部に	H30	実行委員会	1	屋外(公園以外)	単	ホスピタリティ向上	ホスピタリティ向上				●
99	紙芝居×防災	MMテラス	紙芝居と防災ショート講座	H30	NPO	1	屋外(公園以外)	単	防災防犯	環境・地域美化・防災防犯				●

*表頭「活動種類」は11分類(2-4(4)の活動の種類に同じ)、「活動種類2」は5分類(環境・地域美化・防災防犯／芸術文化・地域研究／イベント／ホスピタリティ向上／国際交流・企業交流)に統合したもの。

*表頭「活動回数と活動場所」は●○★とも助成回数を示す。

例: ●●●:3度の助成で同じ場所で活動、●○:2度の助成で1度目と2度目が別の場所で活動

★:広域で展開している活動

夢ワカメ(No1,21,36)やキャンドルカフェ(No33,47,61)のように同じ場所で継続している活動もあれば、チョークアート(No56,67,86,90)のように、場所を移しながら継続している活動も見られた

(6)選考委員一覧

選考年度	氏名	所属等
創設時	卯月 盛夫	早稲田大学教授
	市川 嘉一	ジャーナリスト
	杉山 千佳	有限会社セレーノ代表取締役
	宮浦 修司	横浜市都市整備局都市づくり部長
	川崎 利雄	一般社団法人横浜みなとみらい21総務部長
平成21年度下半期	卯月 盛夫	早稲田大学教授
	市川 嘉一	ジャーナリスト
	杉山 千佳	有限会社セレーノ代表取締役
	宮浦 修司	横浜市都市整備局都市づくり部長
	森 廣人	一般社団法人横浜みなとみらい21専務理事
平成22年度1次	卯月 盛夫	早稲田大学教授
	市川 嘉一	ジャーナリスト
	清水 あつ子	CSRコンサルタント
	宮浦 修司	横浜市都市整備局都市づくり部長
	森 廣人	一般社団法人横浜みなとみらい21専務理事
平成22年度2次 平成23年度1次	卯月 盛夫	早稲田大学教授
	市川 嘉一	ジャーナリスト
	清水 あつ子	CSRコンサルタント
	村田 和義	横浜市市民局市民協働推進部市民活動支援課担当課長
	森 廣人	一般社団法人横浜みなとみらい21専務理事
平成23年度2次 平成24年度1次	卯月 盛夫	早稲田大学教授
	市川 嘉一	ジャーナリスト
	清水 あつ子	CSRコンサルタント
	村田 和義	横浜市市民局市民協働推進部市民活動支援課担当課長
	大槻 哲夫	一般社団法人横浜みなとみらい21専務理事
平成24年度2次	卯月 盛夫	早稲田大学教授
	市川 嘉一	ジャーナリスト
	清水 あつ子	CSRコンサルタント
	齋藤 善一	横浜市市民局市民協働推進部地域活動推進課長
	斉藤 良展	一般社団法人横浜みなとみらい21専務理事
平成25年度1次	卯月 盛夫	早稲田大学教授
	清水 あつ子	CSRコンサルタント
	宮本 敏也	神奈川新聞社編集局次長兼経済部長
	朝比奈 ゆり	東京ボランティア・市民活動センター専門員、手づくり造園家
	齋藤 善一	横浜市市民局市民協働推進部地域活動推進課長
	斉藤 良展	一般社団法人横浜みなとみらい21専務理事
平成25年度2次	卯月 盛夫	早稲田大学教授
	清水 あつ子	CSRコンサルタント

	宮本 敏也	神奈川新聞社編集局次長
	朝比奈 ゆり	東京ボランティア・市民活動センター専門員、手づくり造園家
	小宮 勝男	横浜市市民局市民協働推進部地域活動推進課長
	斉藤 良展	一般社団法人横浜みなとみらい21専務理事
平成26年度1次	卯月 盛夫	早稲田大学教授
平成26年度2次	清水 あつ子	CSRコンサルタント
平成27年度1次	小野 明男	神奈川新聞社編集局次長
	朝比奈 ゆり	東京ボランティア・市民活動センター専門員、手づくり造園家
	小宮 勝男	横浜市市民局市民協働推進部地域活動推進課長
	斉藤 良展	一般社団法人横浜みなとみらい21専務理事
平成27年度2次	卯月 盛夫	早稲田大学教授
	清水 あつ子	CSRコンサルタント
	小野 明男	神奈川新聞社編集局次長
	朝比奈 ゆり	東京ボランティア・市民活動センター専門員、手づくり造園家
	大濱 宏之	横浜市市民局市民協働推進部地域活動推進課長
	斉藤 良展	一般社団法人横浜みなとみらい21専務理事
平成28年度	卯月 盛夫	早稲田大学教授
平成29年度	清水 あつ子	CSRコンサルタント
	青木 晋	神奈川新聞社 統合編集局編集総務兼編集総務部長
	朝比奈 ゆり	東京ボランティア・市民活動センター専門員、手づくり造園家
	大濱 宏之	横浜市市民局市民協働推進部地域活動推進課長
	斉藤 良展	一般社団法人横浜みなとみらい21専務理事
平成30年度	卯月 盛夫	早稲田大学教授
	清水 あつ子	CSRコンサルタント
	石曾根 剛	神奈川新聞社統合編集局次長
	朝比奈 ゆり	東京ボランティア・市民活動センター専門員、手づくり造園家
	岩岡 敏文	横浜市市民局市民協働推進部市民活動支援課長
	藤田 格	一般社団法人横浜みなとみらい21専務理事

みなとみらい21エリアマネジメント活動助成事業10年総括報告書

2020年3月発行

編集 特定非営利活動法人 横浜プランナーズネットワーク
一般社団法人 横浜みなとみらい21

発行 一般社団法人 横浜みなとみらい21

<https://www.ymm21.jp>

